取扱説明書（UDトラックス編）

G-scan

もくじ

ご使用になる前に....................2

はじめに....................3

安全にご利用になるために....................4

診断機能....................6

CAN診断サポートモニタ機能....................8

作業サポート機能....................12

≪作業サポート「インジェクターIDコード確認」≫....................30
≪作業サポート「インジェクターIDコード登録」≫....................31
≪作業サポート「MAF補正データ読込み/書込み(ECU交換時)」≫....................39
≪作業サポート「MAF補正データ確認」≫....................40
≪作業サポート「MAF補正データサービスモード」≫....................41
≪作業サポート「サプライポンプ学習値クリア」≫....................43
≪作業サポート「エンジン始動回数書込み(ECU交換時)」≫....................45
≪作業サポート「EGRバルブ学習値クリア」≫....................48
≪作業サポート「TP位置学習値クリア」≫....................50
≪作業サポート「DPFデータ学習」≫....................52
≪作業サポート「急速TAS学習」≫....................54
≪作業サポート「空燃比学習値クリア」≫....................56
≪作業サポート「点火時期補正」≫....................58
≪作業サポート「アイドル回転数補正」≫....................60
≪作業サポート「DPR強制再生」≫....................62
≪作業サポート「DPR状態リセット」≫....................66
≪作業サポート「DPR差圧チェック」≫....................68
≪作業サポート「DPR状態表示」≫....................70
≪作業サポート「VNT点検」≫....................72
≪作業サポート「燃料漏れ点検」≫....................74
≪作業サポート「EGR点検」≫....................78
≪作業サポート「吸入空気量点検」≫....................80
≪作業サポート「アクセルセンサ点検」≫....................82
≪作業サポート「車速設定」≫....................85
≪作業サポート「車速設定(クルーズコントロール時」≫....................86
≪ BCM_ルームランプシステム作業サポート「ルームランプタイマ設定」 ≫....................87

ご使用になる前に

ご使用になる前に........2
はじめに........3
安全にご利用になるために........4
診断機能........6
CAN診断サポートモニタ機能........8
作業サポート機能........12

はじめに

本取扱説明書では、UDトラックス車の診断機能に関してご説明させていただきます。ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。本体の基本的な操作は、本体の取扱説明書をご覧ください。

株式会社インターサポート

■ 本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。

■ 本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠	**警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

⚠	**注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。

警告

- 走行状態でご使用になる場合には、必ず運転者、操作者の2人でご使用ください。操作に気を取られて事故につながる恐れがあります。
- アクティブテストはUDトラックスのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテストは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）および、車両停止状態（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）で実行してください。

注意

- UDトラックス車または、UDトラックス製造のOEM車以外に使用しないでください。

診断機能

もくじ 1

ご使用になる前に 2

はじめに 3

安全にご利用になるために 4

診断機能 6

CAN診断サポートモニタ機能 8

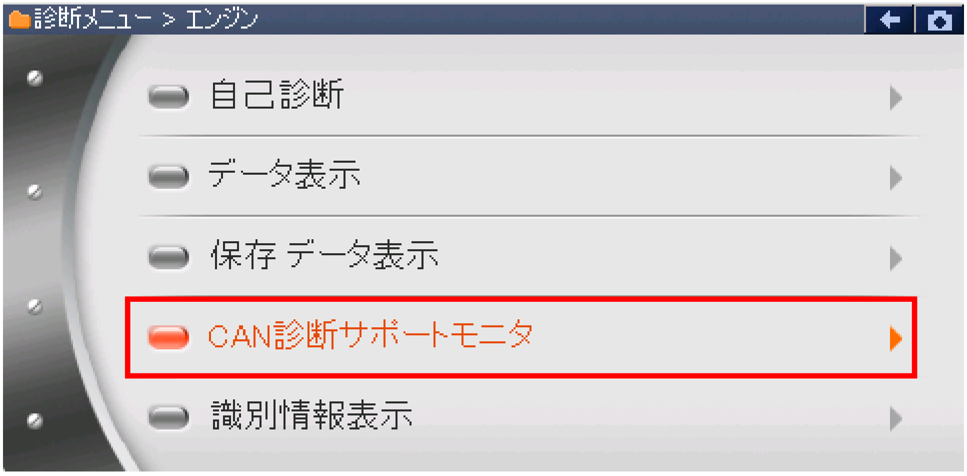
作業サポート機能 12

≪作業サポート「インジェクターIDコード確認」≫ 30
≪作業サポート「インジェクターIDコード登録」≫ 31
≪作業サポート「MAF補正データ読込み/書込み(ECU交換時)」≫ 39
≪作業サポート「MAF補正データ確認」≫ 40
≪作業サポート「MAF補正データサービスモード」≫ 41
≪作業サポート「サプライポンプ学習値クリア」≫ 43
≪作業サポート「エンジン始動回数書込み(ECU交換時)」≫ 45
≪作業サポート「EGRバルブ学習値クリア」≫ 48
≪作業サポート「TP位置学習値クリア」≫ 50
≪作業サポート「DPFデータ学習」≫ 52
≪作業サポート「急速TAS学習」≫ 54
≪作業サポート「空燃比学習値クリア」≫ 56
≪作業サポート「点火時期補正」≫ 58
≪作業サポート「アイドル回転数補正」≫ 60
≪作業サポート「DPR強制再生」≫ 62
≪作業サポート「DPR状態リセット」≫ 66
≪作業サポート「DPR差圧チェック」≫ 68
≪作業サポート「DPR状態表示」≫ 70
≪作業サポート「VNT点検」≫ 72
≪作業サポート「燃料漏れ点検」≫ 74
≪作業サポート「EGR点検」≫ 78
≪作業サポート「吸入空気量点検」≫ 80
≪作業サポート「アクセルセンサ点検」≫ 82
≪作業サポート「車速設定」≫ 85
≪作業サポート「車速設定(クルーズコントロール時」≫ 86
≪ BCM_ルームランプシステム作業サポート「ルームランプタイマ設定」 ≫ 87

車両に搭載されているCAN通信システムは、複数のシステムが互いに信号を送受信しているため、CAN通信線に断線等の不具合が発生すると、各システムが制御に必要な信号を送受信できなくなり、不具合箇所に関連した複数のシステムに作動不良などが発生します。

CAN診断サポートモニタ機能では、CAN通信に異常がないか診断することが出来ます。

1）診断メニューから『CAN診断サポートモニタ』を選択して ENTER ボタンを押してください



〈図：診断メニューにてCAN診断サポートモニタを選択〉

2）CAN診断サポートモニタ画面が表示され、CAN通信の診断結果が表示されます。

〈図：CAN診断サポートモニタ画面〉

機能	CAN診断サポートモニタ機能では使用しません。
1画面詳細	1画面表示に切替えます。【詳細は本体編を参照してください】
参考値	CAN診断サポートモニタ機能では使用しません。
記録	データを記録します。【詳細は本体編を参照してください】
選択項目	表示する項目を選択します。【詳細は本体編を参照してください】

3）CAN診断サポートモニタ画面に表示される項目は、診断する車両やシステムによって異なり、『過去履歴付き』システムと、『過去履歴無し』システムとでは表示される項目が異なります。

〈図：CAN診断サポートモニタ画面　過去履歴無し〉

〈図：CAN診断サポートモニタ画面　過去履歴有り〉

≪CAN診断サポートモニタ表示例≫

◆『過去履歴無し』システムの場合

<table>
<tr><th>表示項目</th><th>現在</th><th>意味</th></tr>
<tr><td rowspan="2">初期診断</td><td>OK</td><td>現在異常がない</td></tr>
<tr><td>NG</td><td>C/U の異常（一部の C/U を除く）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">送信診断</td><td>OK</td><td>現在異常がない</td></tr>
<tr><td rowspan="2">UNKWN</td><td>現在 2 秒以上送信できない</td></tr>
<tr><td>診断を行っていない</td></tr>
<tr><td rowspan="4">C/U 名称
（受信診断）</td><td>OK</td><td>現在異常がない</td></tr>
<tr><td rowspan="3">UNKWN</td><td>現在 2 秒以上受信できない</td></tr>
<tr><td>診断を行っていない</td></tr>
<tr><td>受信する C/U がない（オプションレス）</td></tr>
</table>

◆『過去履歴有り』システムの場合

<table>
<tr><th>表示項目</th><th>現在</th><th>過去</th><th>意味</th></tr>
<tr><td rowspan="3">送信診断</td><td rowspan="2">OK</td><td>OK</td><td>現在も過去も異常がない</td></tr>
<tr><td>1 – 39</td><td>現在は正常だが、過去に 2 秒以上送信できなかった
（数字はキーSW OFF→ON 回数を表わす）</td></tr>
<tr><td>UNKWN</td><td>0</td><td>現在 2 秒以上送信できない</td></tr>
<tr><td rowspan="5">C/U 名称
（受信診断）</td><td rowspan="2">OK</td><td>OK</td><td>現在も過去も異常がない</td></tr>
<tr><td>1 – 39</td><td>現在は正常だが、過去に 2 秒以上受信できなかった
（数字はキーSW OFF→ON 回数を表わす）</td></tr>
<tr><td>UNKWN</td><td>0</td><td>現在 2 秒以上受信できない</td></tr>
<tr><td rowspan="2">***</td><td rowspan="2">***</td><td>診断を行っていない</td></tr>
<tr><td>受信する C/U がない（オプションレス）</td></tr>
</table>

※注意と補足※

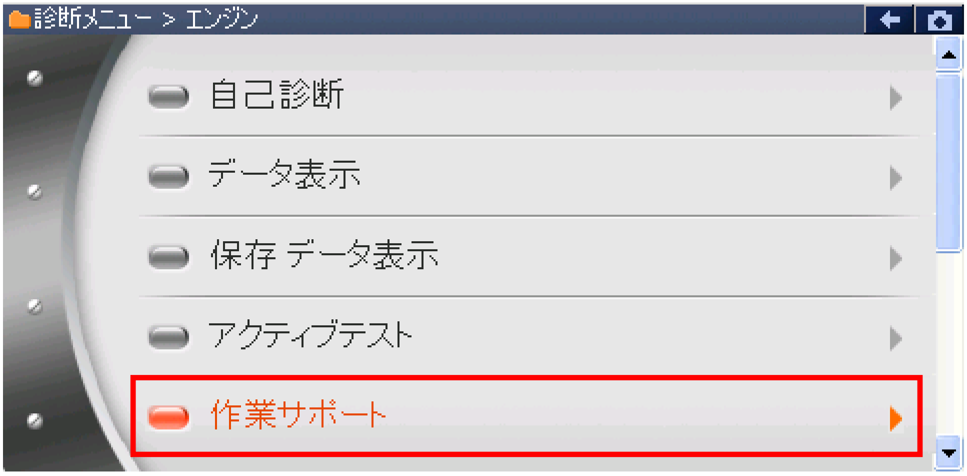
・ G-scan ベーシックを購入した場合にはオプションで拡張機能を購入しないとこの機能を利用することが出来ません。

警告

- 作業サポートはUDトラックスのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- 作業サポートは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- 作業サポートを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
  車両をこの状態にできない場合は作業サポートを実行しないでください。
  1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）
  2. ブレーキペダルを踏込む。
  3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

各システムの作業サポートについて

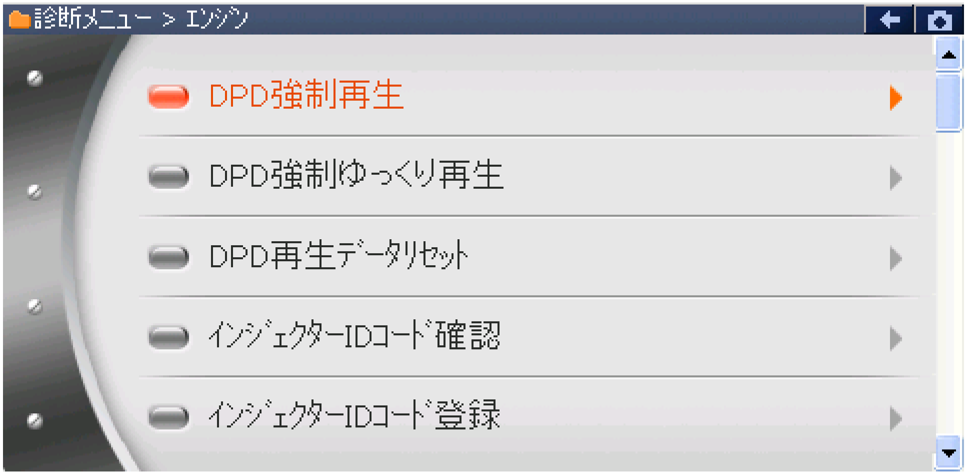
1）診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：診断メニューにて作業サポートを選択〉

2）作業サポート項目選択画面が表示されます。実行する項目を選択して ENTER ボタンを押してください。表示される項目はエンジンの型式やシステムにより異なります。

例1）　コンドル(小型) エンジン型式 4HL1、4HK1、4JJ1の場合

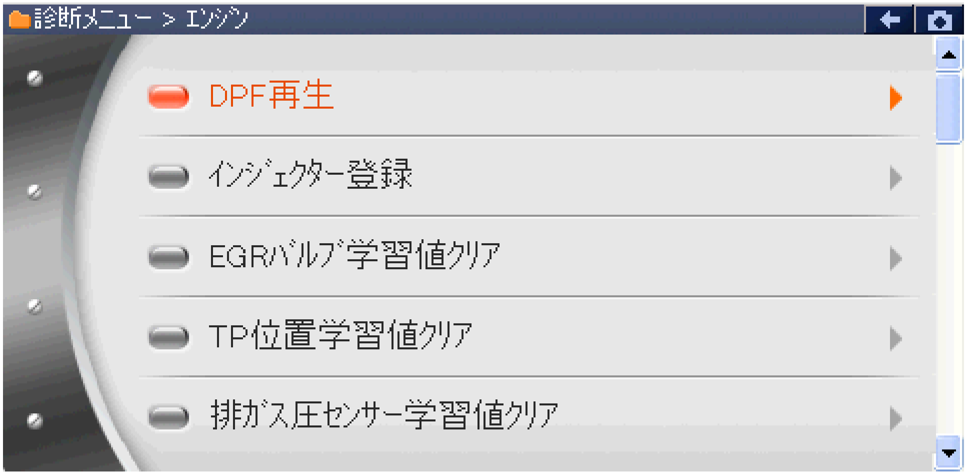


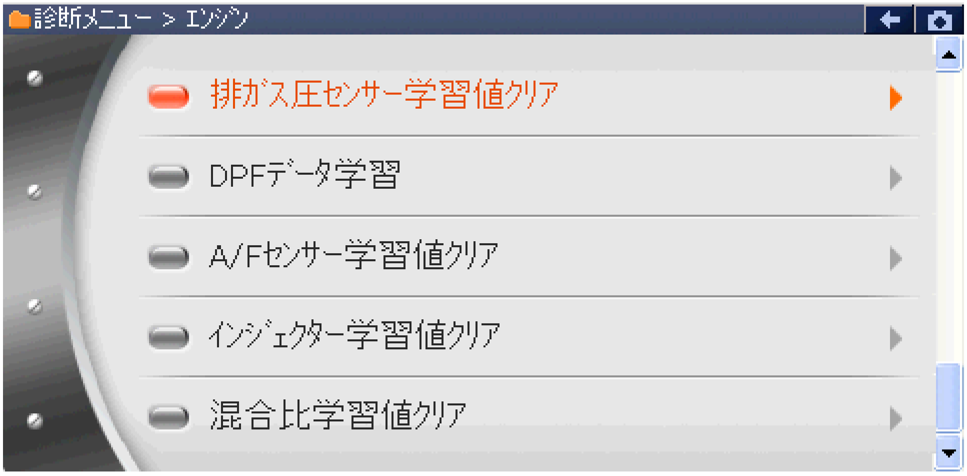
〈図：作業サポート項目選択画面〉

DPD強制再生	：	DPD強制再生を実施します。 ※所要時間 ＝ 約20分
DPD強制ゆっくり再生	：	DPD強制ゆっくり再生を実施します。 強制再生に比べてDPDへの負荷を軽減して再生を実施します。 ※所要時間 ＝ 約120分 ※一部の車両には本機能は搭載されていません。
DPD再生データリセット	：	DPD交換時、またはDPD再生を行う際に使用します。
インジェクターIDコード確認	：	各気筒のインジェクターIDコードを確認する際に使用します。
インジェクターIDコード登録	：	インジェクター交換時、ECUにインジェクターIDコードを登録する際に使用します。
インジェクターIDコード 読込み/書込み (ECU交換時)	：	ECU交換時、インジェクターIDコードを自動で読込み／書込みを行います。
MAF補正データ確認	：	MAFの補正データの確認する際に使用します。
MAFデータサービスモード	：	MAF交換時、MAFの補正データを設定する際に使用します。
MAF補正データ 読込み/書込み (ECU交換時)	：	ECU交換時、MAF補正データを自動で読込み／書込みを行います。

サプライポンプ学習値クリア	：	サプライポンプ学習値の初期化を行います。
エンジン始動回数 書込み(ECU交換時)	：	ECU交換時、ECUにエンジン始動回数を登録する際に使用します。
エンジン始動回数 書込み(スタータ交換時)	：	スタータ交換時、ECUにエンジン始動回数を登録する際に使用します。

例2）コンドル(小型) エンジン型式 ZD30DDTiの場合

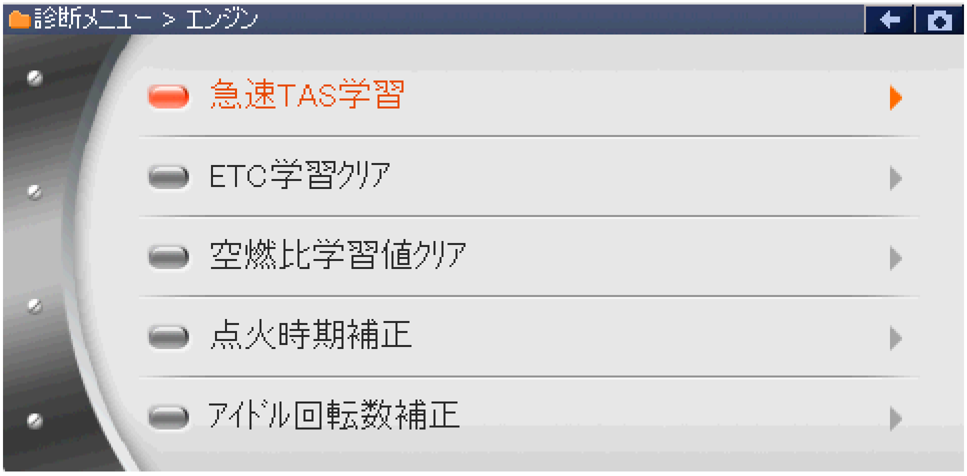




〈図：作業サポート項目選択画面〉

DPF再生	：	DPF再生を実施します。
インジェクター登録	：	インジェクター交換時、ECUにインジェクターIDコードを登録する際に使用します。
EGRバルブ学習値クリア	：	EGRコントロールバルブの全閉位置学習値の初期化を行います。
TP位置学習値クリア	：	スロットルバルブの全閉位置学習値の初期化を行います。
排ガス圧センサー 学習値クリア	：	排気ガス圧力センサーの学習値をクリアします。
DPFデータ学習	：	DPF(ディーゼルパティキュレートフィルタ)の学習値の初期化を行います。
A/Fセンサー学習値クリア	：	A/Fセンサーの学習値の初期化を行います。
インジェクター学習値クリア	：	フューエルインジェクタの学習値の初期化を行います。
混合比学習値クリア	：	混合比の学習値の初期化を行います。

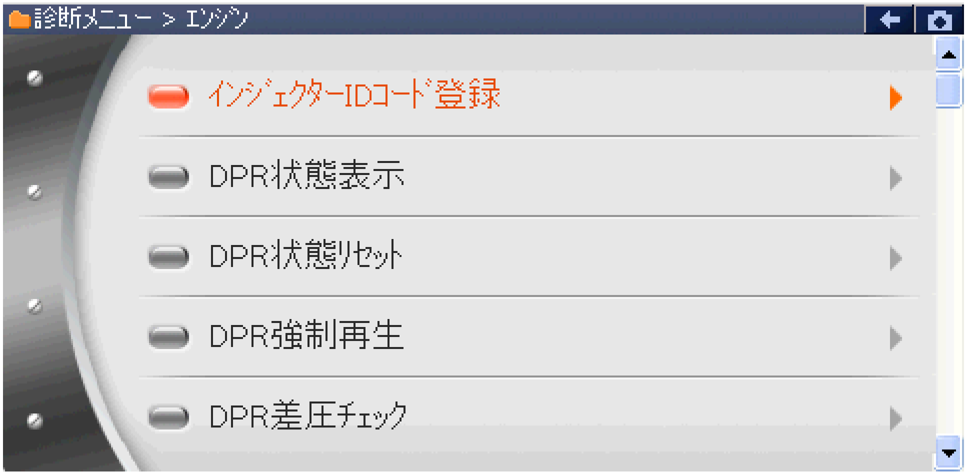
例3） コンドル(小型) エンジン型式 QR20DEの場合

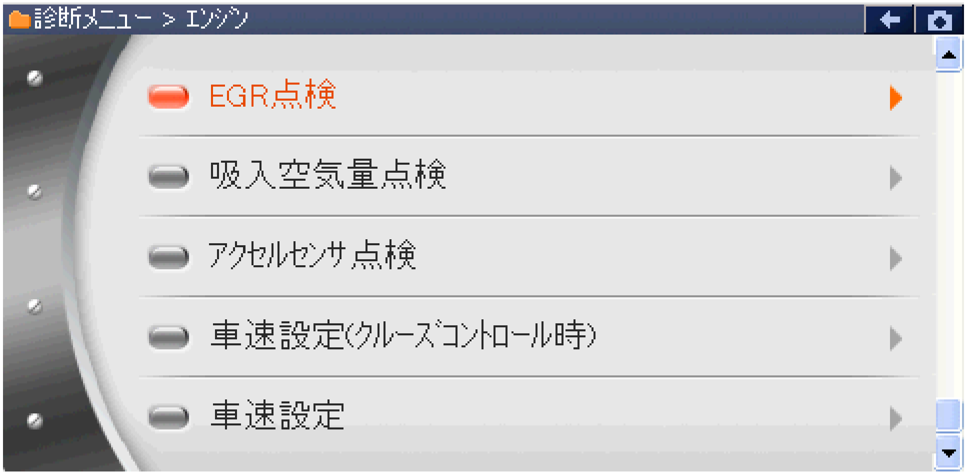


〈図：作業サポート項目選択画面〉

急速TAS学習	:	アイドル回転数を指定範囲内で維持するために、アイドル吸入空気量を、ECUに記憶する際に行います。
ETC学習クリア	:	ETC学習値の初期化を行います。
空燃比学習値クリア	:	空燃比学習値の初期化を行います。
点火時期補正	:	目標点火時期を調整するときに行います。
アイドル回転補正	:	目標アイドル回転数を設定するときに行います。

例3） コンドル(中型)の場合





〈図:エンジン作業サポート項目選択画面〉

インジェクターIDコード登録:　各気筒のインジェクターIDコードを登録する際に使用します。

DPR状態表示:　DPRの状態を表示します。

DPR状態リセット:　DPRの状態をリセットします。

DPR強制再生　:　DPR強制再生を実施します。
※ 所要時間 ＝ 約20分

DPR差圧チェック:　DPRの詰まり具合をチェックします。

サプライポンプ機差学習値初期化　:　サプライポンプ学習値の初期化を行います。

VNT点検:　VNT（バリアブルノズルターボチャージャー）の点検を行います。

燃料漏れ点検:　燃料漏れがないかどうかの点検を行います。

ターボ点検:　ターボチャージャーの点検を行います。

EGR点検:　EGRの点検を行います。

吸入空気量点検:　吸入空気量の点検を行います。

アクセルセンサ点検:　アクセルセンサの点検を行います。

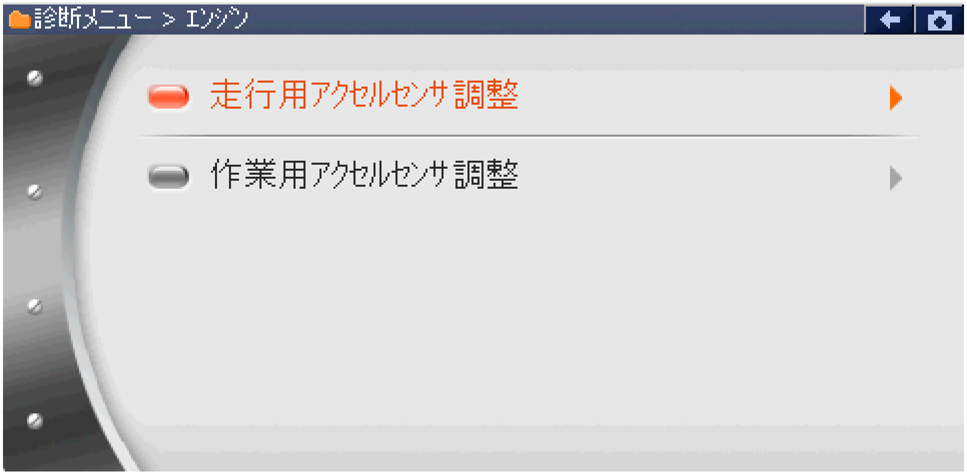
車速設定(クルーズコントロール時):　クルーズコントロール時の最大車速設定を行います。

車速設定:　最大車速設定を行います。

※ 注意と補足※

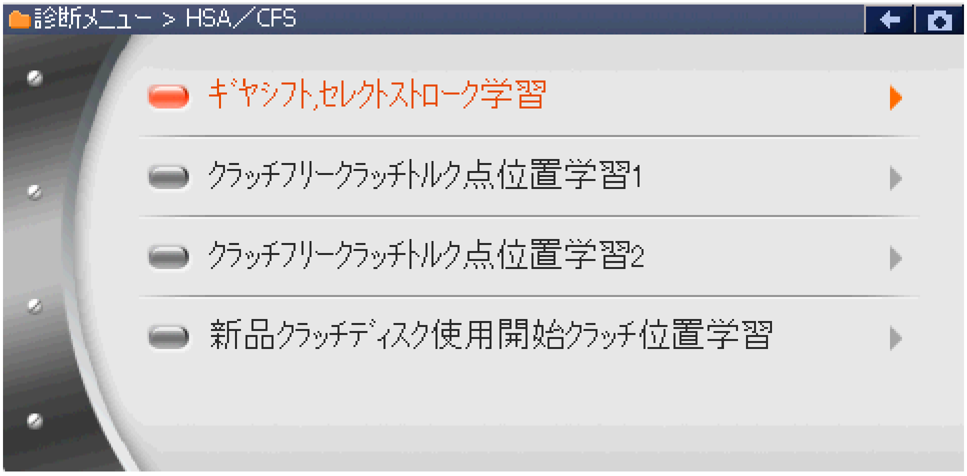
車両に搭載されているエンジン型式によっては、対応していない作業サポート項目があります。

例4）クオン エンジン型式 GE13の場合



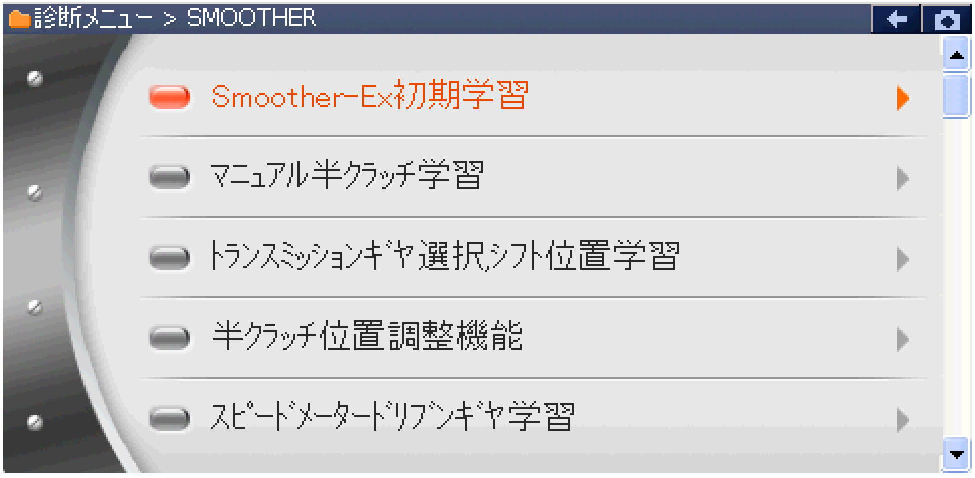
〈図:エンジン作業サポート項目選択画面8〉

走行用アクセルセンサ調整（手動）	：	走行用のアクセルセンサの調整をする際に使用します。
作業用アクセルセンサ調整（手動）	：	作業用のアクセルセンサの調整をする際に使用します。



〈図：HSA／CFS作業サポート項目選択画面〉

ｷﾞﾔシフト,セレクトストローク学習	：	ギヤコントロールレバー、シフトおよびセレクトストロークの学習の際に使用します。
クラッチフリークラッチトルク点位置学習1	：	初期のクラッチトルク伝達点位置を学習します。
クラッチフリークラッチトルク点位置学習2	：	初期のクラッチトルク伝達点位置を学習します。 ※1の方法で上手くいかない場合はこちらを試してください。
新品クラッチディスク使用開始クラッチ位置学習	：	新品クラッチ交換時、クラッチ摩耗警報を行うための 基準となる新品クラッチの位置を学習します。

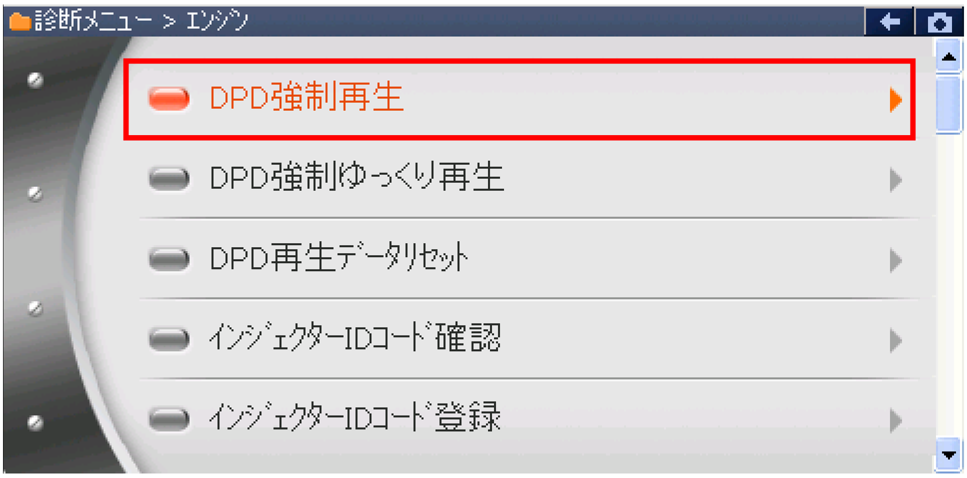


〈図：Smoother作業サポート項目選択画面〉

Smoother-Ex初期学習	：	半クラッチとトランスミッションギヤ選択/シフト位置学習を同時に学習します。
マニュアル半クラッチ学習	：	マニュアル半クラッチを学習します。
トランスミッションギヤ選択シフト位置学習	：	トランスミッションギヤ選択シフト位置を学習します。
半クラッチ位置調整機能	：	半クラッチ位置調整機能を学習します。
スピードメータドリブンギヤ学習	：	スピードメータドリブンギヤを学習します。
車型のプログラム	：	エンジン型式、トランスミッションタイプを登録する際に使用します。
PTO要求エンジン回転数	：	PTO要求エンジン回転数を登録する際に使用します。
ｽﾋﾟｰﾄﾞﾒｰﾀｷﾞﾔのプログラム	：	スピードメータドリブンギヤ枚を登録する際に使用します。
タイヤサイズのプログラム	：	タイヤサイズを登録する際に使用します。
タイヤ補正率のプログラム	：	タイヤ補正率を登録する際に使用します。
ファイナルギヤ比書換え	：	ファイナルギヤ比を登録する際に使用します。
ABS装着のプログラム	：	ABSステータスを登録する際に使用します。

≪作業サポート「DPD強制再生」≫

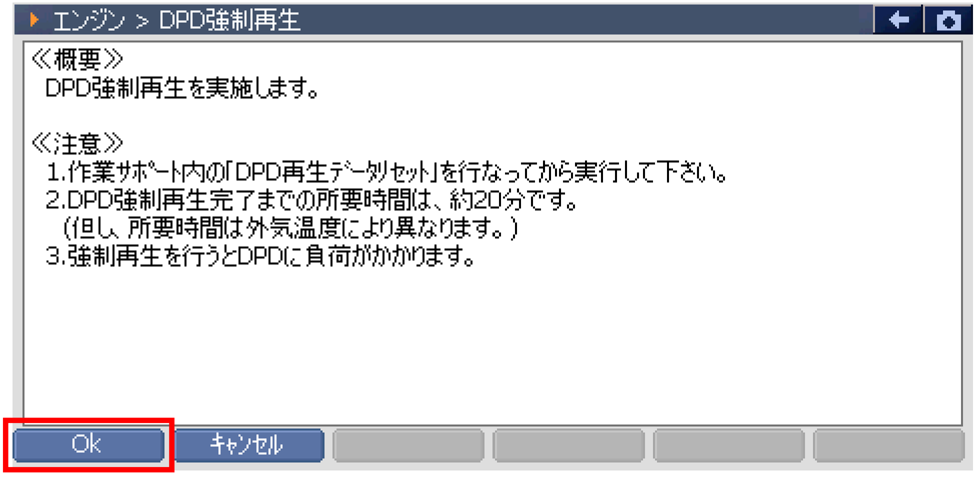
1）作業サポート項目選択画面から『DPD強制再生』を選択して ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『DPD強制再生』の注意メッセージ画面に移ります。

注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ ボタンを押してください。

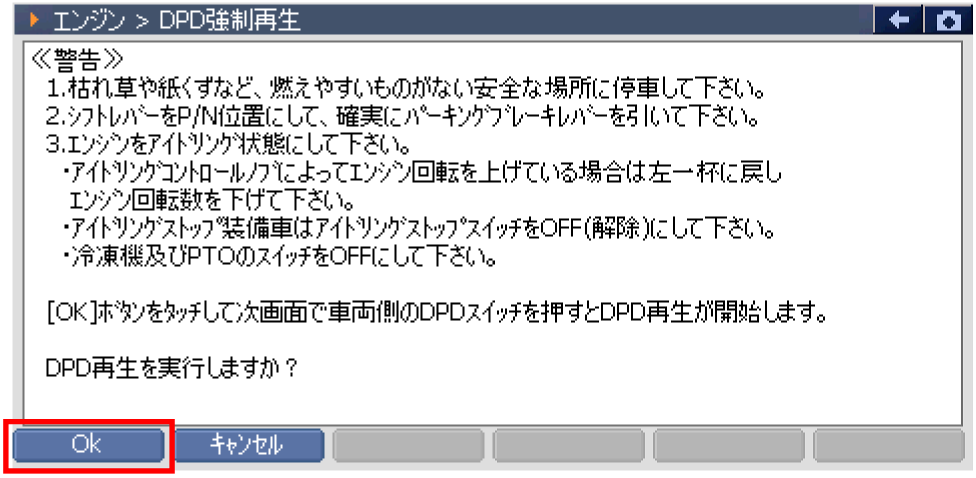


〈図：注意メッセージ画面　DPD強制再生〉

3）『DPD強制再生』の警告メッセージ画面に移ります。

警告メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

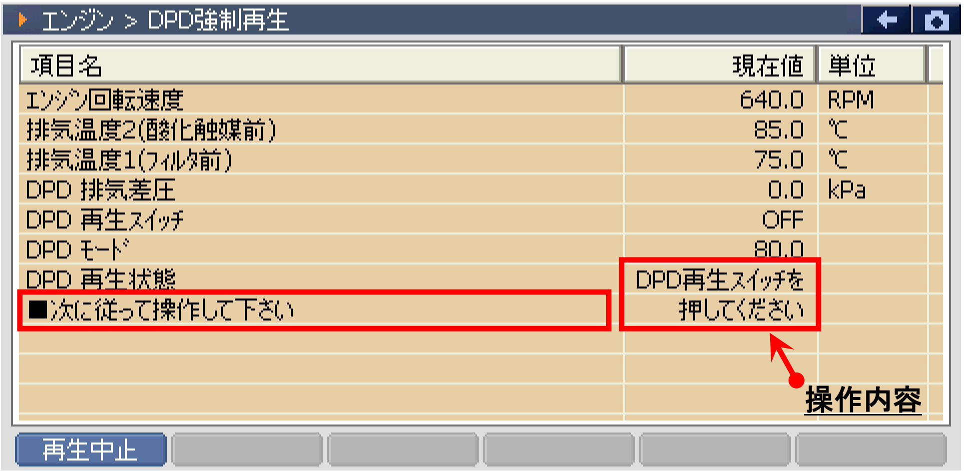
ボタンを押してください。



〈図：警告メッセージ画面　DPD強制再生〉

4）『DPD強制再生』の実行画面に移ります。

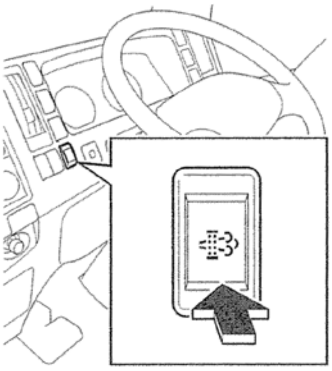
DPD強制再生中の状態が表示されます。『次に従って操作してください』の操作に従い、車両側のDPDスイッチを押すとDPD強制再生が始まります。



〈図：実行画面　DPD強制再生〉

※ 注意と補足※

・　以下、DPD再生強制再生の例を示します。車両により状態遷移が異なる場合があります。



〈図：DPDスイッチ〉

※ 注意と補足※

・上記のDPDスイッチは車両により配置位置、形状が異なる場合があります。

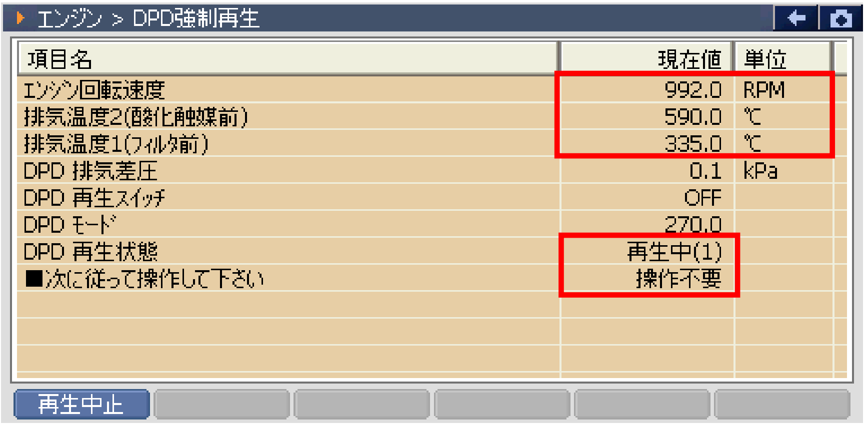
DPD強制再生開始後、自動的にエンジン回転速度が上がり、徐々に排気温度2(酸化触媒前)、排気温度1（フィルタ前）が上昇します。

エンジン > DPD強制再生

項目名	現在値	単位
エンジン回転速度	736.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	175.0	℃
排気温度1(フィルタ前)	150.0	℃
DPD 排気差圧	0.1	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD モード	220.0	
DPD 再生状態	再生予備昇温中	
■次に従って操作して下さい	操作不要	

再生中止

〈図：実行画面　DPD強制再生〉



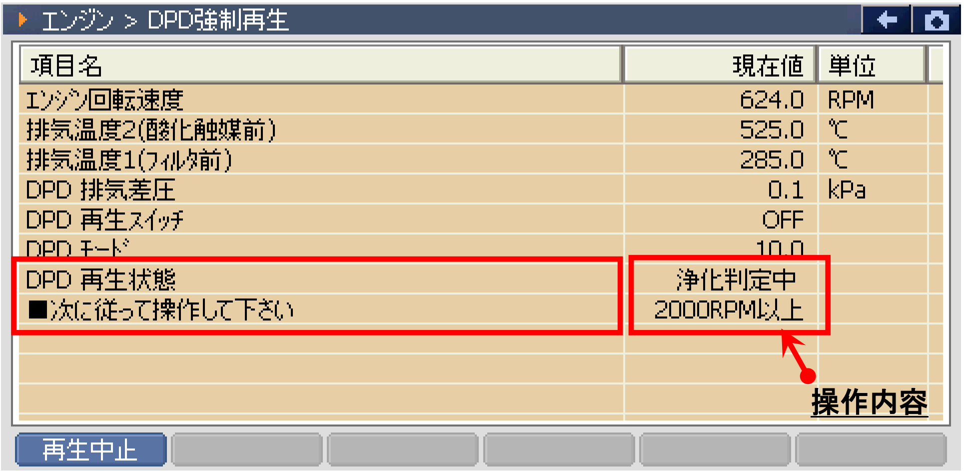
エンジン > DPD強制再生

項目名	現在値	単位
エンジン回転速度	992.0	RPM
排気温度2(酸化触媒前)	590.0	℃
排気温度1(フィルタ前)	335.0	℃
DPD 排気差圧	0.1	kPa
DPD 再生スイッチ	OFF	
DPD モード	270.0	
DPD 再生状態	再生中(1)	
■次に従って操作して下さい	操作不要	

再生中止

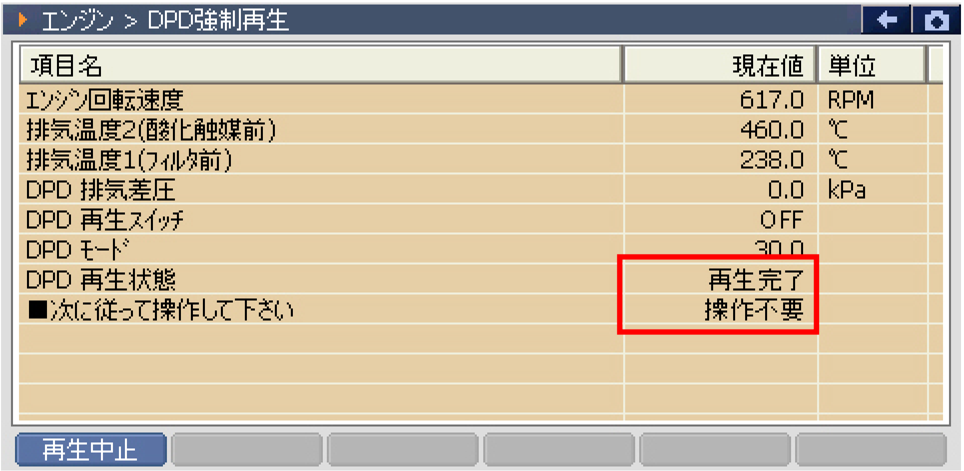
〈図：実行画面　DPD強制再生〉

5）約20分経過後、エンジン回転速度が下がり、『DPD再生状態』が『浄化判定中』となります。『次に従って操作してください』の操作に従い、エンジン回転速度を2000RPM以上にします。



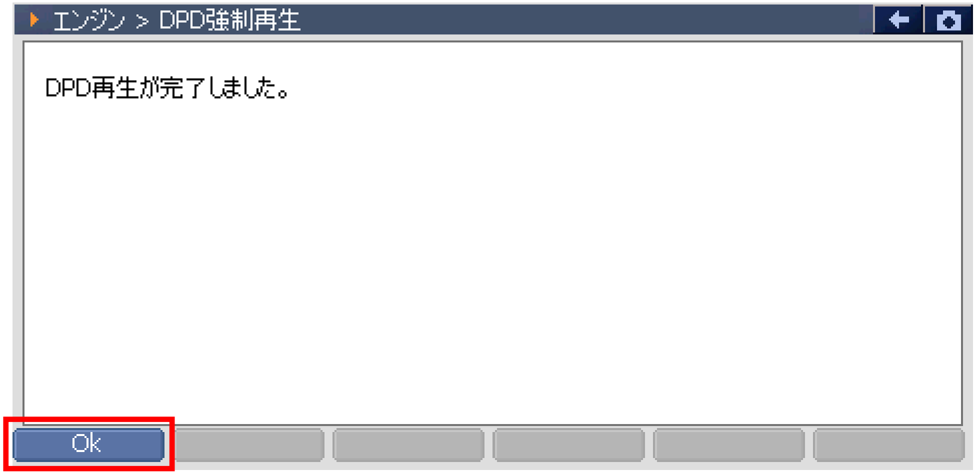
〈図：実行画面　DPD強制再生〉

6）『DPD再生状態』が『再生完了』と表示されましたらDPDの再生が完了し、『DPD強制再生』の完了画面に移ります。



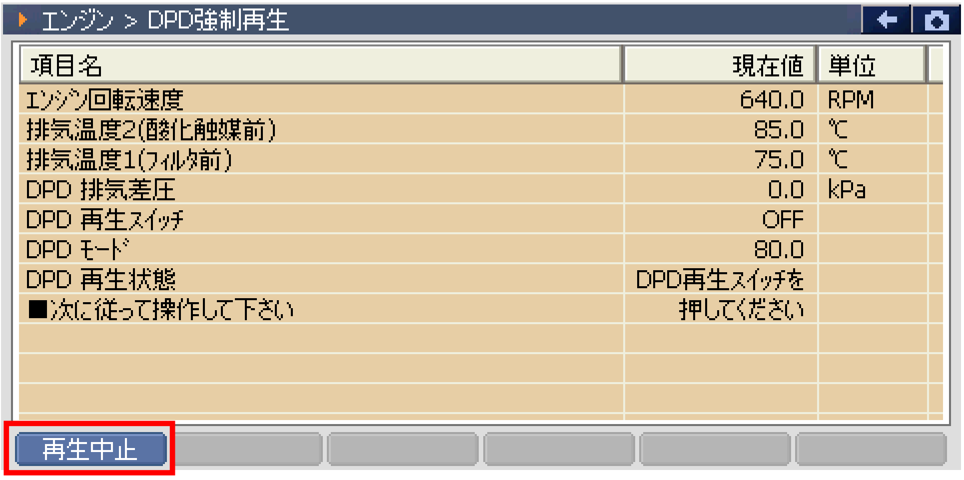
〈図：完了画面　DPD強制再生〉

7）DPD再生完了メッセージが表示されますので、 Ok ボタンを押してDPD再生を完了してください。



〈図：完了画面　DPD強制再生〉

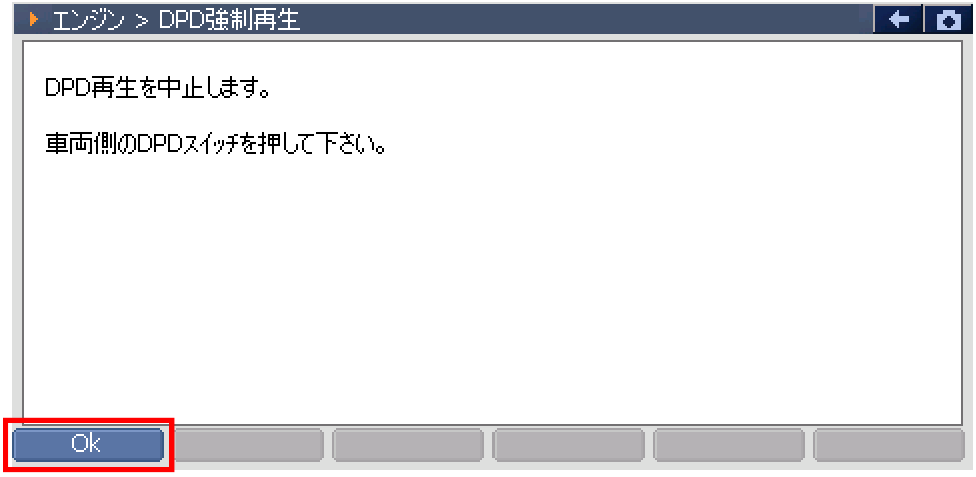
8）やむを得ず、『DPD強制再生』を途中で中止する場合は 再生中止 ボタンを押してください。



〈図：実行画面　DPD強制再生〉

9）再生中止メッセージ表示されますので、メッセージに従い操作してください。

ボタンを押してDPD強制再生を中止してください。



〈図：再生中止画面　DPD強制再生〉

※注意と補足※

- 注意、警告メッセージは必ず最後までご確認ください。
- 手順通りに実施しないと、正常に動作しない場合があります。

≪作業サポート「DPD強制ゆっくり再生」≫

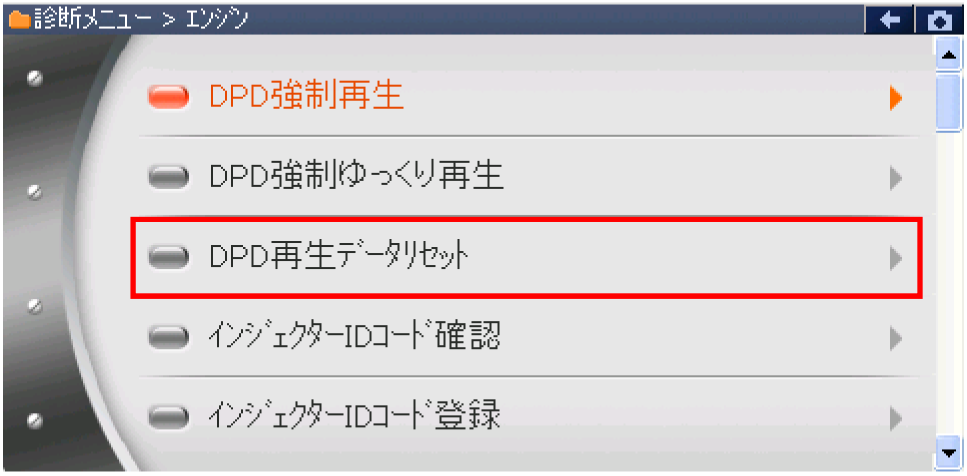
※注意と補足※

- 基本的な作業の流れは「DPD強制再生」と同様となります。
- 「DPD強制再生」に比べてDPDへの負荷を軽減して実施します。
- 所要時間は約120分です。
- 注意、警告メッセージは必ず最後までご確認ください。
  手順通りに実施しないと、正常に動作しない場合があります。

≪作業サポート「DPD再生データリセット」≫

1）作業サポート項目選択画面から『DPD再生データリセット』を選択して

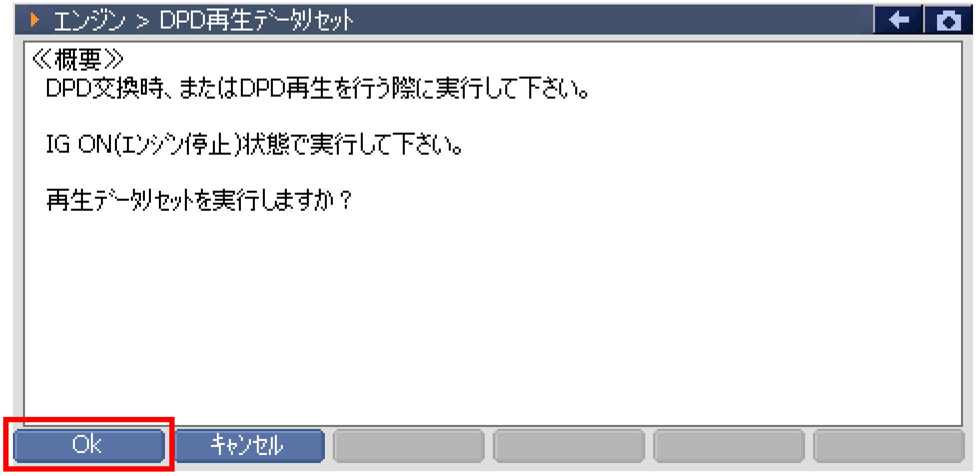
ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）確認メッセージ画面に移ります。確認メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

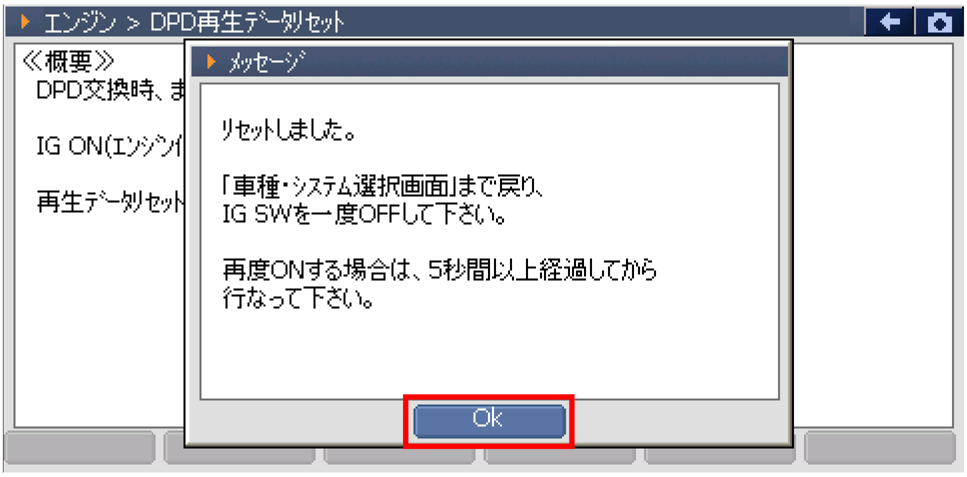
ボタンを押し、画面の指示に従ってDPD再生データリセットを実行してください。



〈図：確認メッセージ画面　DPD再生データリセット〉

3) DPD再生データリセット完了のメッセージが表示されます。画面の指示に従って操作し、

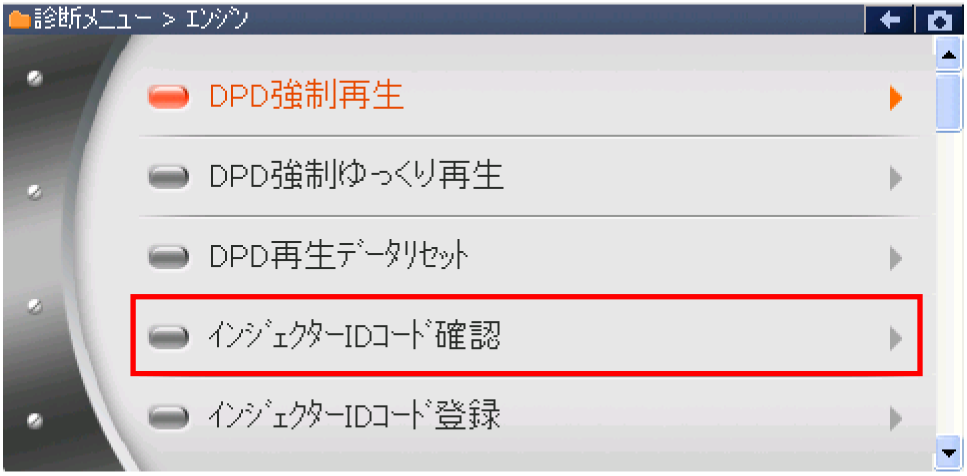
 ボタンを押してDPD再生データリセットを終了します。



〈図:完了メッセージ画面　DPD再生データリセット〉

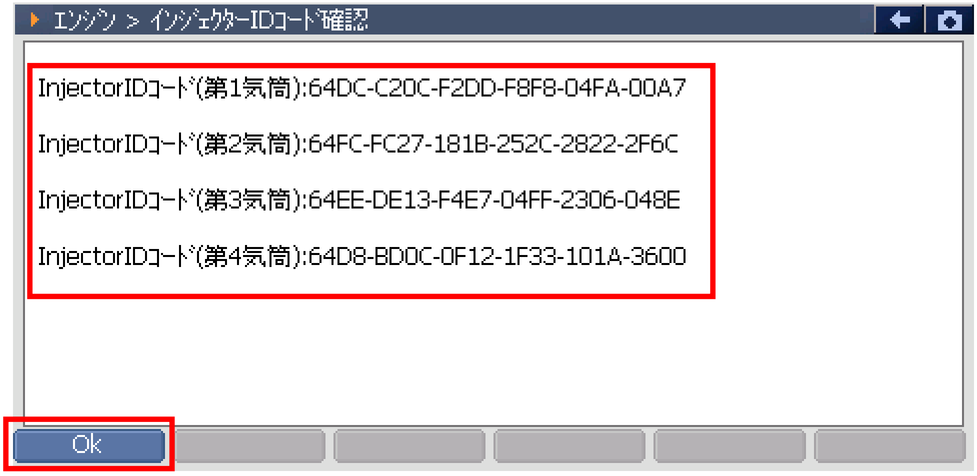
≪作業サポート「インジェクターIDコード確認」≫

1） 作業サポート項目選択画面から『インジェクターIDコード確認』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

2)インジェクターIDコードが確認できます。よろしければ Ok ボタンを押し、インジェクターIDコード確認を終了してください。

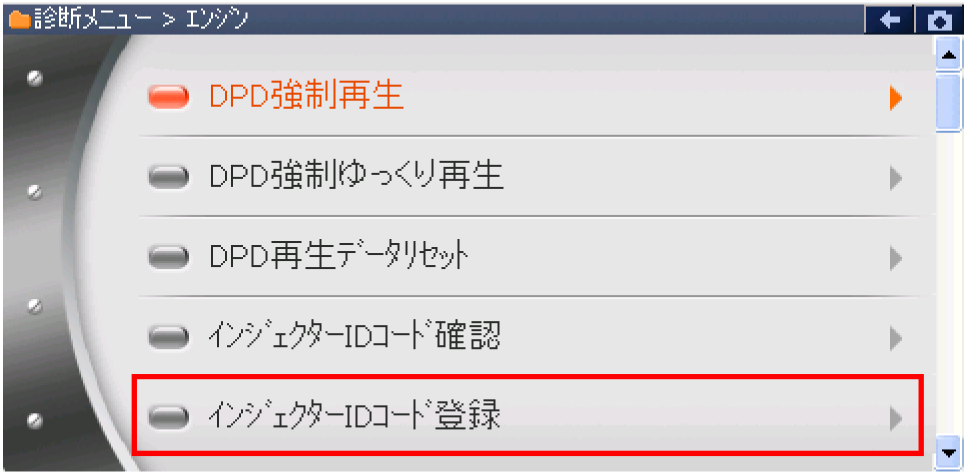


〈図：確認メッセージ画面　インジェクターIDコード確認（4気筒）〉

≪作業サポート「インジェクターIDコード登録」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『インジェクターIDコード登録』を選択して

ボタンを押してください。

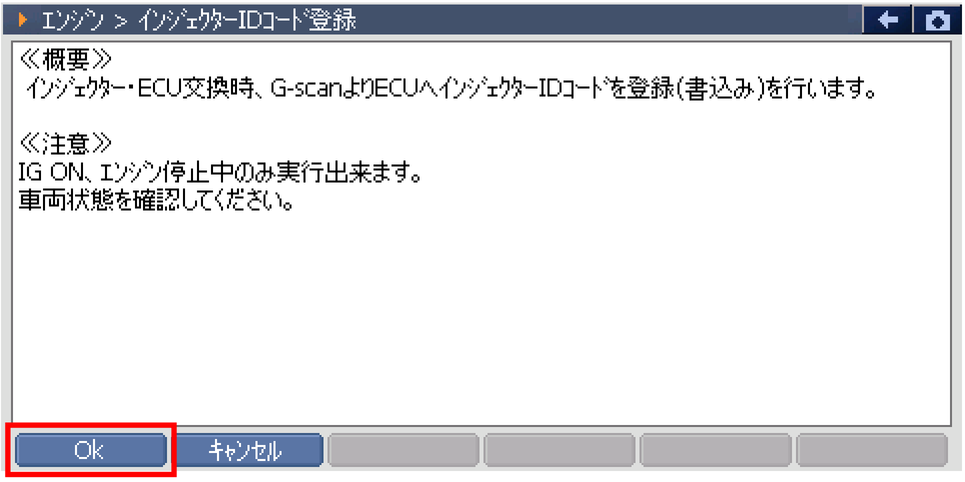


〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『インジェクターIDコード登録』の注意メッセージ画面に移ります。

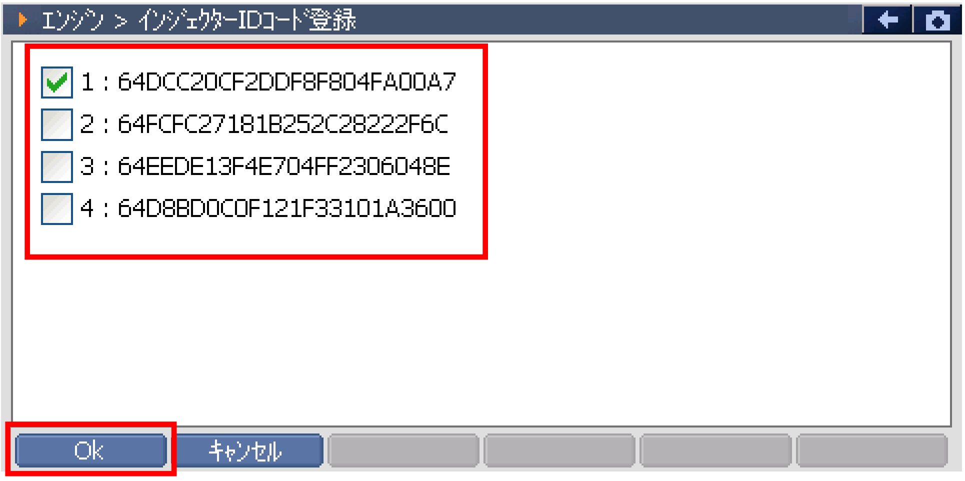
注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

ボタンを押してください。



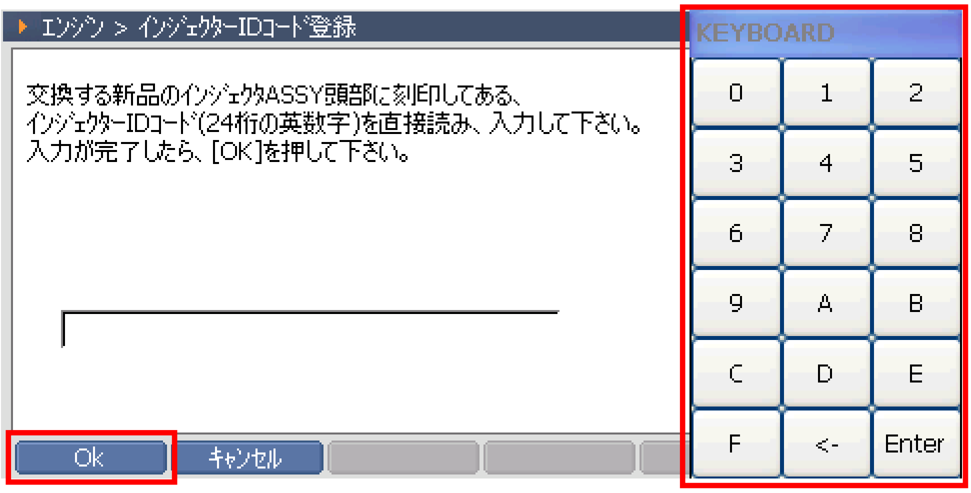
〈図:確認メッセージ画面　インジェクターIDコード登録〉

3）交換するインジェクターの気筒を選択します。よろしければ Ok ボタンを押してください。

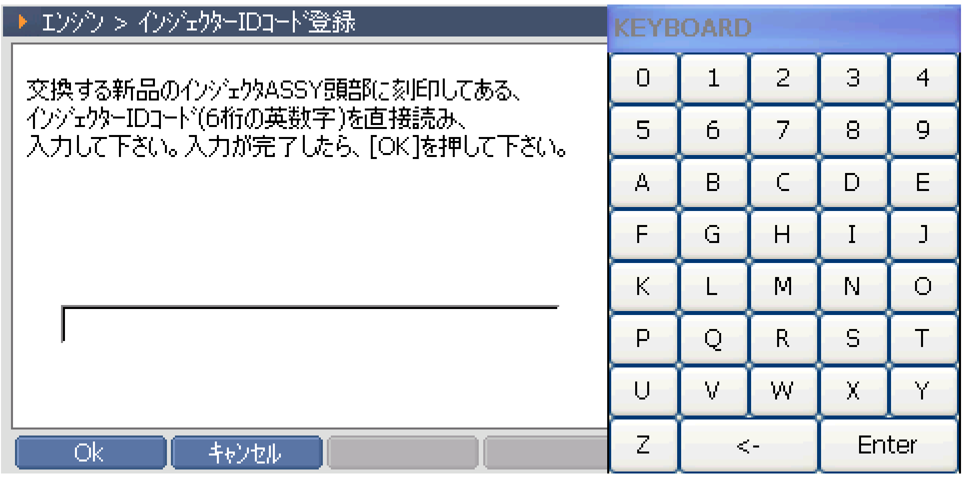


〈図：気筒選択画面　インジェクターIDコード登録〉

4）KEYBOARDを押して、インジェクターに刻印してある24桁のインジェクターIDコードを入力します。よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：IDコード入力画面　インジェクターIDコード登録1〉

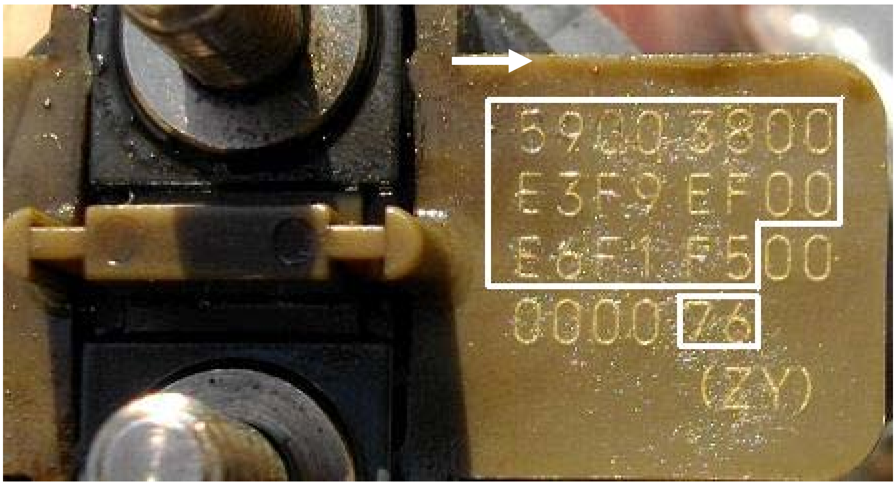


〈図:IDコード入力画面　インジェクターIDコード登録2〉

※注意と補足※

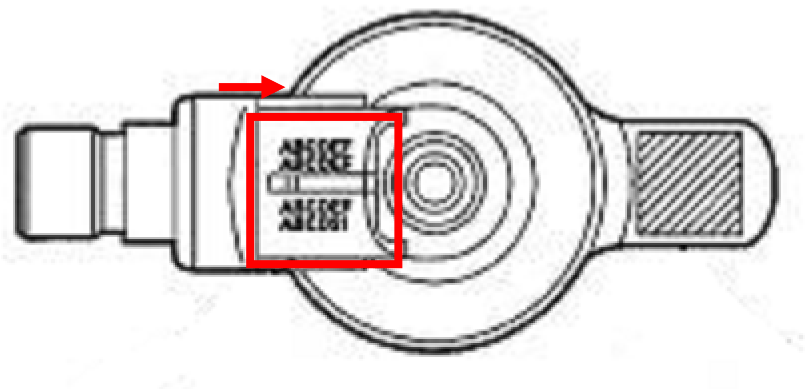
IDコードを入力することでインジェクターの噴射量精度が向上し、排気ガス削減や出力が安定します。インジェクターには下記の3タイプがあり、それぞれIDコードの刻印が異なります。インジェクター上部に下記のようにIDコードが刻印されています。

(例1)コンドル(小型) 06モデル 4HL1-NAエンジンの場合



矢印の方向に読み、実際に使用するIDコード(24桁)は白枠内でIDコードは『59003800E3F9EF00E6F1F576』になります。

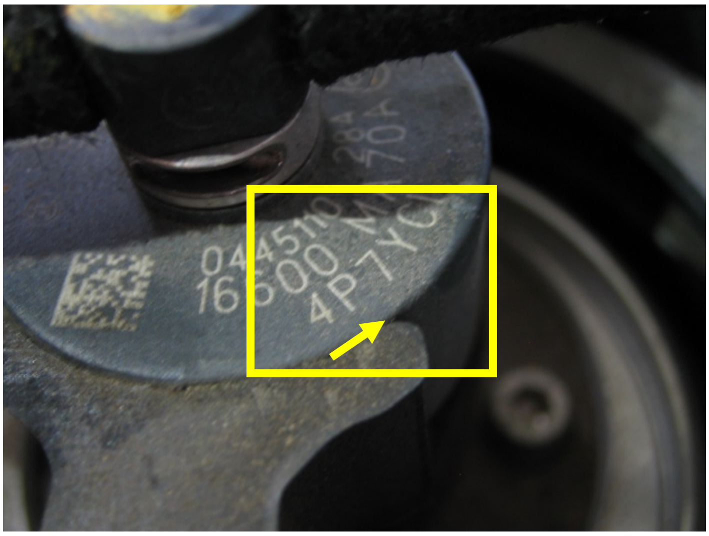
（例2）コンドル(小型) 07モデル 4JJ1-TCエンジンの場合



矢印の方向に読み、実際に使用するIDコード(24桁)は赤枠内にIDコードが刻印されています。

24桁をそのまま入力してください。

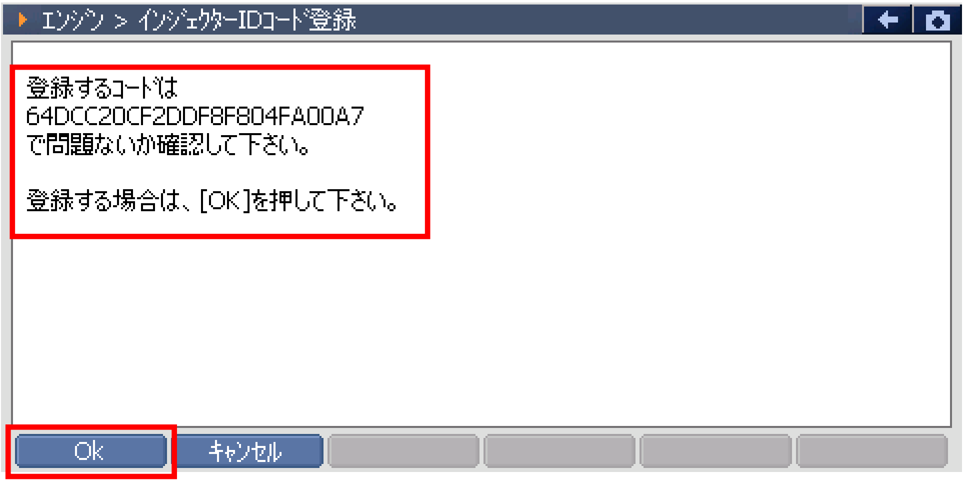
（例3）コンドル(小型) 07モデル ZD30DDTiエンジンの場合



矢印の方向に読み、実際に使用するIDコード(6桁)は黄枠内にIDコードが刻印されています。

6桁をそのまま入力してください。IDコードは『4P7YC1』になります。

5）入力したIDコードが正しければ Ok ボタンを押してください。ボタンを押すとECUにインジェクターIDコードを書込みます。



〈図：IDコード確認画面　インジェクターIDコード登録〉

6）書込み完了のメッセージが表示されます。 Ok ボタンを押してインジェクターIDコード登録を終了します。

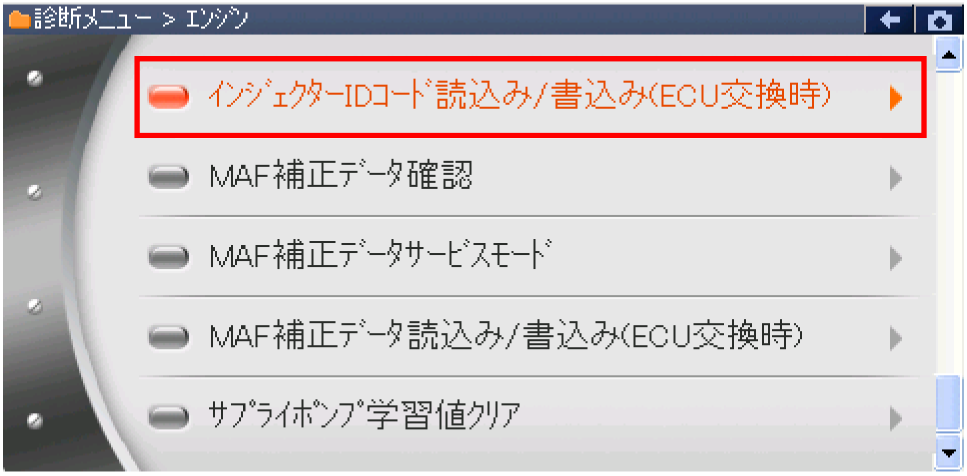
〈図：完了画面　インジェクターIDコード登録〉

※注意と補足※

誤ったインジェクターIDコードを入力しますと登録されませんのでご注意ください。

≪作業サポート「インジェクターIDコード読込み/書込み(ECU交換時)」≫

1）作業サポート項目選択画面から『インジェクターIDコード読込み/書込み(ECU交換時)』を選択して ENTER ボタンを押してください。

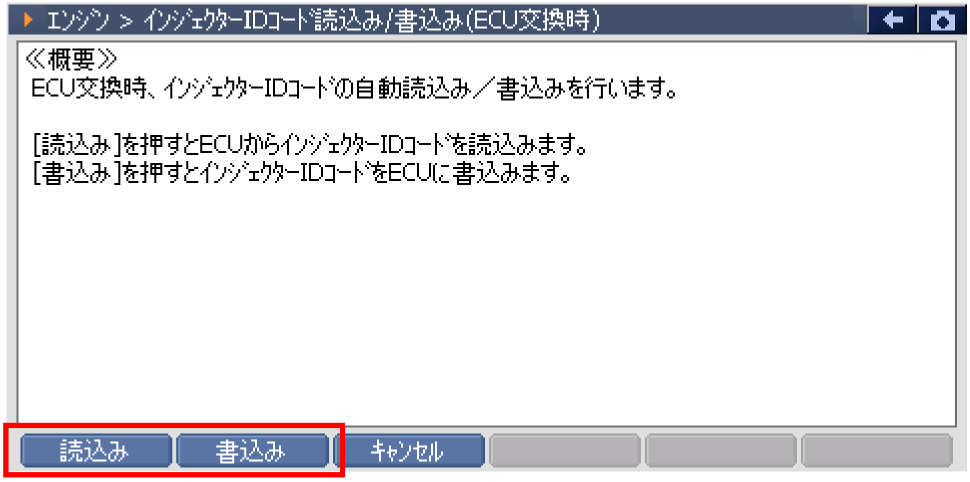


〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『インジェクターIDコード読込み/書込み(ECU交換時)』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。

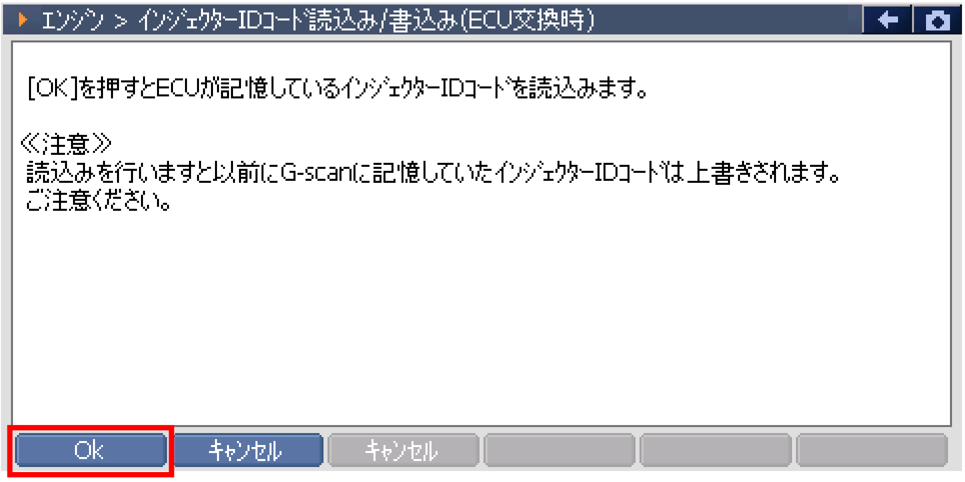
読込み：ECUからG-scanにインジェクターIDコードを読込みます。

書込み：G-scanからECUにインジェクターIDコードを書込みます。



〈図：確認メッセージ画面　インジェクターIDコード読込み/書込み〉

3) 読込み ボタンを押すと注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ Ok ボタンを押してください。

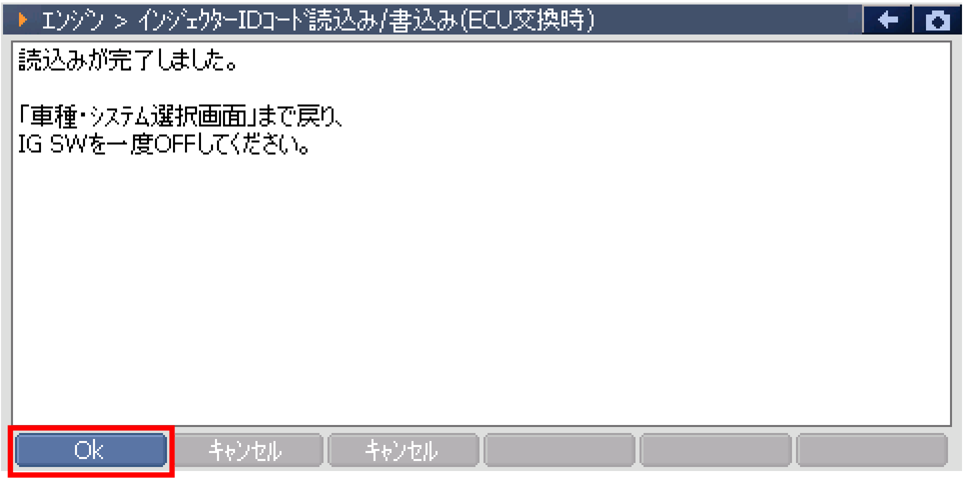


〈図：確認メッセージ画面　インジェクターIDコード読込み〉

※注意と補足※

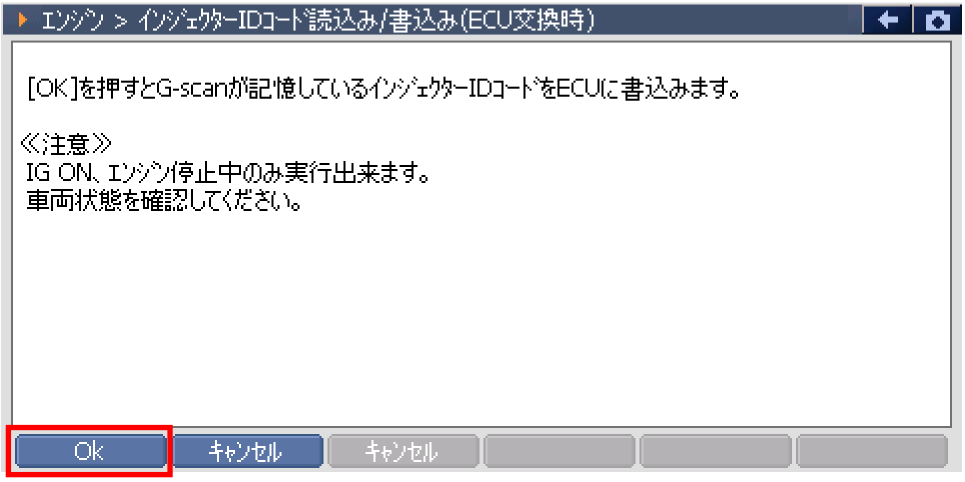
読込みを行いますと以前に記憶していたデータは上書きされますのでご注意ください。

4）読込み完了のメッセージが表示されます。Ok ボタンを押してインジェクターIDコード読込みを終了します。



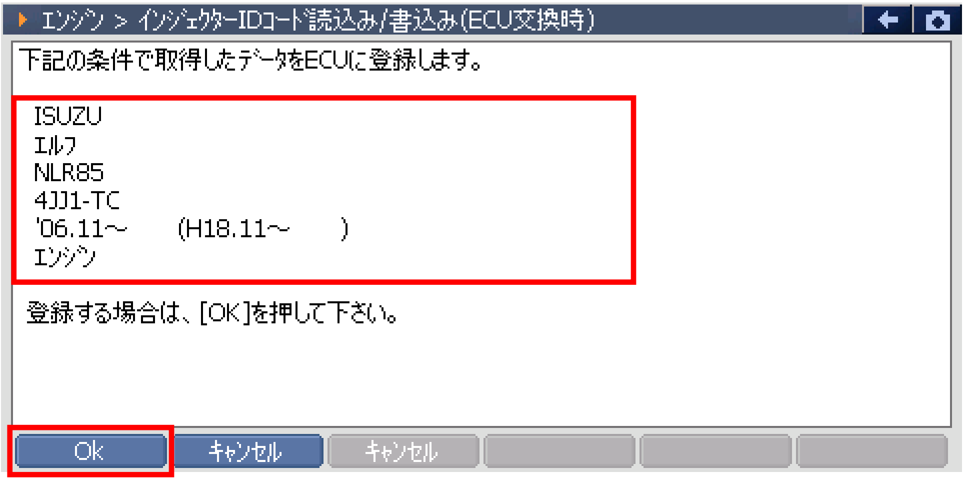
〈図：完了画面　インジェクターIDコード読込み〉

5）書込み ボタンを押すと注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：確認メッセージ画面　インジェクターIDコード書込み〉

6）前回インジェクターIDコードを読込んだ際の情報が表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ Ok ボタンを押してください。



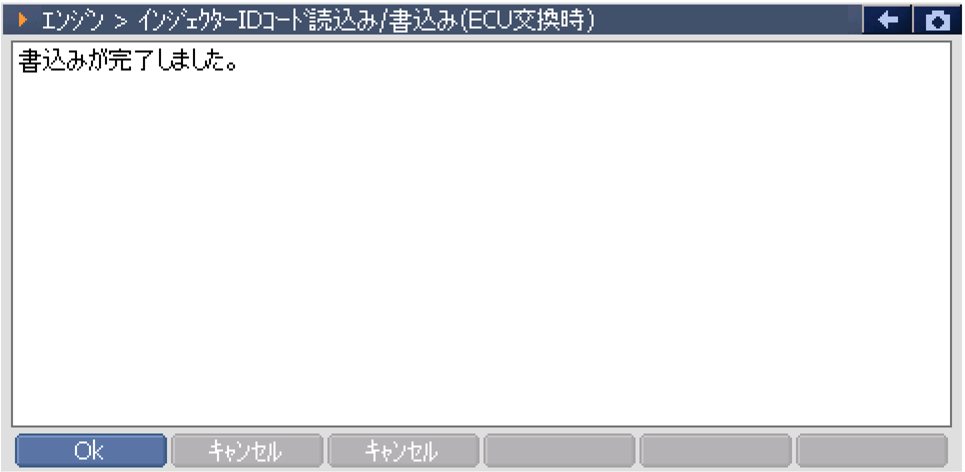
〈図：確認メッセージ画面　インジェクターIDコード書込み〉

※注意と補足※

データを取得した車種と書込みを行う車種が異なる場合、データの書込みに失敗する場合がありますのでご注意ください。

7）書込み完了のメッセージが表示されます。

ボタンを押してインジェクターIDコード登録を終了します。



〈図：完了画面　インジェクターIDコード書込み〉

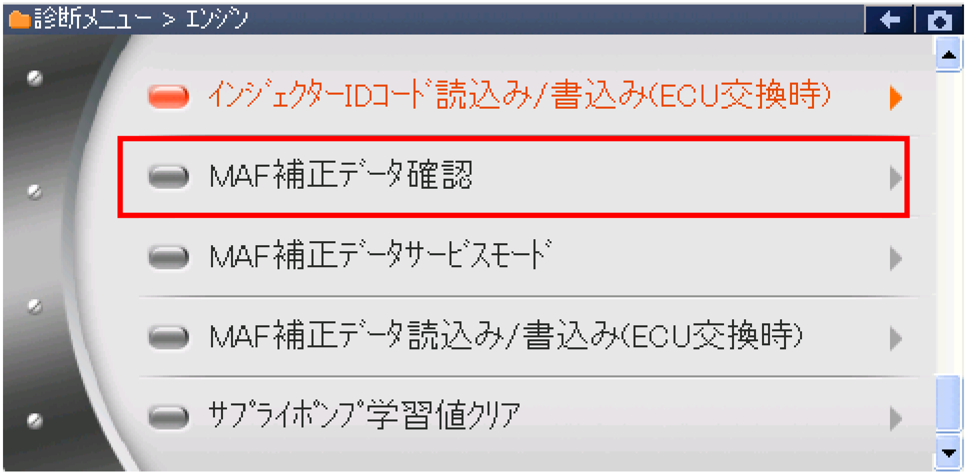
≪作業サポート「MAF補正データ読込み/書込み(ECU交換時)」≫

※注意と補足※

- 基本的な作業の流れは「インジェクターIDコード読込み/書込み(ECU交換時)」と同様となります。
- 読込みを行いますと以前に記憶していたデータは上書きされますのでご注意ください。
- データを取得した車種と書込みを行う車種が異なる場合、データの書込みに失敗する場合がありますのでご注意ください。

≪作業サポート「MAF補正データ確認」≫

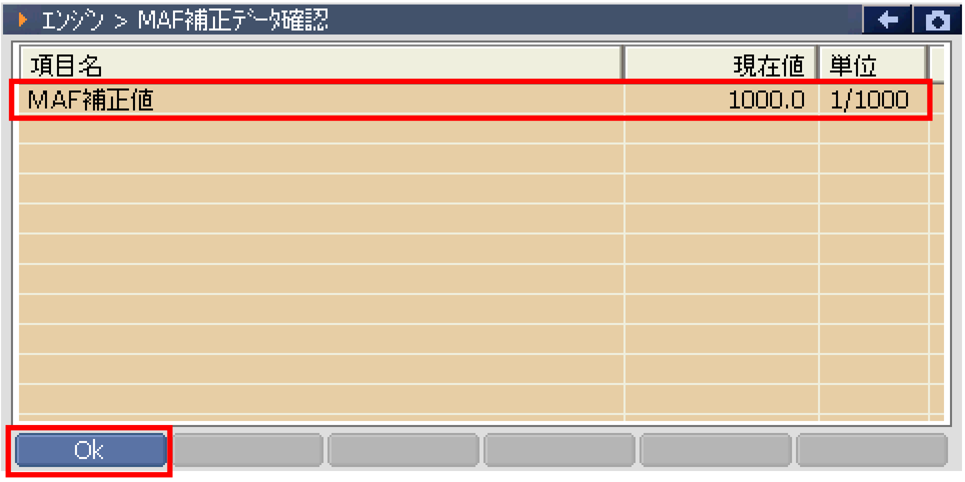
1）作業サポート項目選択画面から『MAF補正データ確認』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）現在のMAF補正値が表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押し、MAF補正データ確認を終了してください。

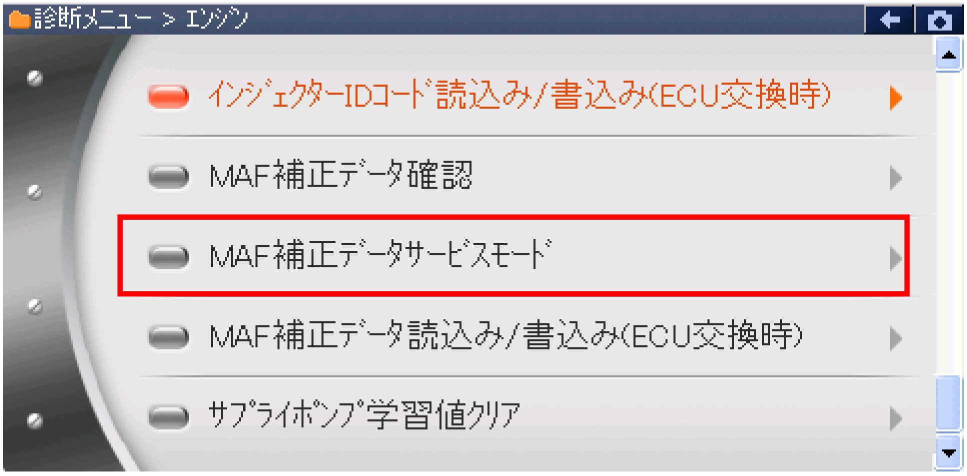
下記の画面ではMAF補正値は『1.000』を表します。(現在値×単位（1/1000）＝1.000)



〈図：確認画面　MAF補正データ確認〉

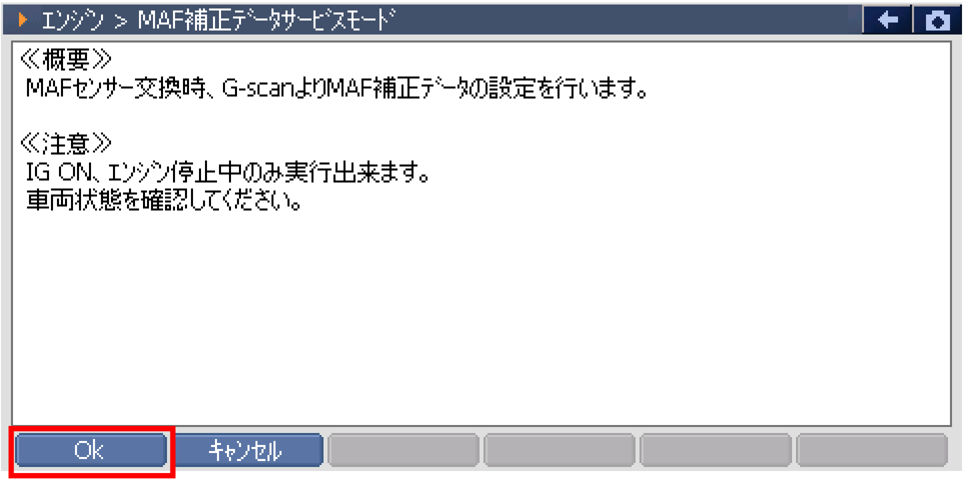
≪作業サポート「MAF補正データサービスモード」≫

1）作業サポート項目選択画面から『MAF補正データサービスモード』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

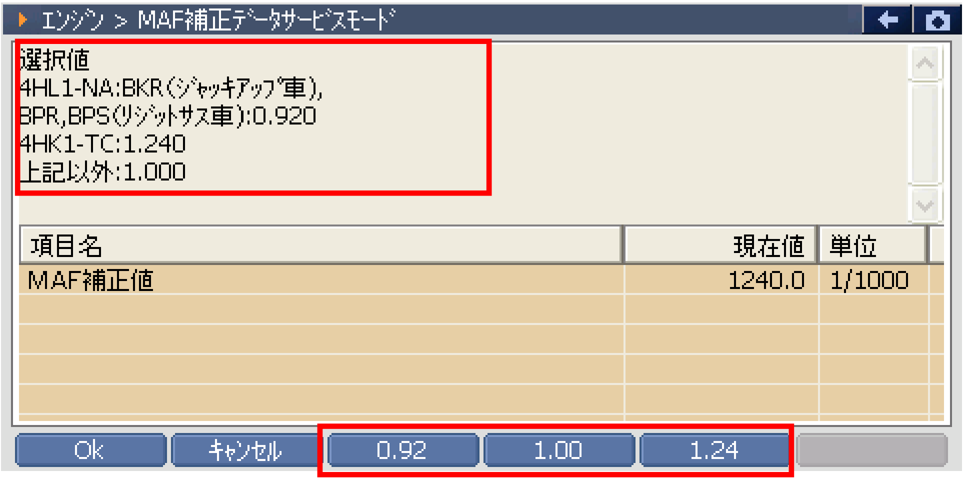
2）『MAF補正データサービスモード』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：確認メッセージ画面　MAF補正データサービスモード〉

3）選択値の内容をご確認いただき、設定する値のボタンを押してください。ボタンを押すと押した値を設定します。

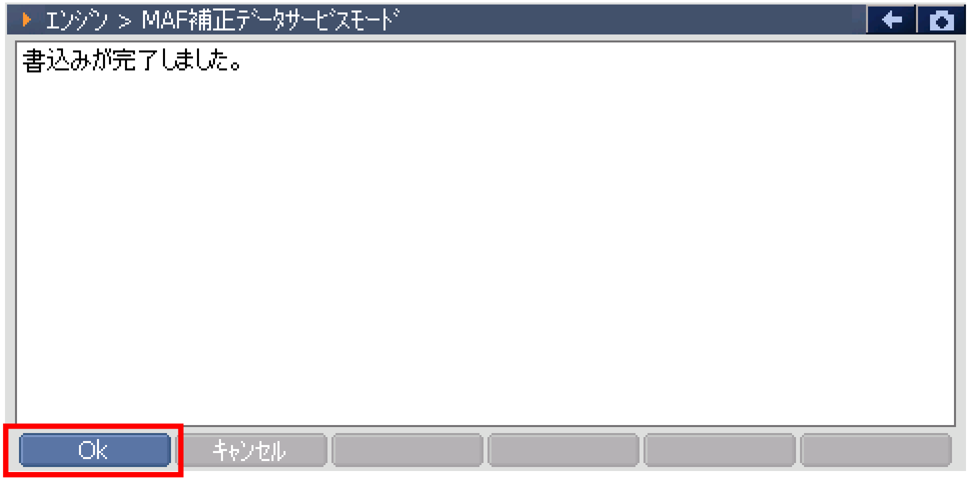
下記の画面ではMAF補正値は『1.000』を表します。（現在値×単位（1/1000）＝1.000）



〈図：入力画面　MAF補正データサービスモード〉

4）書込み完了のメッセージが表示されます。

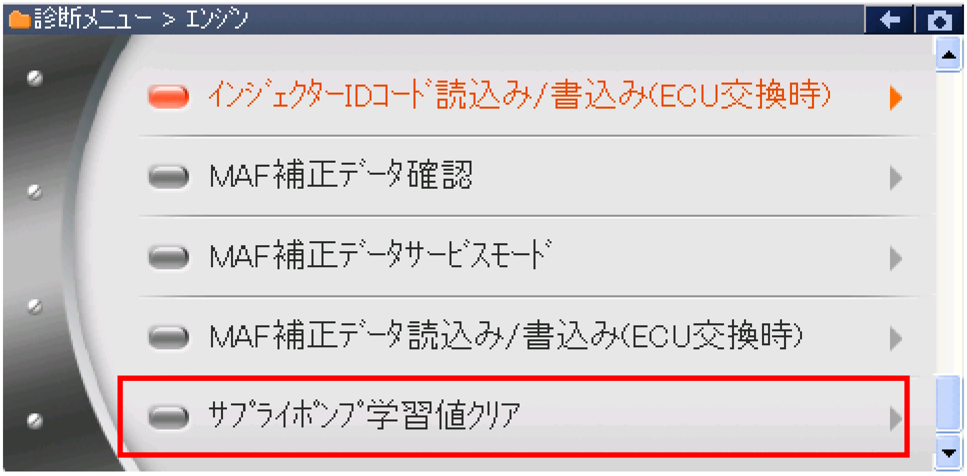
ボタンを押してMAF補正データサービスモードを終了します。



〈図：完了画面　MAF補正データサービスモード〉

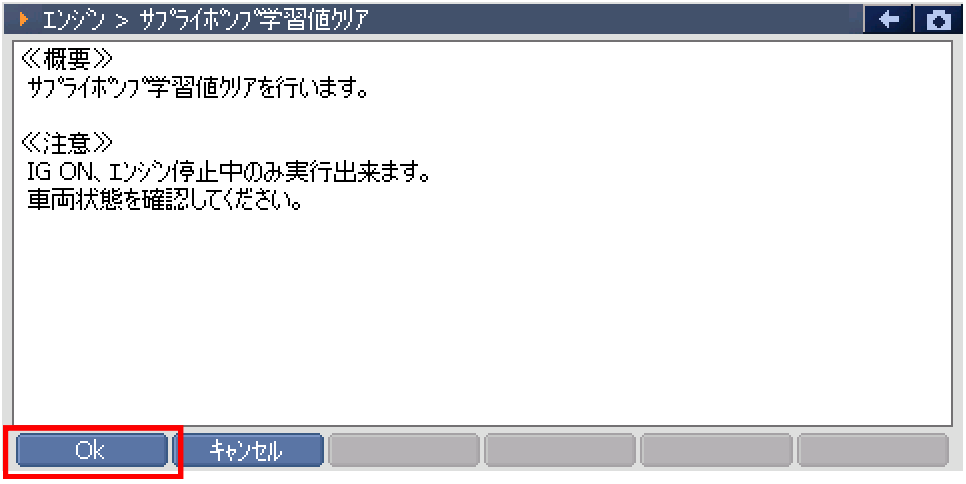
≪作業サポート「サプライポンプ学習値クリア」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『サプライポンプ学習値クリア』を選択して ENTER ボタンを押してください。



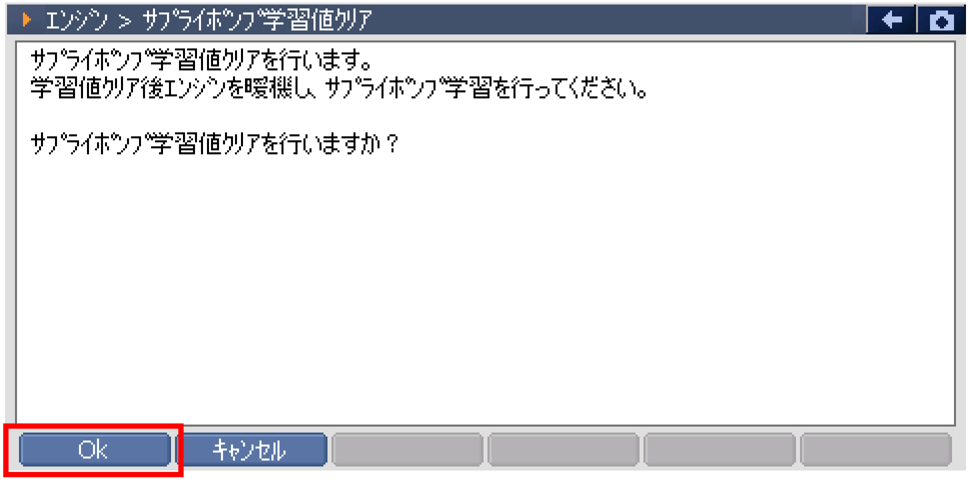
〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『サプライポンプ学習値クリア』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



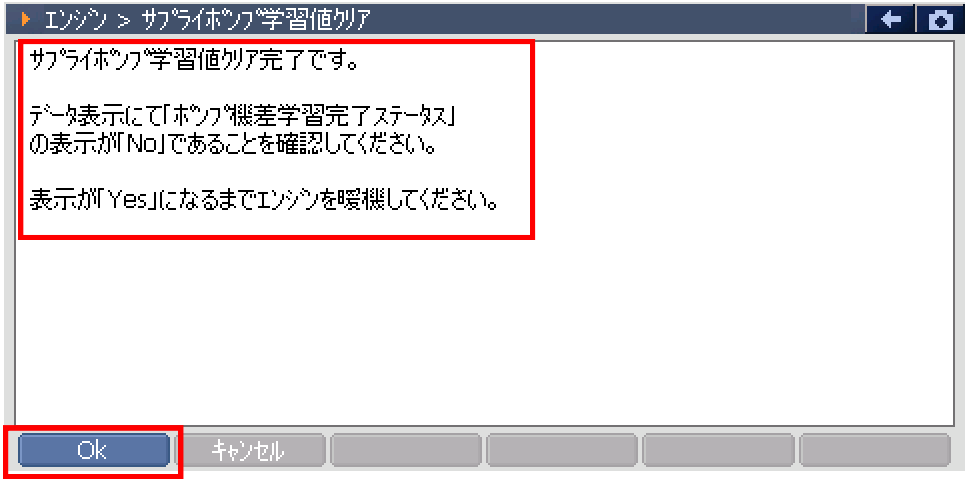
〈図:確認メッセージ画面　サプライポンプ学習値クリア〉

3）『サプライポンプ学習値クリア』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：確認メッセージ画面　サプライポンプ学習値クリア〉

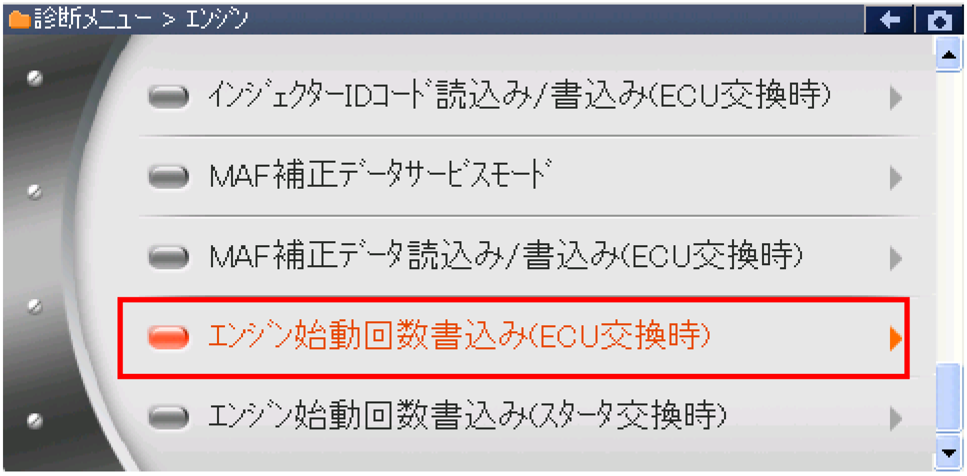
4）クリア完了のメッセージが表示されます。 Ok ボタンを押してサプライポンプ学習値クリアを終了します。メッセージの内容に従ってエンジンを暖機してサプライポンプ学習値クリアの作業を完了してください。



〈図：確認メッセージ画面　サプライポンプ学習値クリア〉

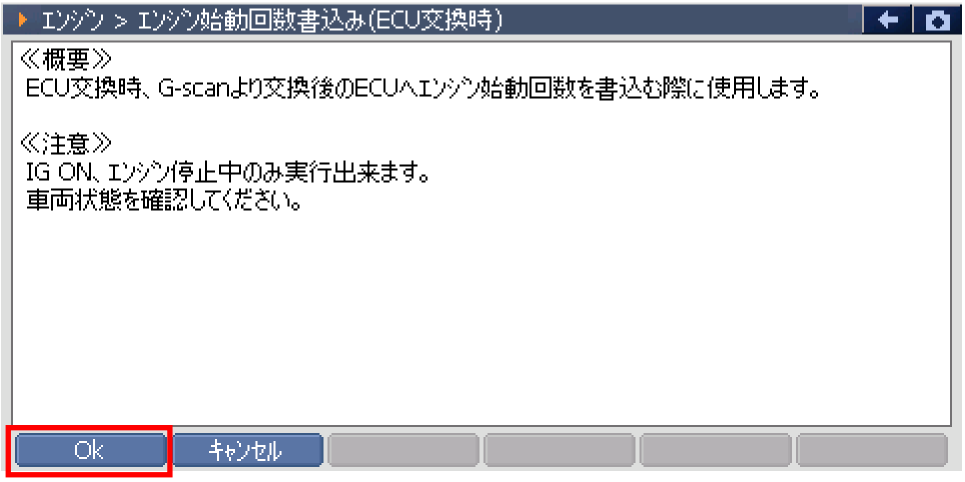
≪作業サポート「エンジン始動回数書込み(ECU交換時)」≫

1）作業サポート項目選択画面から『エンジン始動回数書込み(ECU交換時)』を選択して ENTER ボタンを押してください。



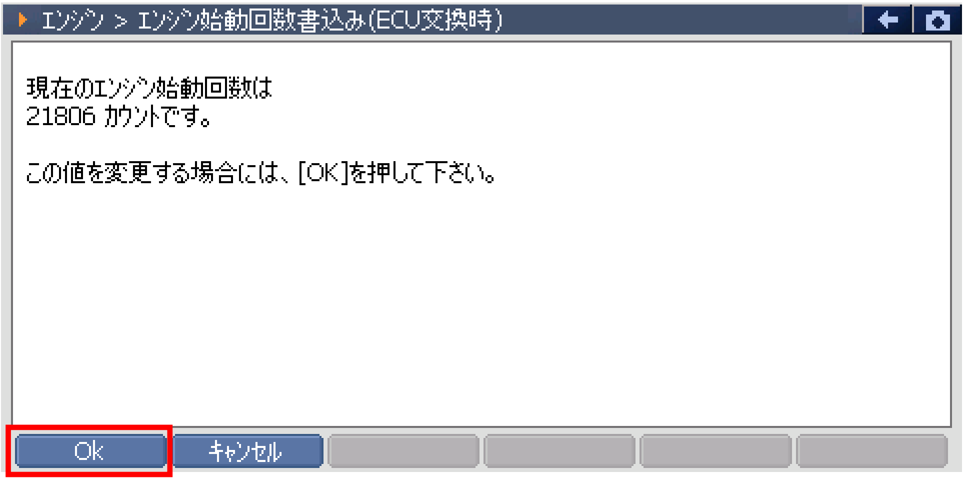
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『エンジン始動回数書込み(ECU交換時)』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



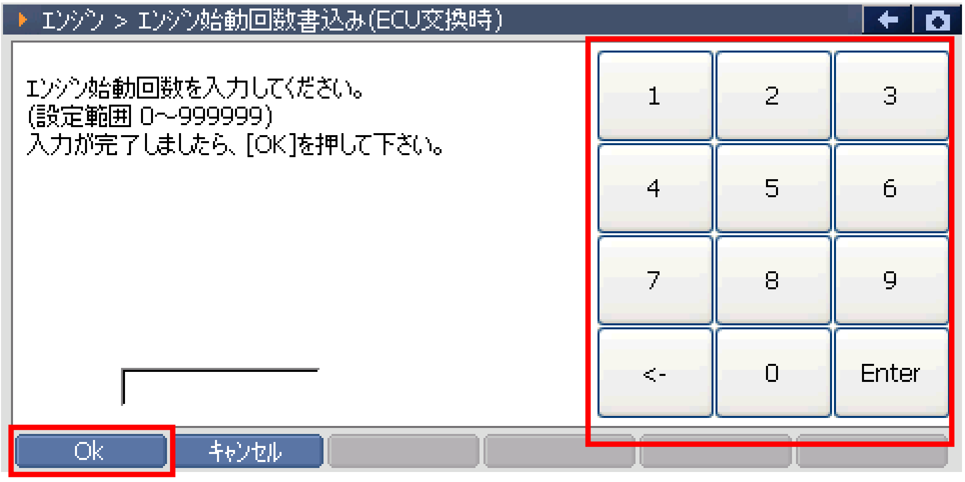
〈図：確認メッセージ画面　エンジン始動回数書込み(ECU交換時)〉

3）現在のエンジン始動回数が表示されます。変更する場合には Ok ボタンを押してください。



〈図：確認メッセージ画面　エンジン始動回数書込み(ECU交換時)〉

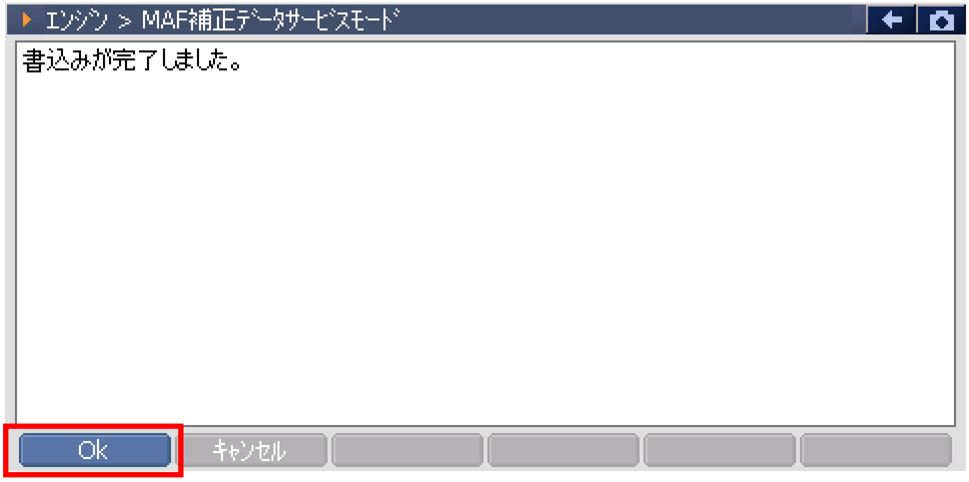
4）画面右のボタンを押して、エンジンの始動回数を入力します。よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：エンジン始動回数入力画面　エンジン始動回数書込み(ECU交換時)〉

5）書込み完了のメッセージが表示されます。

ボタンを押してエンジン始動回数書込み(ECU交換時)を終了します。



〈図：完了画面　エンジン始動回数書込み(ECU交換時)〉

≪作業サポート「エンジン始動回数書込み(スタータ交換時)」≫

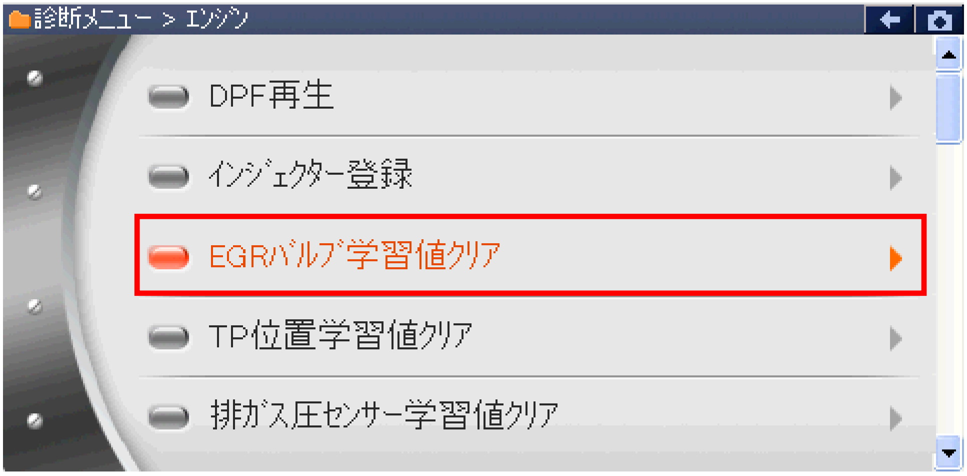
※注意と補足※

・ エンジンスタータを交換した際に行う作業です。

・ 基本的な作業の流れは「エンジン始動回数書込み(ECU交換時)」と同様となります。

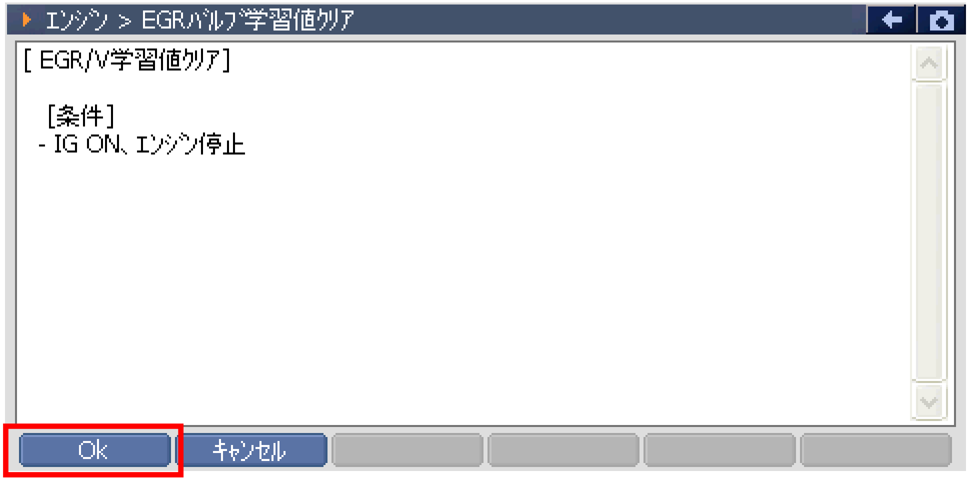
≪作業サポート「EGRバルブ学習値クリア」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『EGR V/POS学習値クリア』を選択して ENTER ボタンを押してください。



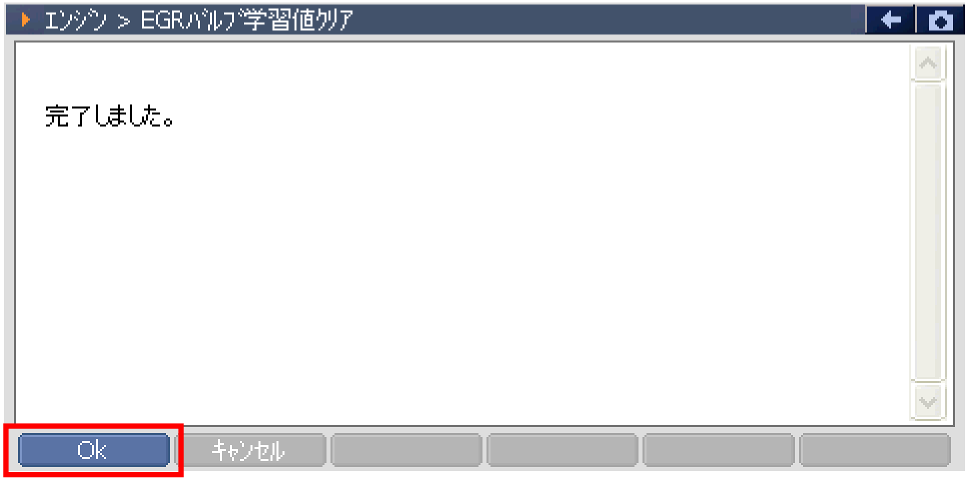
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2) 『EGRバルブ学習値クリア』の注意メッセージ画面に移ります。実施条件が表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：確認メッセージ画面　EGRバルブ学習値クリア〉

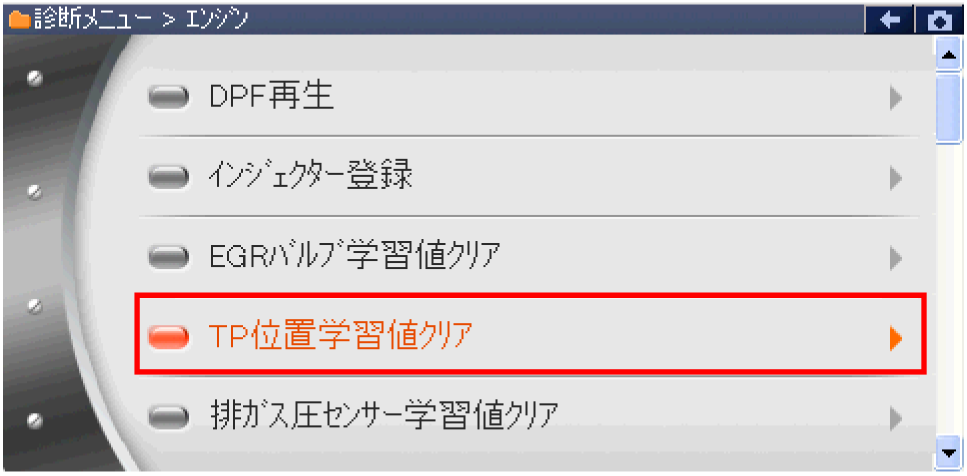
3）クリア完了のメッセージが表示されます。 Ok ボタンを押してEGR V/POS学習値クリアを終了します。



〈図：確認メッセージ画面　EGRバルブ学習値クリア〉

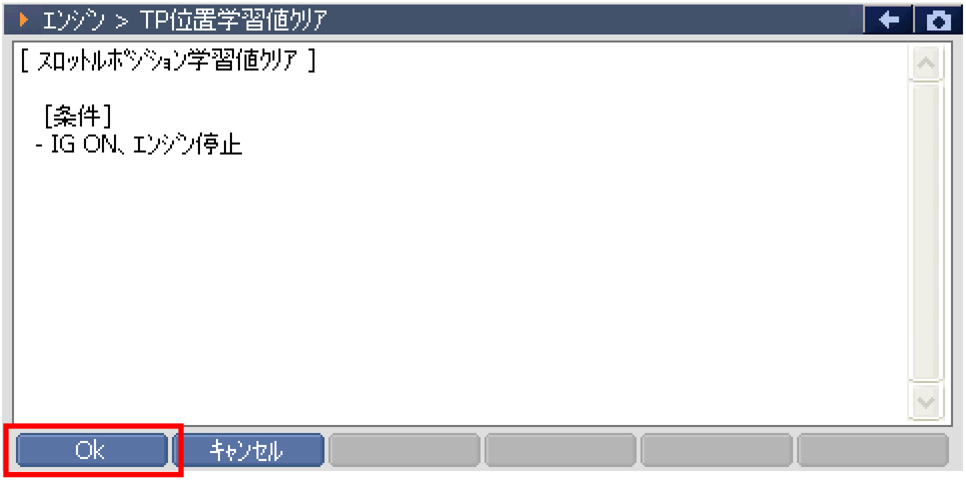
≪作業サポート「TP位置学習値クリア」≫

1）作業サポート項目選択画面から『TP位置学習値クリア』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『TP位置学習値クリア』の注意メッセージ画面に移ります。実施条件が表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



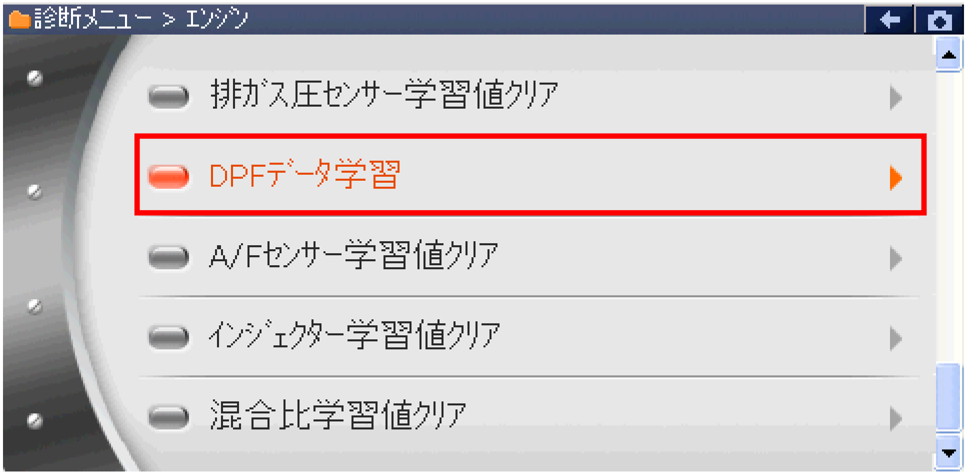
〈図：確認メッセージ画面　TP位置学習値クリア〉

3）クリア完了のメッセージが表示されます。Ok ボタンを押してTP位置学習値クリアを終了します。

〈図：確認メッセージ画面　TP位置学習値クリア〉

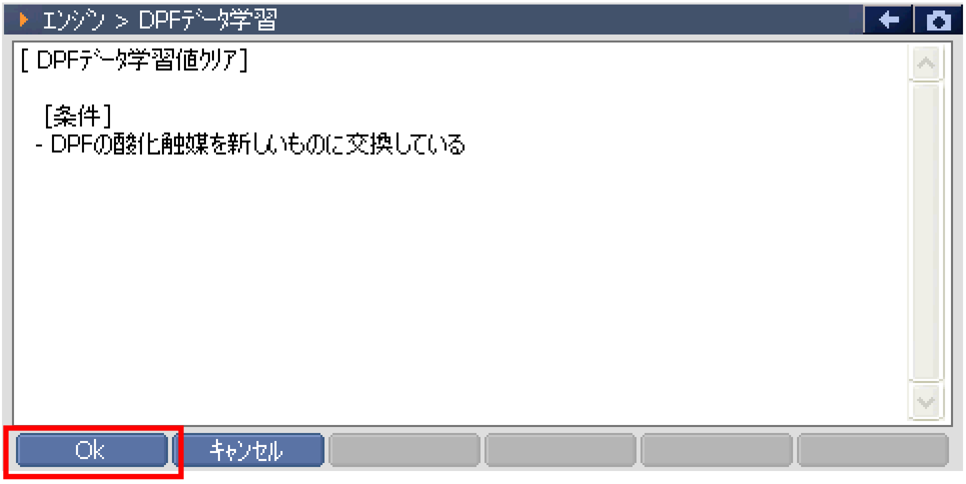
≪作業サポート「DPFデータ学習」≫

1）作業サポート項目選択画面から『DPFデータ学習』を選択して ENTER ボタンを押してください。



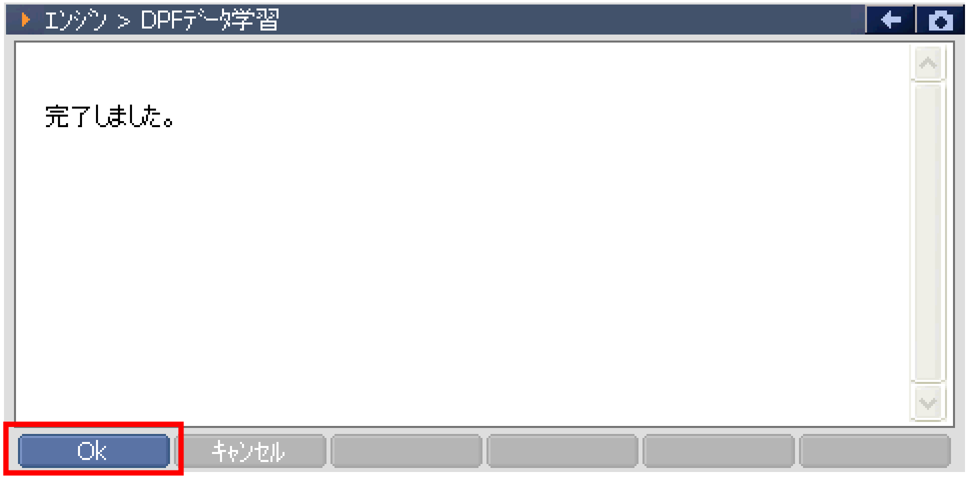
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『DPFデータ学習』の注意メッセージ画面に移ります。実施条件が表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：確認メッセージ画面　DPFデータ学習〉

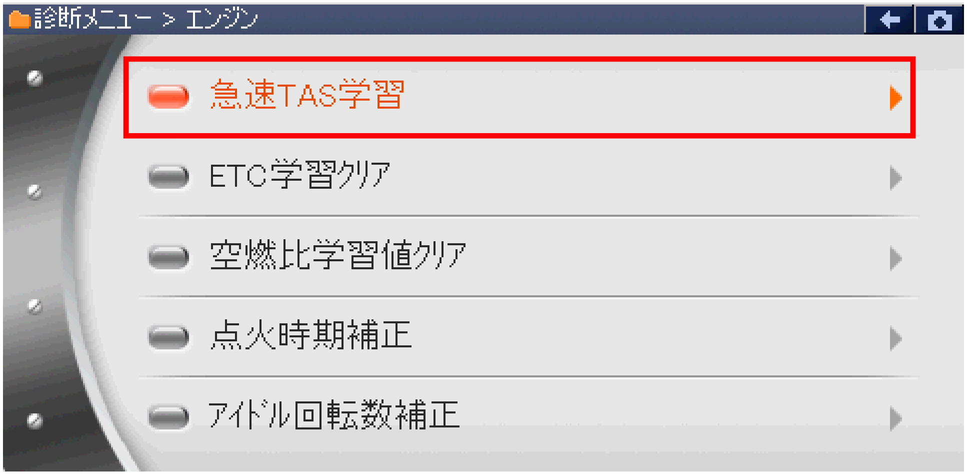
3）クリア完了のメッセージが表示されます。Ok ボタンを押してDPFデータ学習を終了します。



〈図：確認メッセージ画面　DPFデータ学習〉

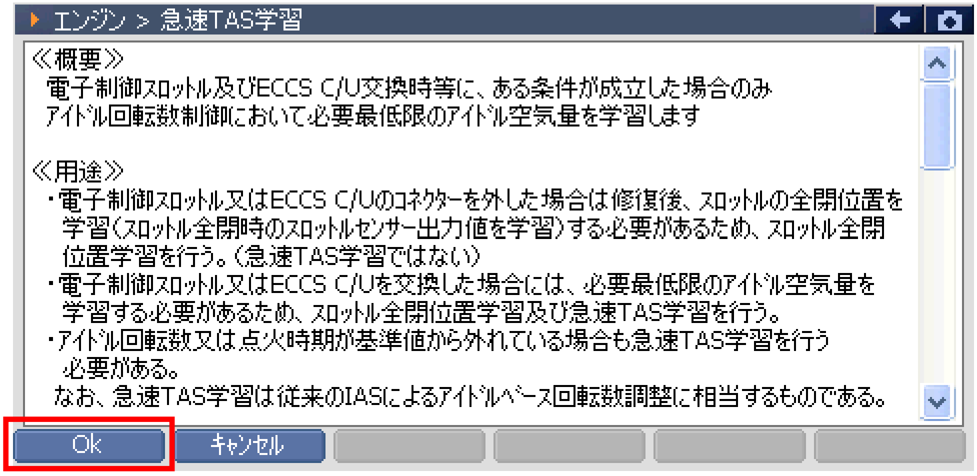
≪作業サポート｢急速TAS学習｣≫

1）作業サポート項目選択画面から『急速TAS学習』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『急速TAS学習』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押し、画面の指示に従って作業サポートを実行してください。



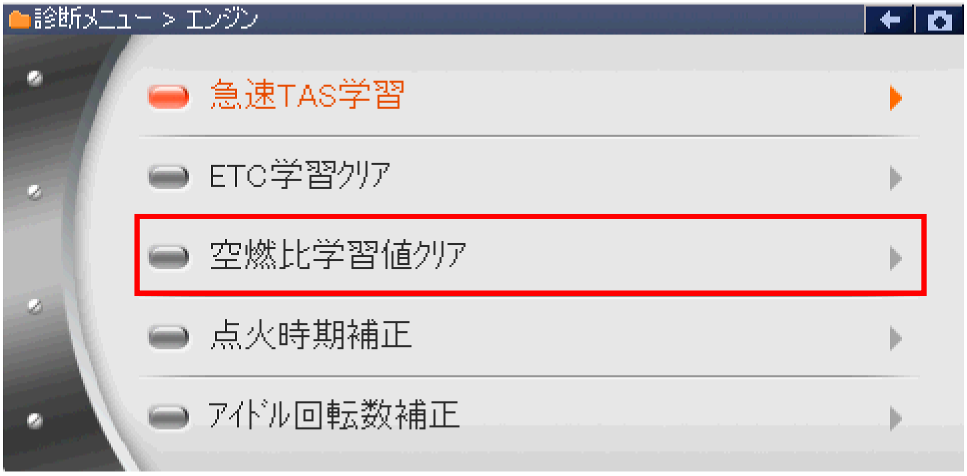
〈図：確認メッセージ画面　急速TAS学習〉

3）作業サポートが実行され、完了メッセージが表示されます。 Ok ボタンを押して作業サポートを終了します。

〈図：完了メッセージ画面　急速TAS学習〉

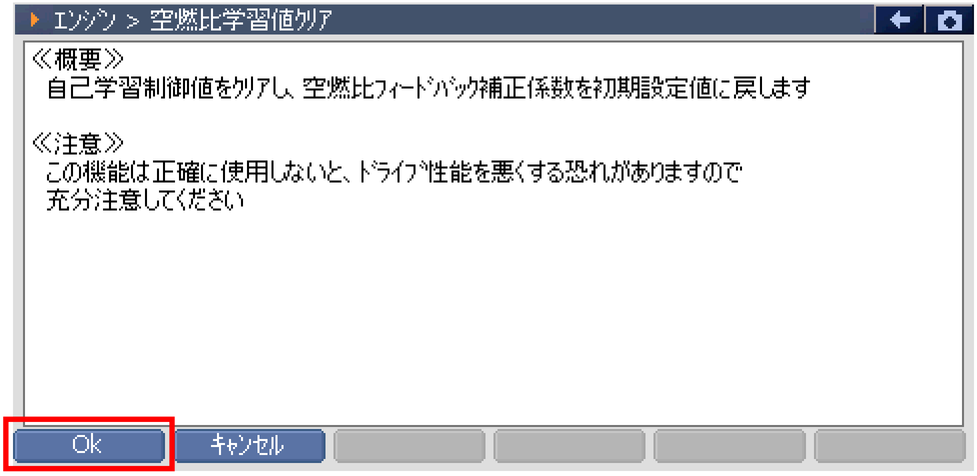
≪作業サポート「空燃比学習値クリア」≫

1）作業サポート項目選択画面から『空燃比学習値クリア』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『空燃比学習値クリア』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押し、画面の指示に従って作業サポートを実行してください。



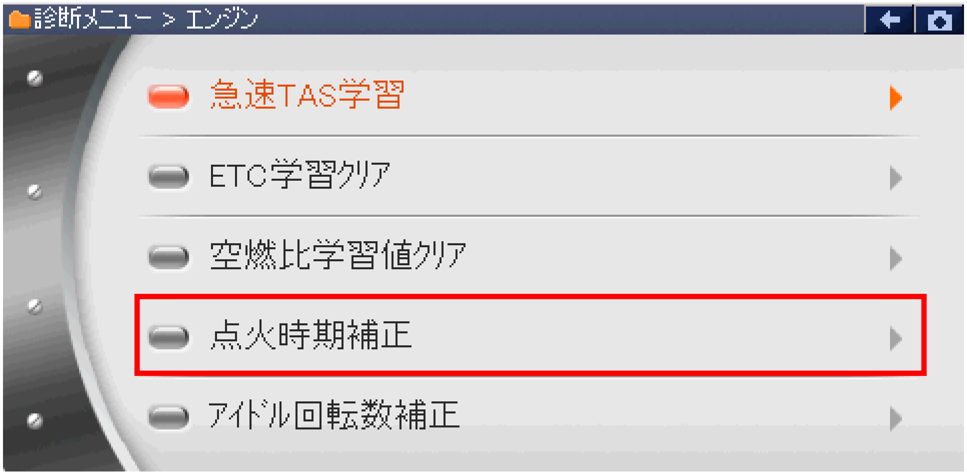
〈図：確認メッセージ画面　空燃比学習値クリア〉

3）作業サポートが実行され、完了メッセージが表示されます。［Ok］ボタンを押して作業サポートを終了します。

〈図：完了メッセージ画面　空燃比学習値クリア〉

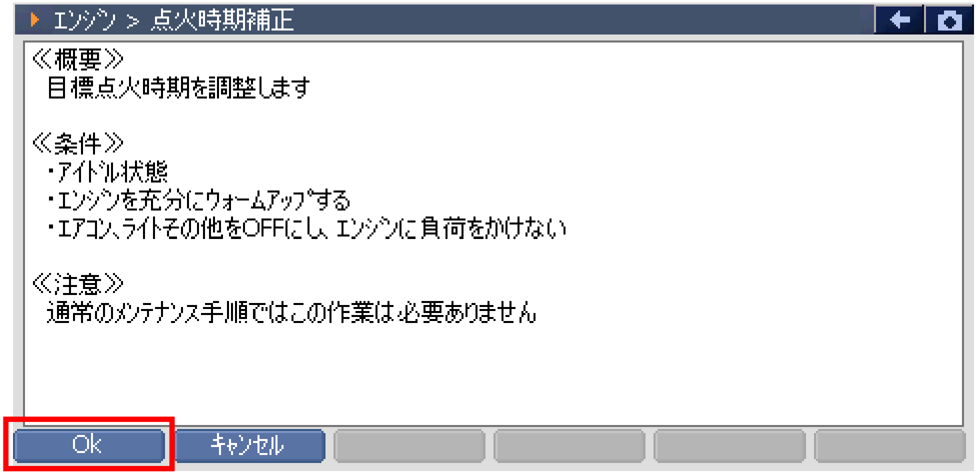
≪作業サポート「点火時期補正」≫

1）作業サポート項目選択画面から『点火時期補正』を選択して ボタンを押してください。



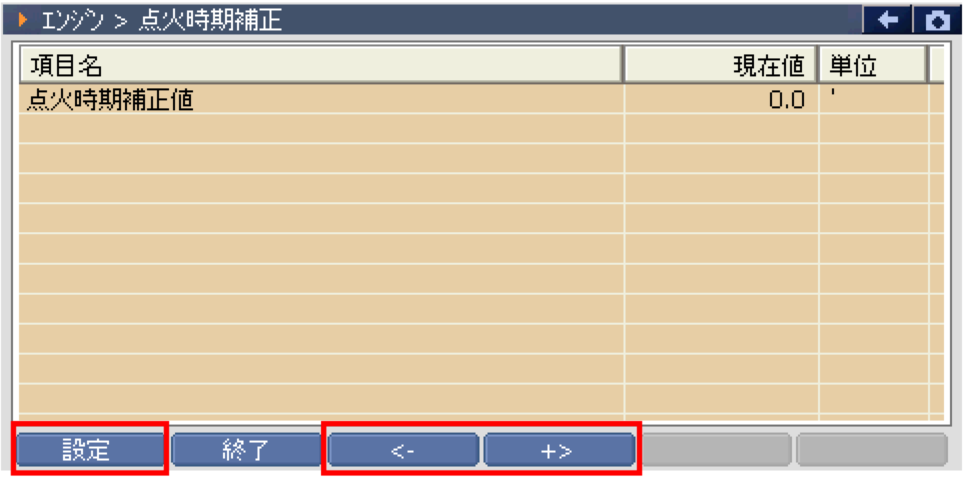
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『点火時期補正』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ ボタンを押し、画面の指示に従って作業サポートを実行してください。

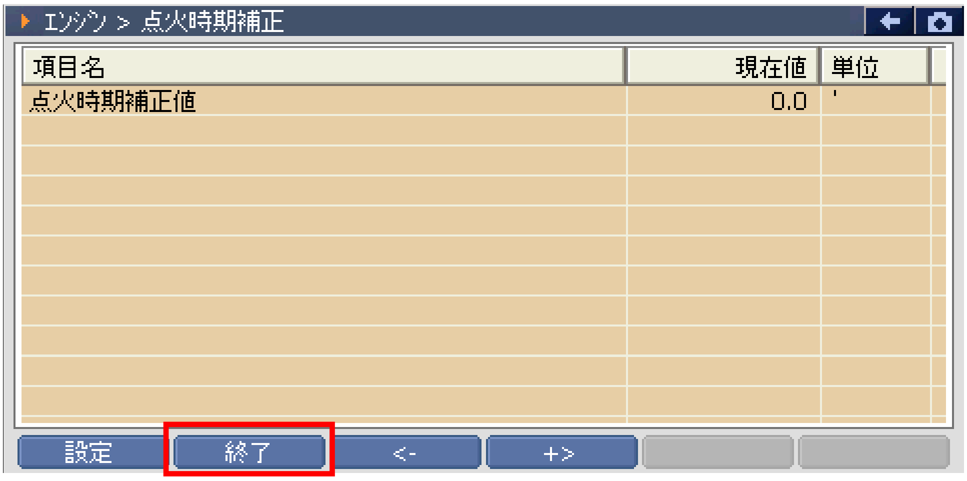


〈図：確認メッセージ画面　点火時期補正〉

3)『点火時期補正』の設定画面に移ります。 <- +> ボタンを押して点火時期補正値を変更し、 設定 ボタンを押して値を設定してください。設定が完了しましたら、 終了 ボタンを押して作業サポートを終了します。



〈図:設定値変更画面　点火時期補正〉

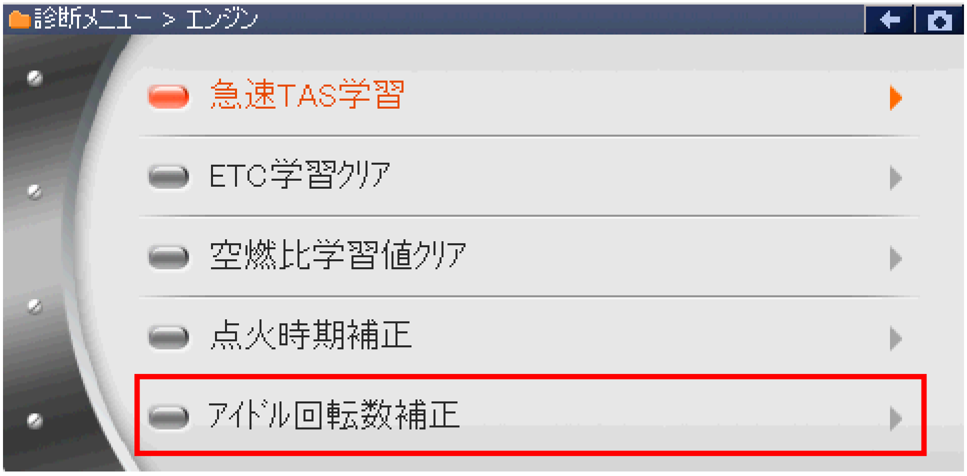


〈図:設定値変更画面　点火時期補正〉

≪作業サポート「アイドル回転数補正」≫

1）作業サポート項目選択画面から『アイドル回転数補正』を選択して

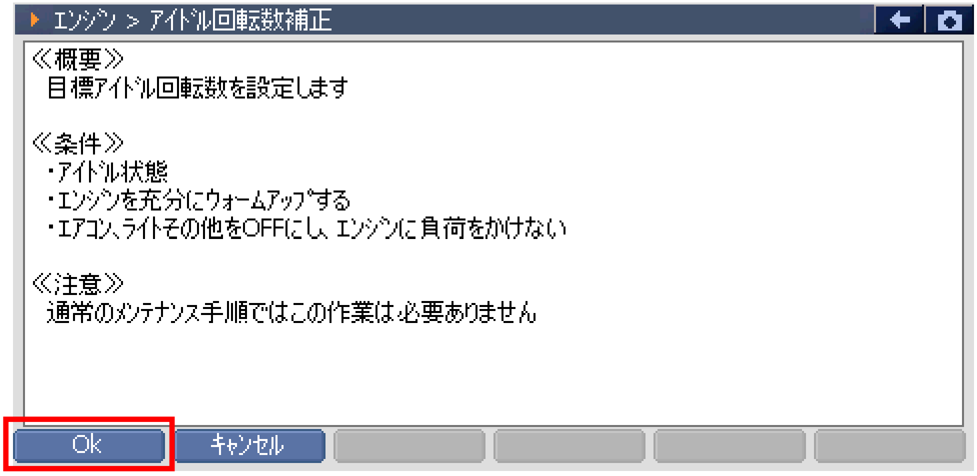
ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『アイドル回転数補正』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ

ボタンを押し、画面の指示に従って作業サポートを実行してください。



〈図：確認メッセージ画面　アイドル回転数補正〉

3）『アイドル回転数補正』の設定画面に移ります。[<-] [+>] ボタンを押して点火時期補正値を変更し、[設定] ボタンを押して値を設定してください。設定が完了しましたら、[終了] ボタンを押して作業サポートを終了します。

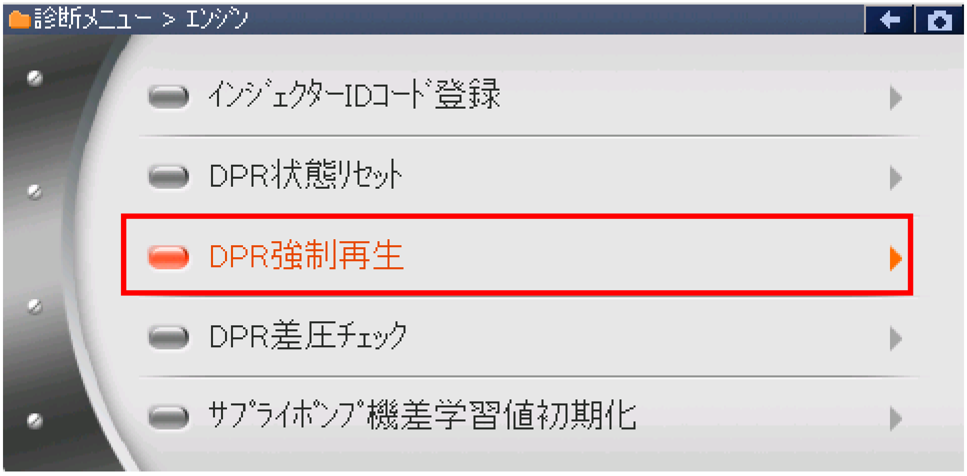
〈図：設定値変更画面　アイドル回転数補正〉

〈図：設定値変更画面　アイドル回転数補正〉

≪作業サポート「DPR強制再生」≫

1）作業サポート項目選択画面から『DPR強制再生』を選択して

ボタンを押してください。

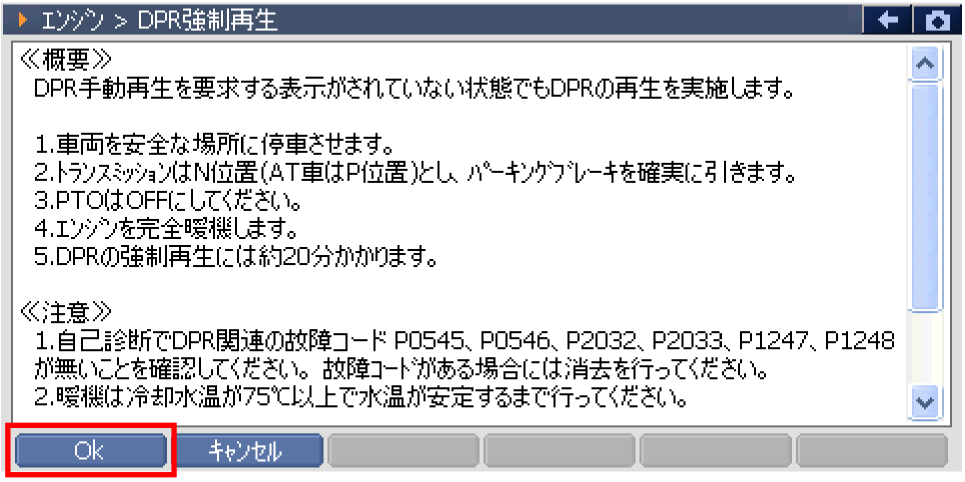


〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『DPR強制再生』の注意メッセージ画面に移ります。

注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

ボタンを押してください。

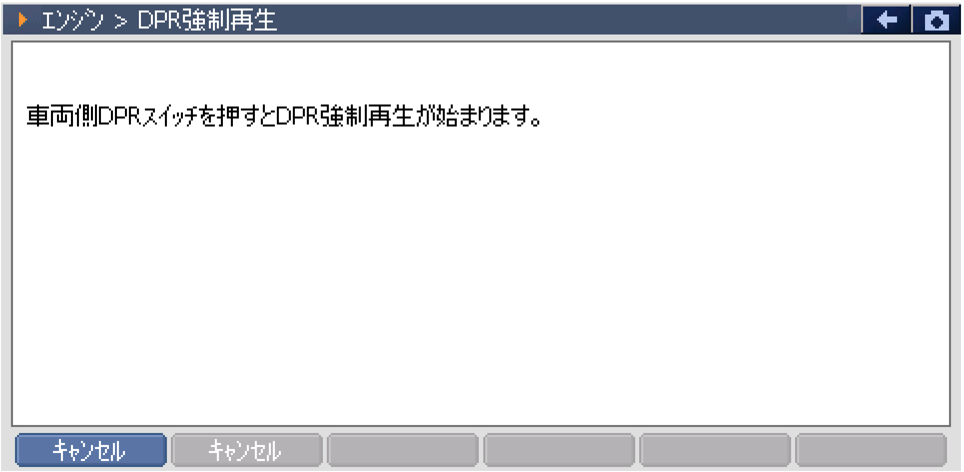


〈図：注意メッセージ画面　DPR強制再生〉

※注意と補足※

・ 自己診断で故障コードP2002が検出した場合は消去を行ってから本作業を実施してください。消去するには一度バッテリケーブルを外し、1分以上放置してください。

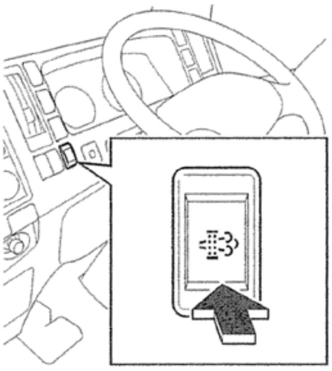
3）『DPR強制再生』の実行画面に移ります。車両側のDPRスイッチを押すとDPR強制再生が始まります。



〈図：実行確認画面　DPR強制再生〉

※ 注意と補足※

・　以下、DPR再生強制再生の例を示します。車両により状態遷移が異なる場合があります。

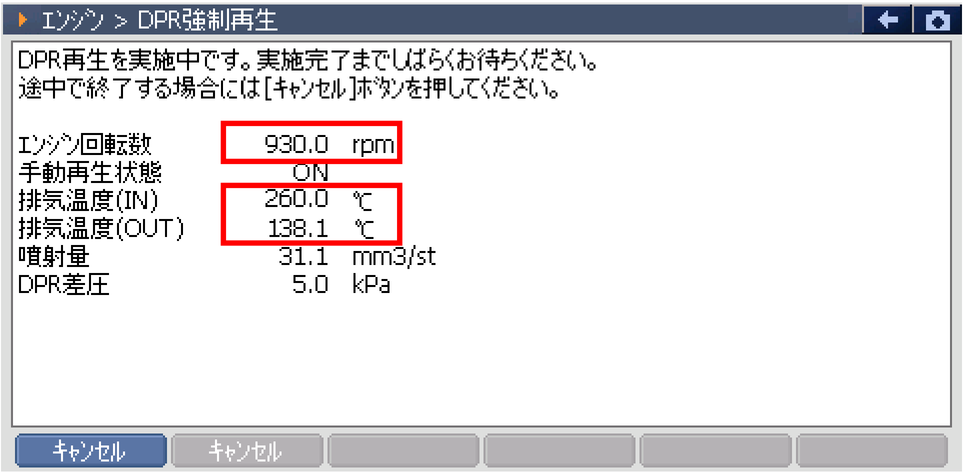


〈図：DPDスイッチ〉

※ 注意と補足※

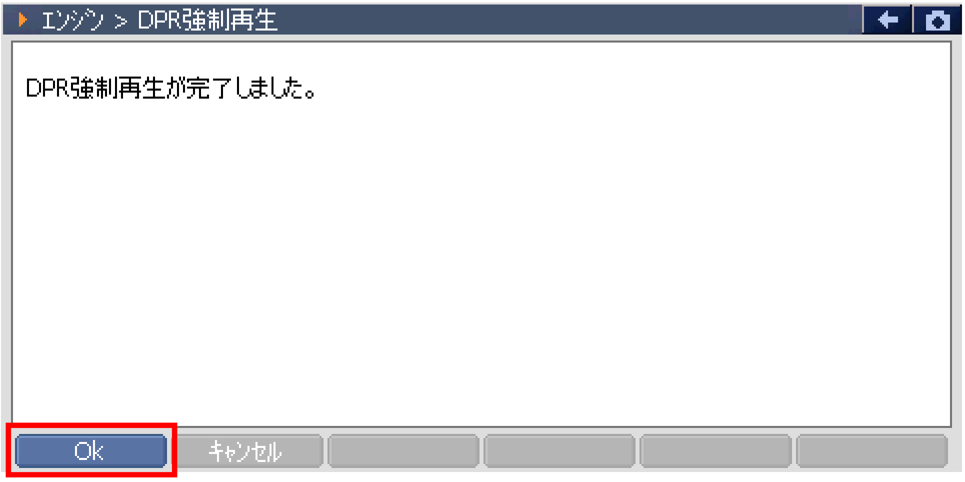
・上記のDPDスイッチは車両により配置位置、形状が異なる場合があります。

DPR強制再生開始後、自動的にエンジン回転数が上がり、徐々に排気温度が上昇します。



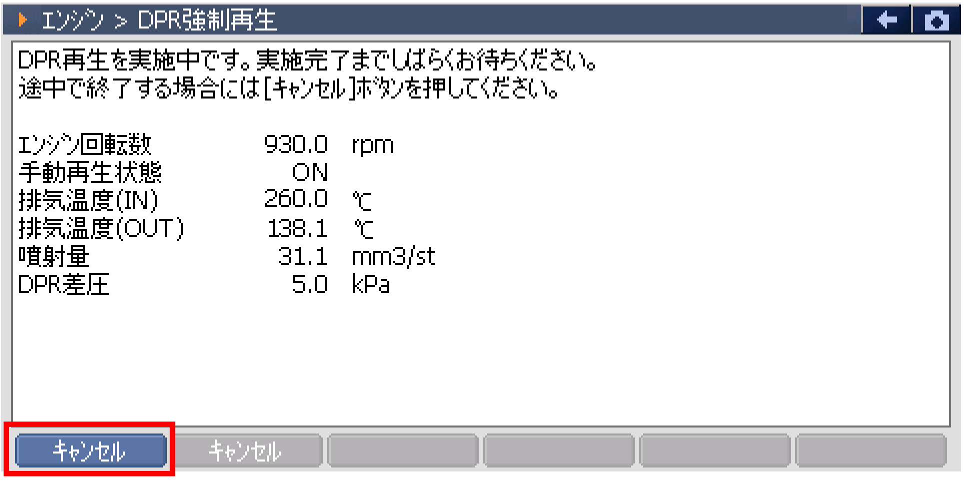
〈図:実行画面　DPR強制再生〉

4） 約20分経過後、エンジン回転速度が下がりDPR再生完了メッセージが表示されますので、 Ok ボタンを押してDPR再生を完了してください。



〈図:完了画面　DPR強制再生〉

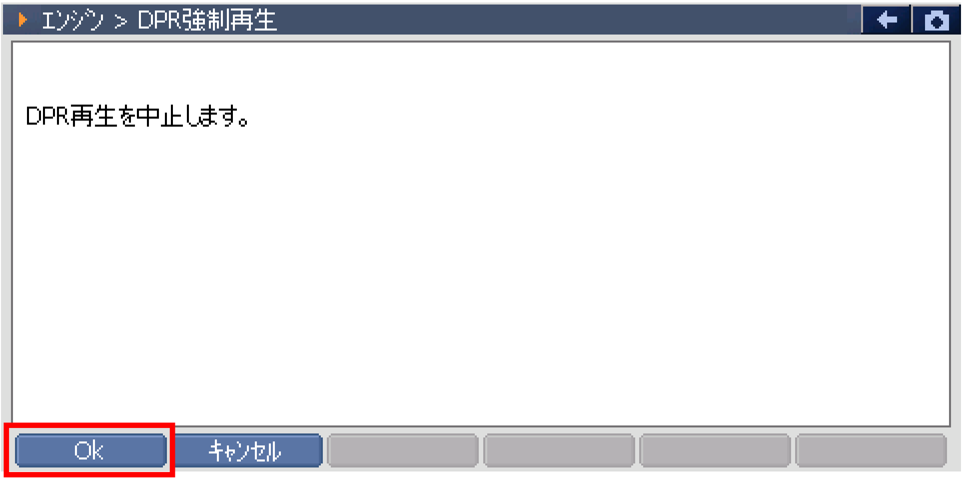
5）やむを得ず、『DPR強制再生』を途中で中止する場合は 再生中止 ボタンを押してください。



〈図：実行画面　DPR強制再生〉

6）再生中止メッセージ表示されますので、メッセージに従い操作してください。

Ok ボタンを押してDPR強制再生を中止してください。



〈図：再生中止画面　DPR強制再生〉

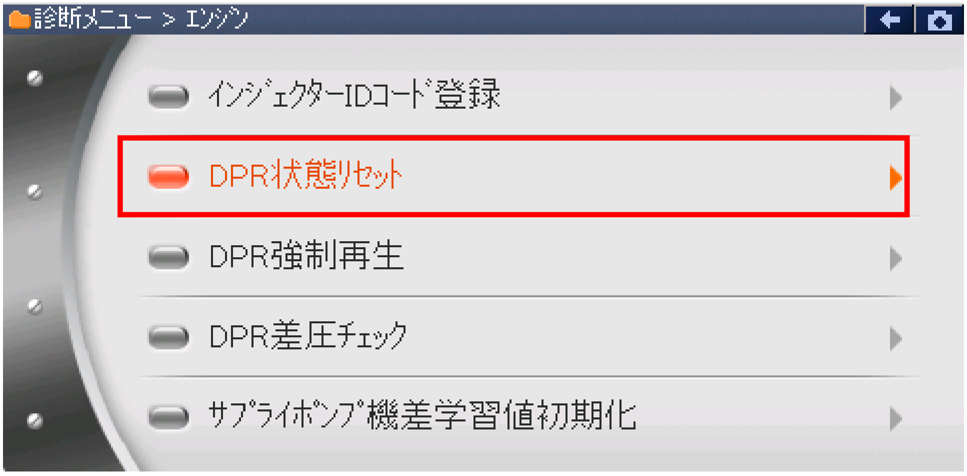
※注意と補足※

・ 注意、警告メッセージは必ず最後までご確認ください。

・ 手順通りに実施しないと、正常に動作しない場合があります。

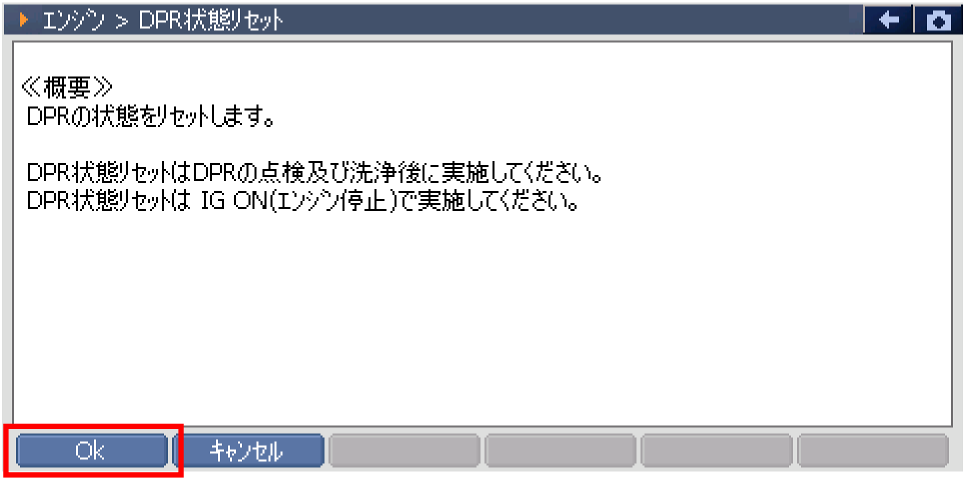
≪作業サポート「DPR状態リセット」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『DPR状態リセット』を選択して ENTER ボタンを押してください。



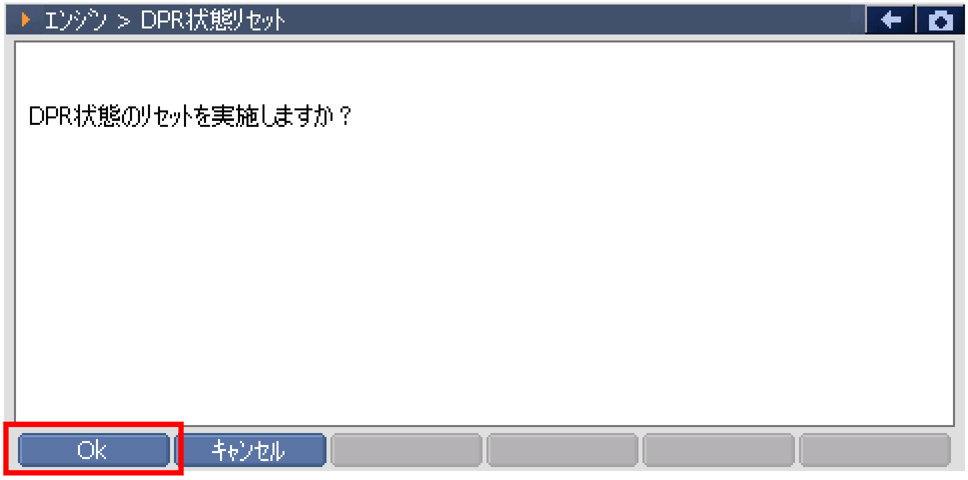
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2) 『DPR状態リセット』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



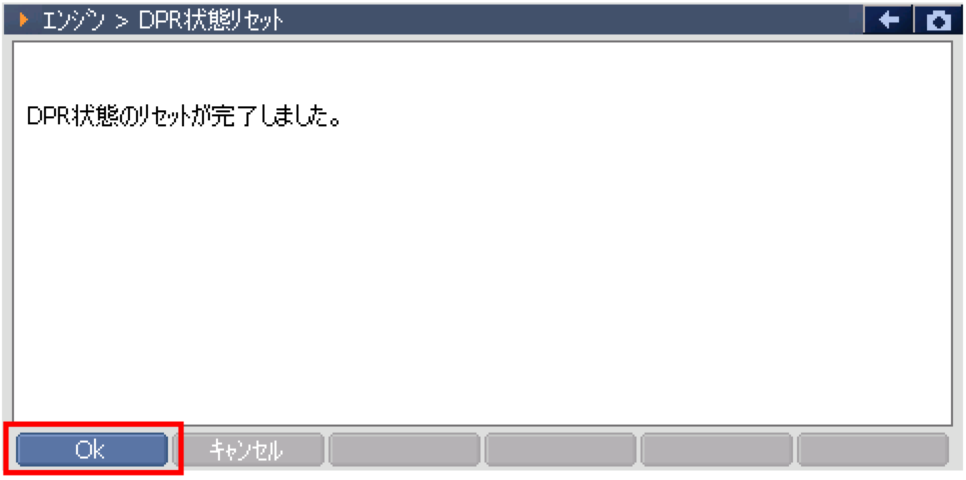
〈図：確認メッセージ画面　DPR状態リセット〉

3) 実施確認のメッセージが表示されます。よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：確認メッセージ画面　DPR状態リセット〉

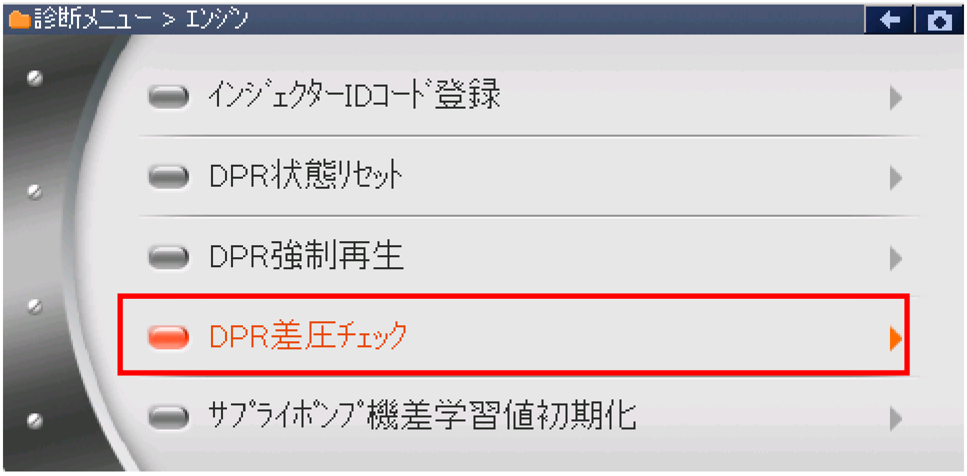
4) リセット完了のメッセージが表示されます。 Ok ボタンを押してDPR状態リセットを終了します。



〈図：完了メッセージ画面　DPR状態リセット〉

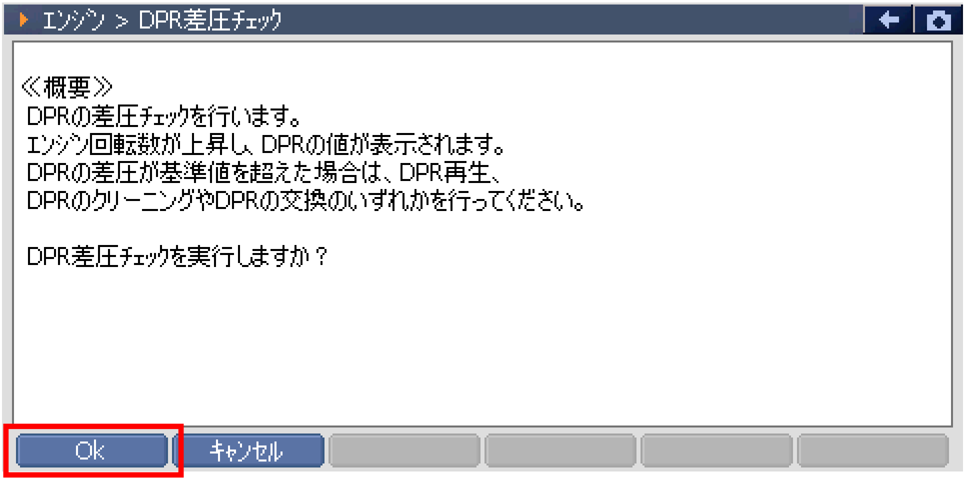
≪作業サポート「DPR差圧チェック」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『サプライポンプ学習値初期化』を選択して ENTER ボタンを押してください。



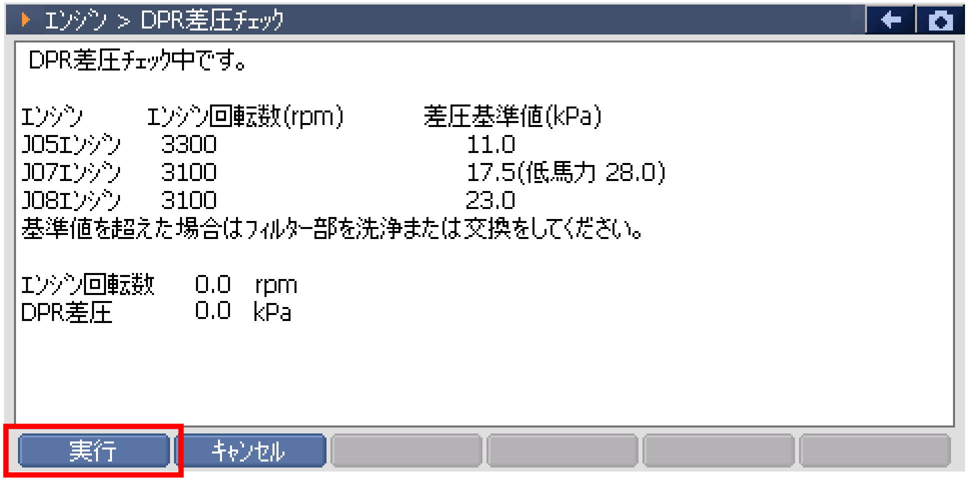
〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『DPR差圧チェック』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



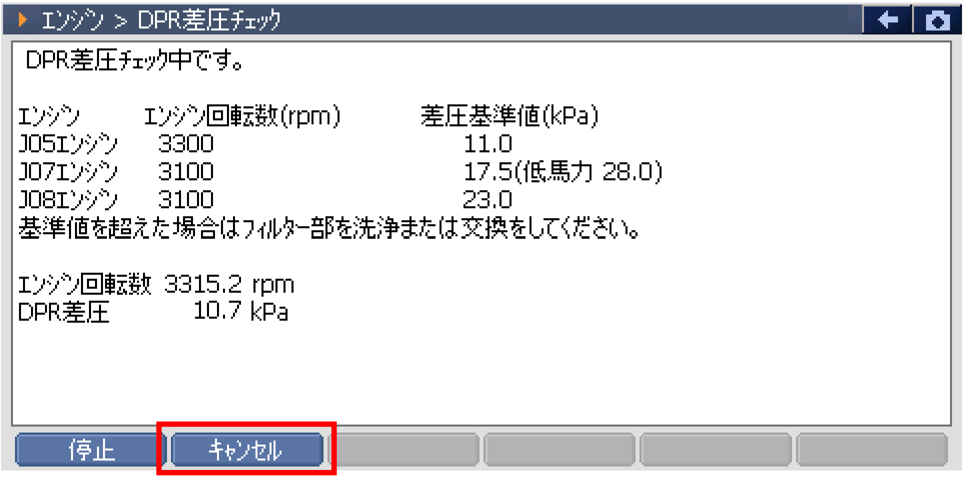
〈図:確認メッセージ画面　DPR差圧チェック〉

3) DPR差圧状態が表示されます。 実行 ボタンを押すとエンジン回転数が上がりDPR差圧が上昇します。



〈図：モニター画面　DPR差圧チェック〉

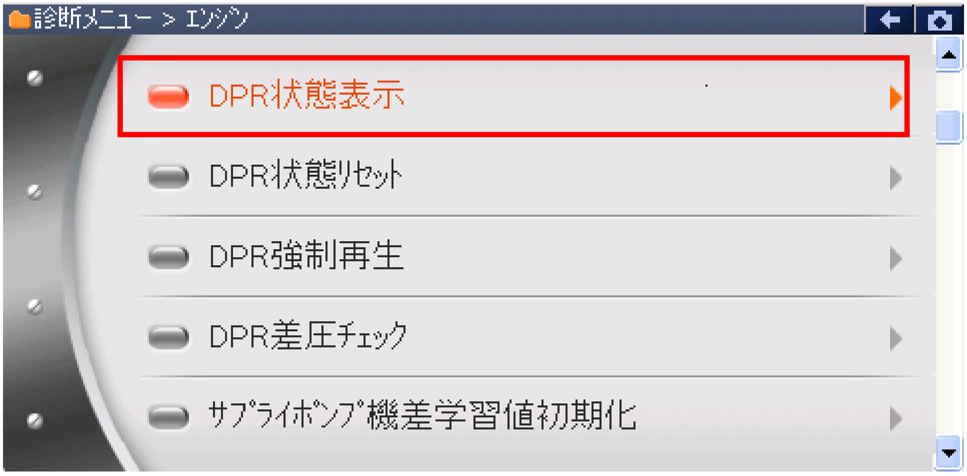
4) 停止 ボタンを押すとエンジン回転数が下がりチェックが終了します。DPR差圧が上昇します。終了する場合は キャンセル ボタンを押してください。



〈図：モニター画面　DPR差圧チェック〉

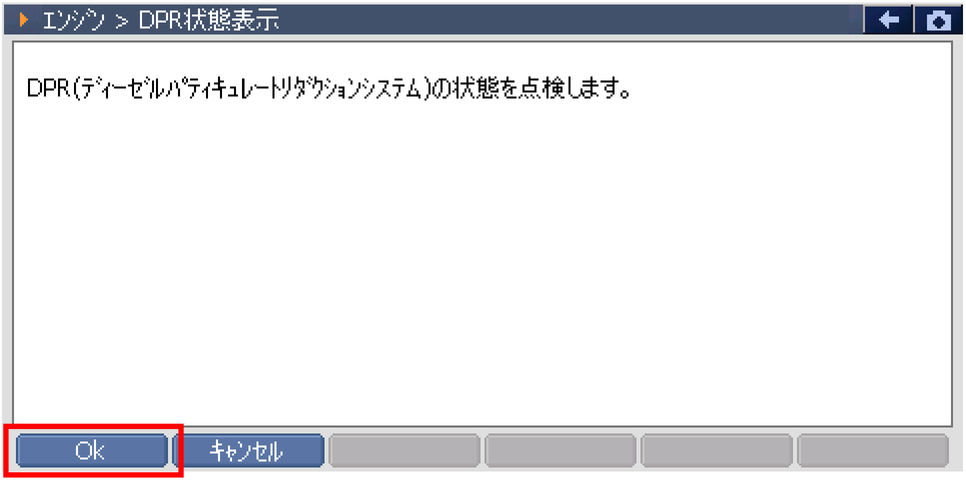
≪作業サポート「DPR状態表示」≫

1）作業サポート項目選択画面から『DPR状態表示』を選択して ENTER ボタンを押してください。



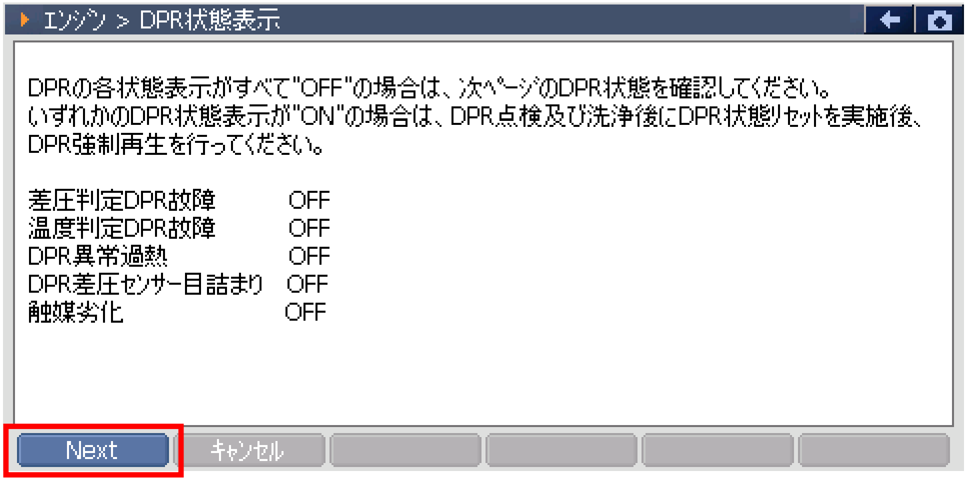
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『DPR状態表示』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



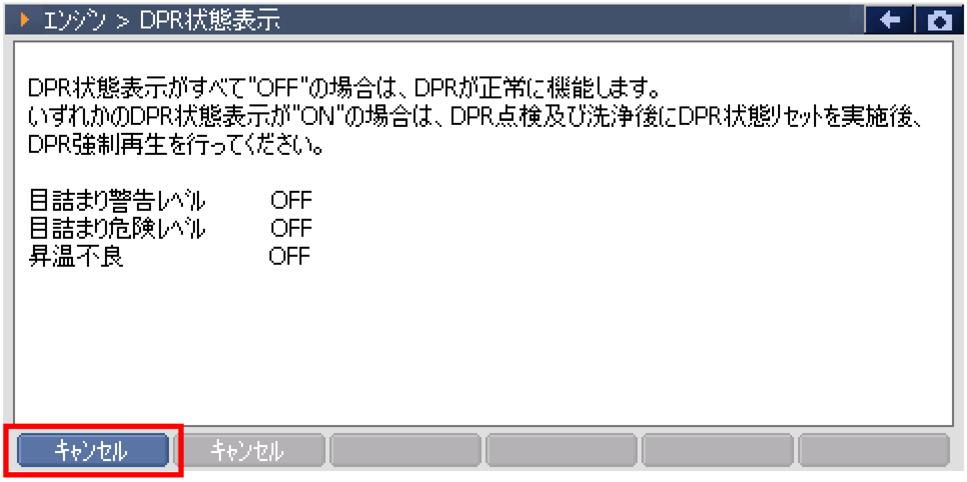
〈図：確認メッセージ画面　DPR状態表示〉

3）各DPRに関係するデータを表示します。次の項目を表示させる場合には Next ボタンを押してください。



〈図：モニター画面　DPR状態表示〉

4） キャンセル ボタンを押すとDPR状態表示を終了します。



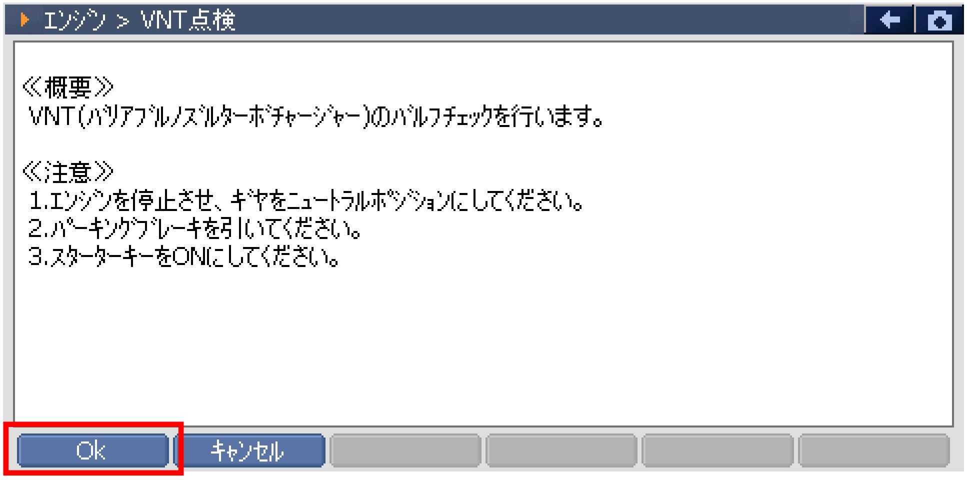
〈図：モニター画面　DPR状態表示〉

≪作業サポート「VNT点検」≫

1）作業サポート項目選択画面から『VNT点検』を選択して ENTER ボタンを押してください。

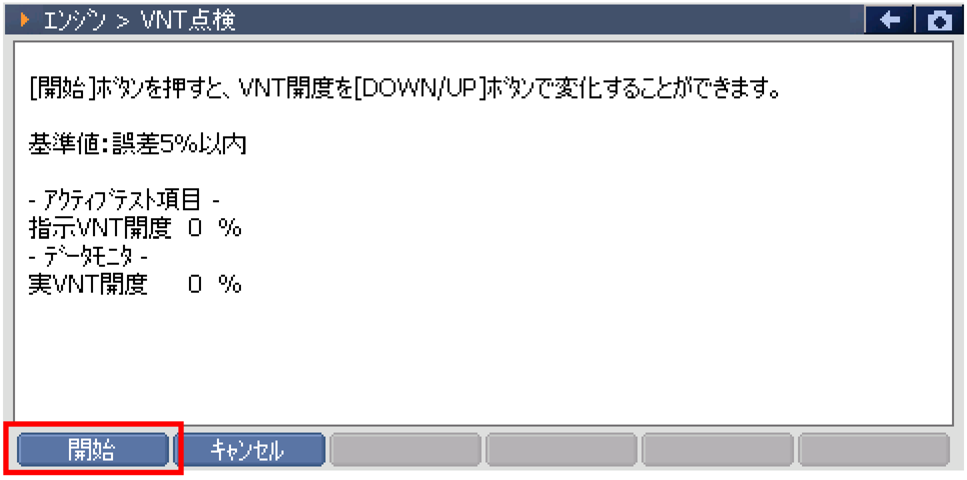
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『VNT点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



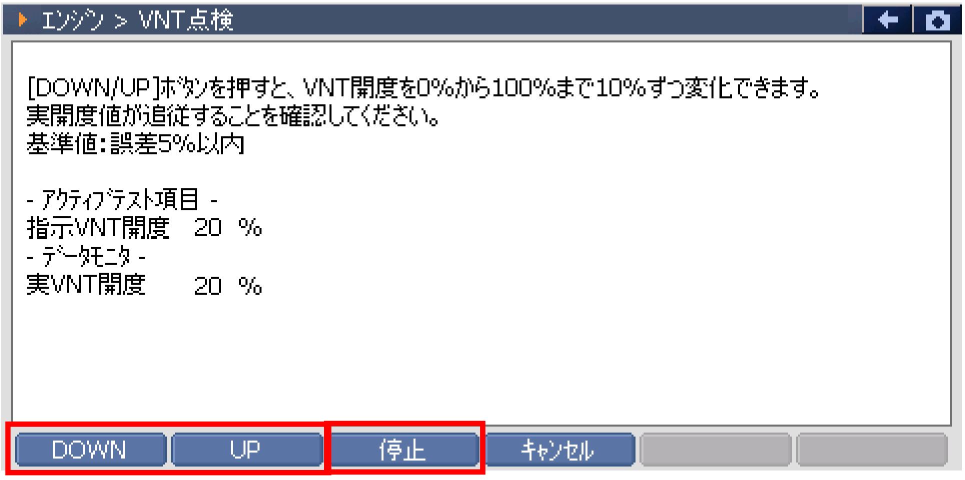
〈図：確認メッセージ画面　VNT点検〉

3）VNTのテストを開始する場合には 開始 ボタンを押してください。



〈図：確認メッセージ画面　VNT点検〉

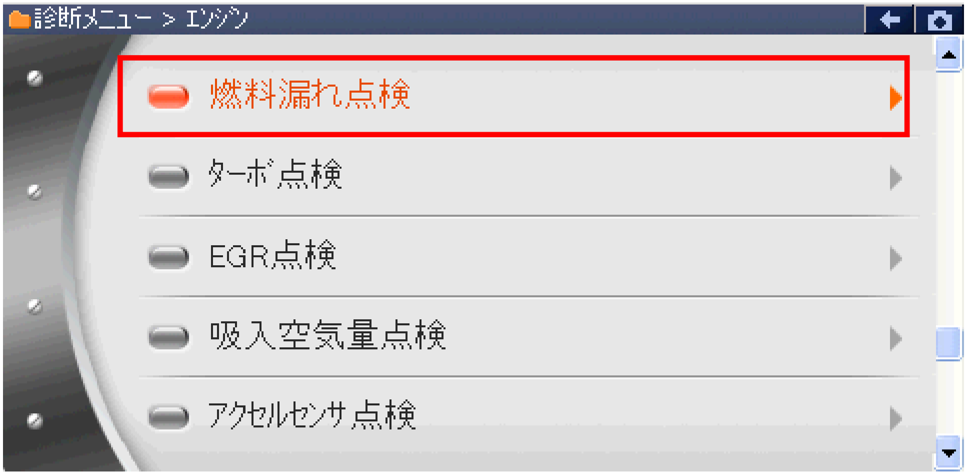
4） DOWN UP ボタンでVNTの開度を変更することができます。EGRの点検を終了する場合には 停止 または キャンセル ボタンを押してください。



〈図：モニター画面　VNT点検〉

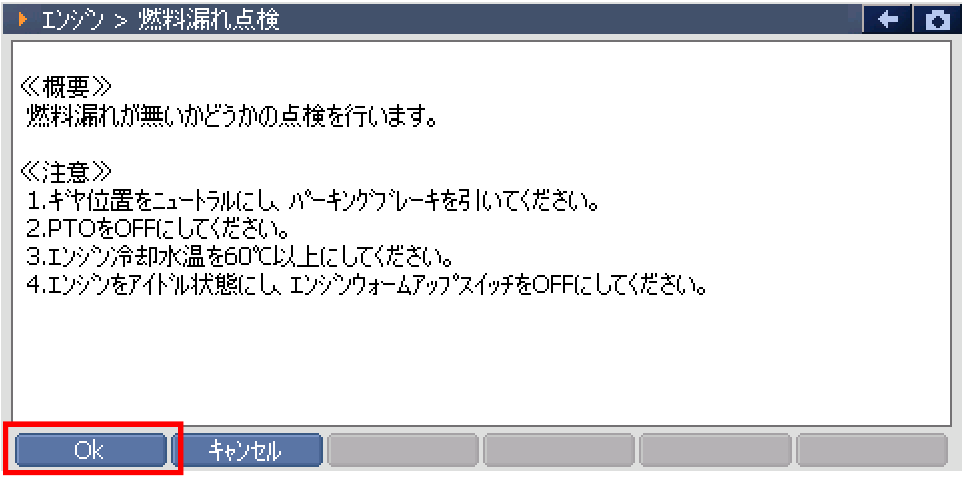
≪作業サポート「燃料漏れ点検」≫

1）作業サポート項目選択画面から『燃料漏れ点検』を選択して ENTER ボタンを押してください。



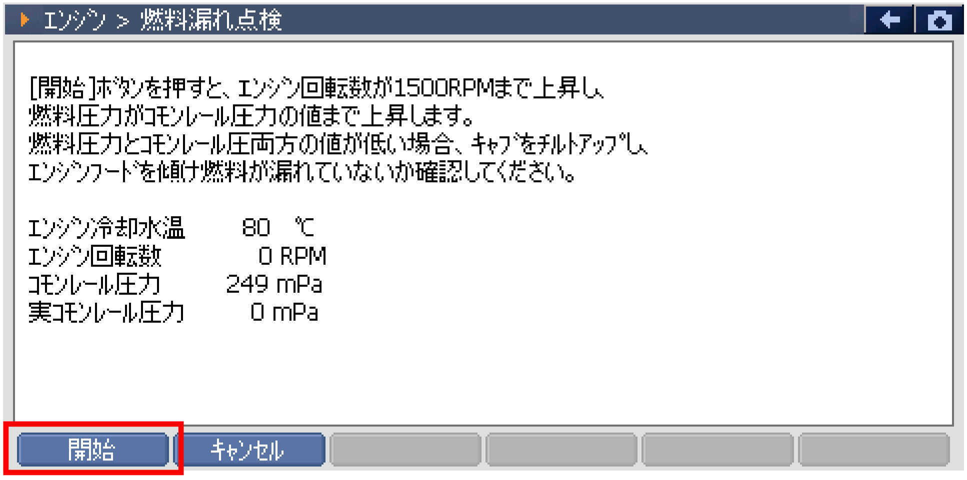
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『燃料漏れ点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



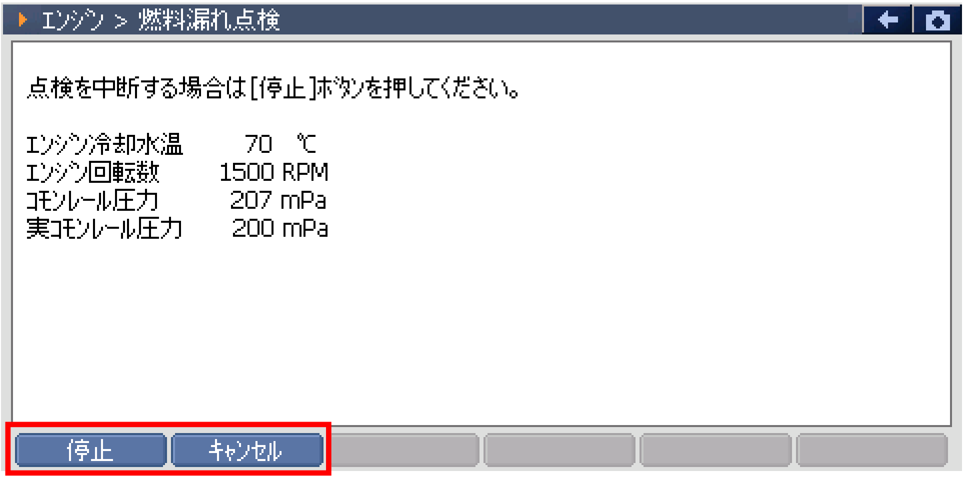
〈図：確認メッセージ画面　燃料漏れ点検〉

3）燃料漏れ点検のテストを開始する場合には 開始 ボタンを押してください。



〈図：モニター画面　燃料漏れ点検〉

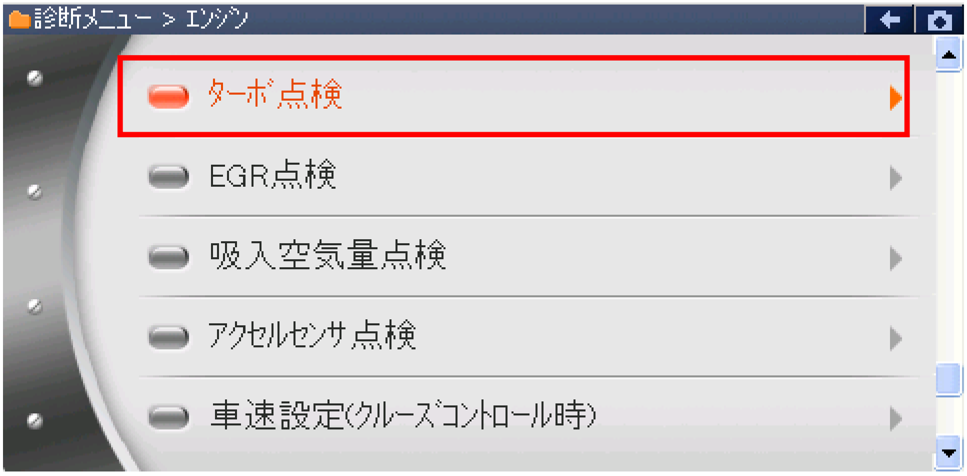
4）エンジン回転数が上昇し、燃料圧力、実コモンレール圧力が上昇します。燃料漏れ点検を終了する場合には 停止 または ｷｬﾝｾﾙ ボタンを押してください。



〈図：モニター画面　燃料漏れ点検〉

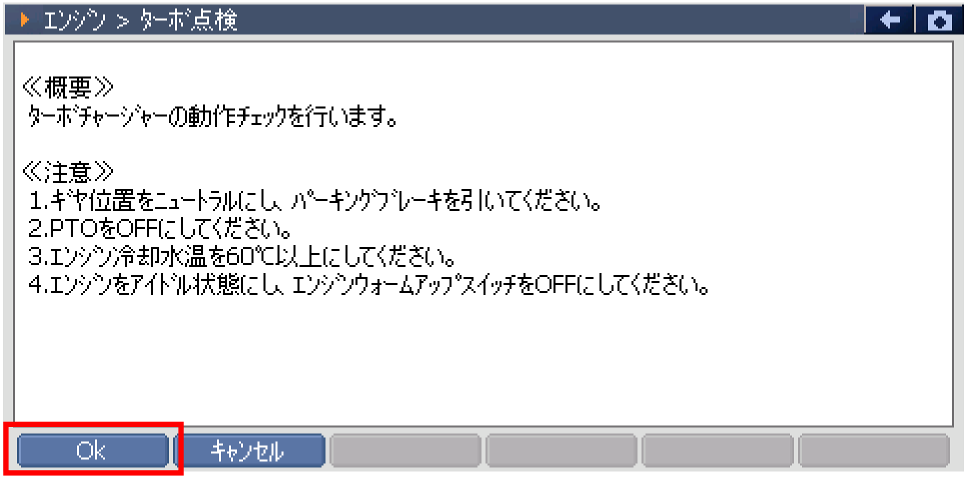
≪作業サポート「ターボ点検」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『ターボ点検』を選択して ENTER ボタンを押してください。



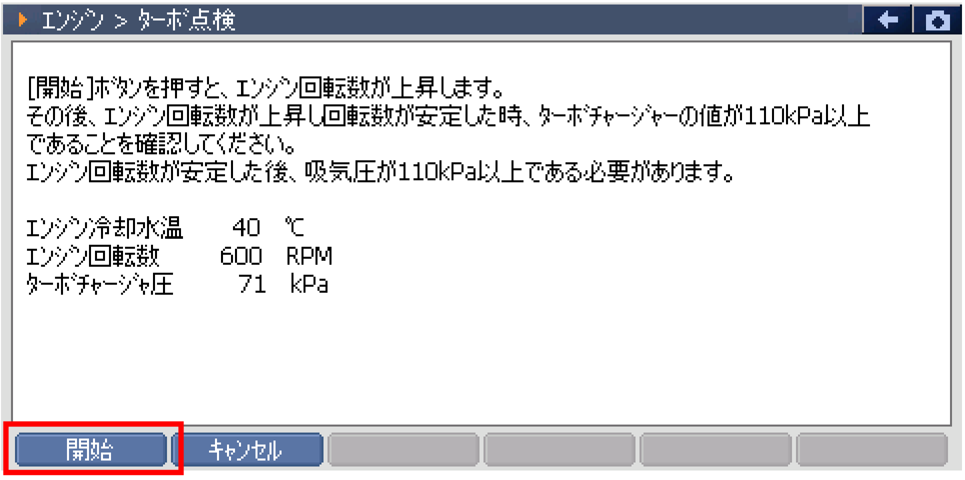
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2) 『ターボ点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



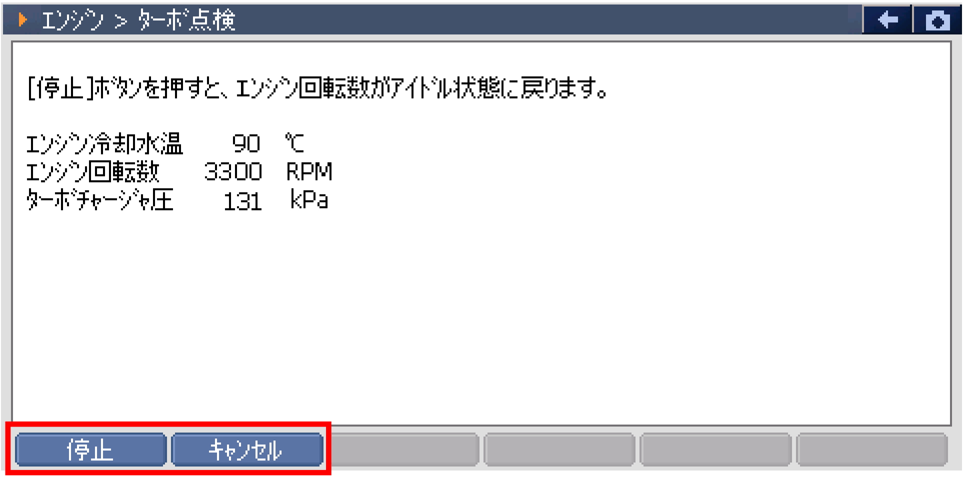
〈図：確認メッセージ画面　ターボ点検〉

3) ターボ点検のテストを開始する場合には 開始 ボタンを押してください。



〈図:モニター画面　ターボ点検〉

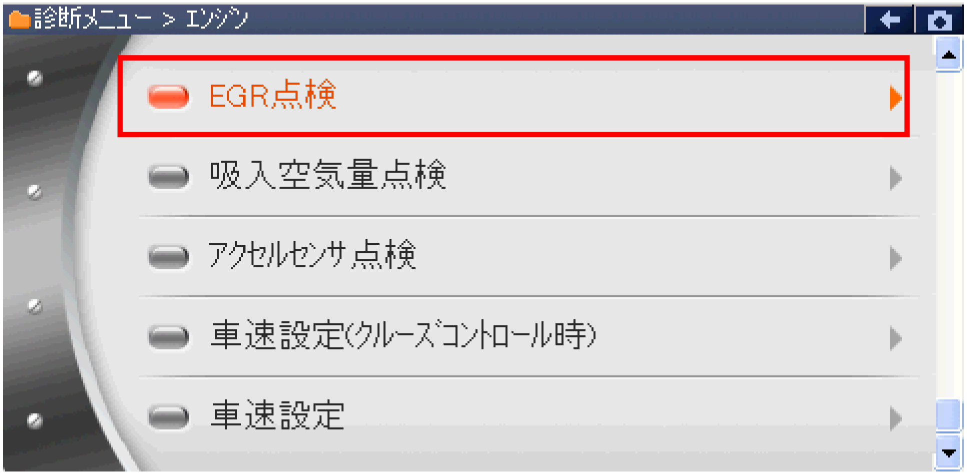
4) エンジン回転数が上昇し、ターボチャージャー圧が上昇します。ターボ点検を終了する場合には 停止 または ｷｬﾝｾﾙ ボタンを押してください。



〈図:モニター画面　ターボ点検〉

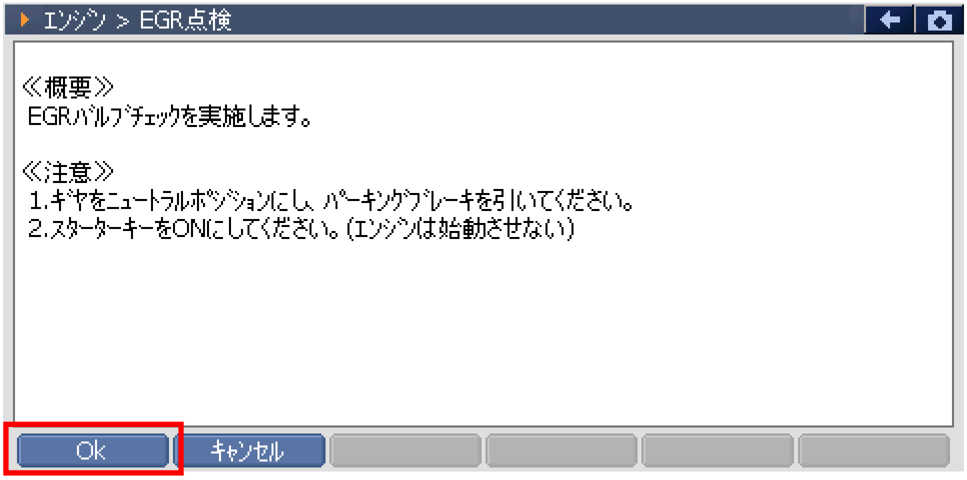
≪作業サポート「EGR点検」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『EGR点検』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図:作業サポート項目選択画面〉

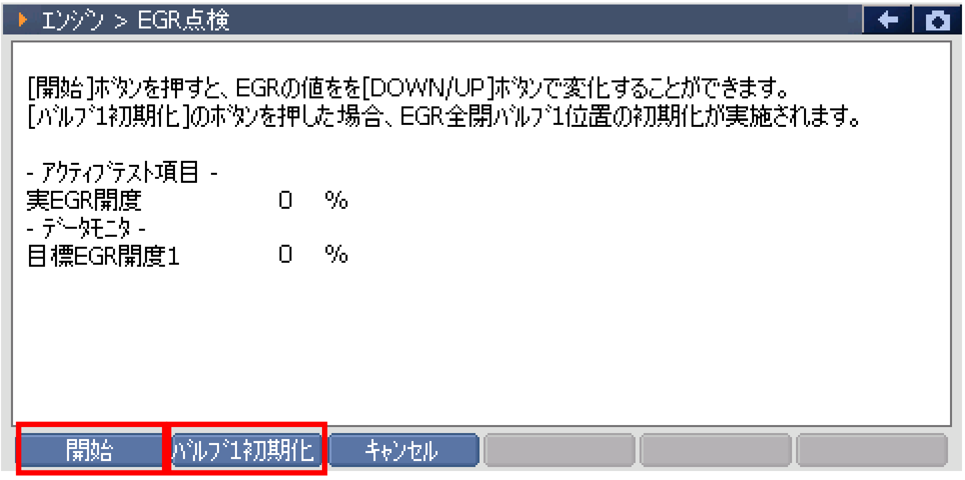
2) 『EGR点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図:確認メッセージ画面　EGR点検〉

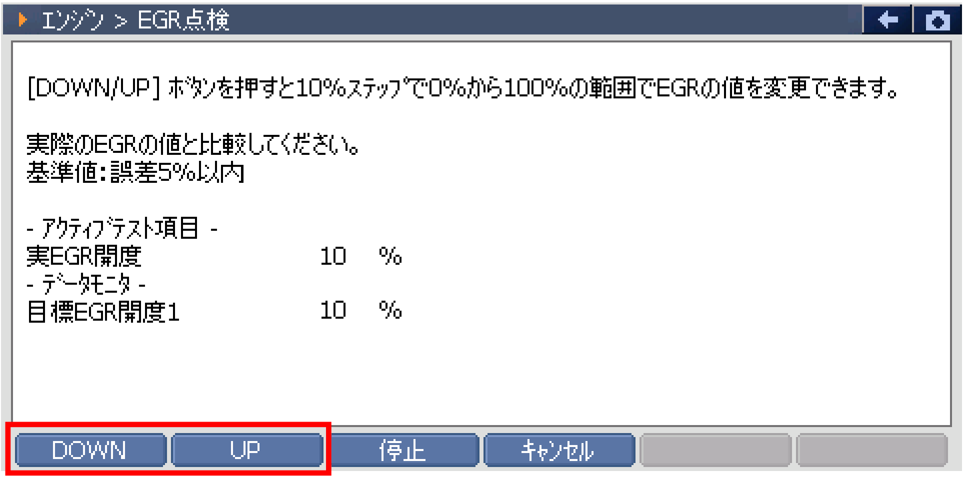
3）ターボ点検のテストを開始する場合には 開始 ボタンを押してください。

バルブ1初期化 ボタンを押すとEGR全閉バルブ1の初期化を実施します。



〈図：モニター画面　EGR点検〉

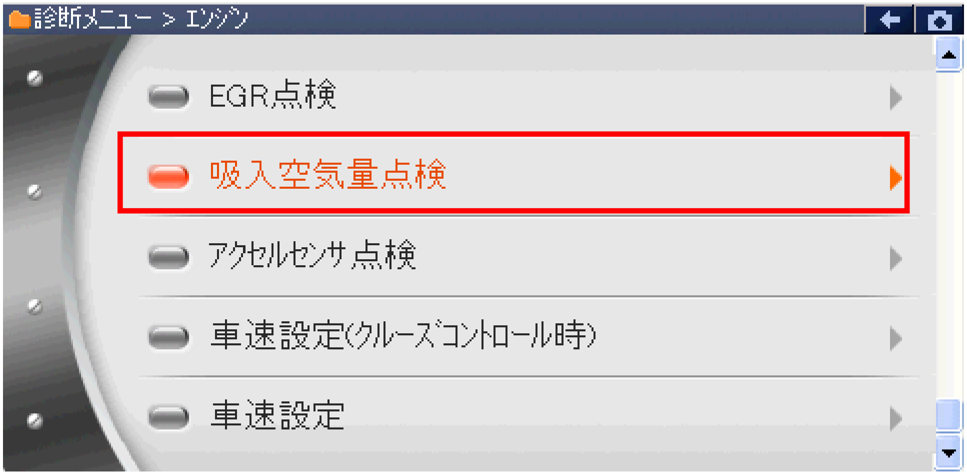
4） DOWN UP ボタンでEGRの開度を変更することができます。EGRの点検を終了する場合には 停止 または キャンセル ボタンを押してください。



〈図：モニター画面　EGR点検〉

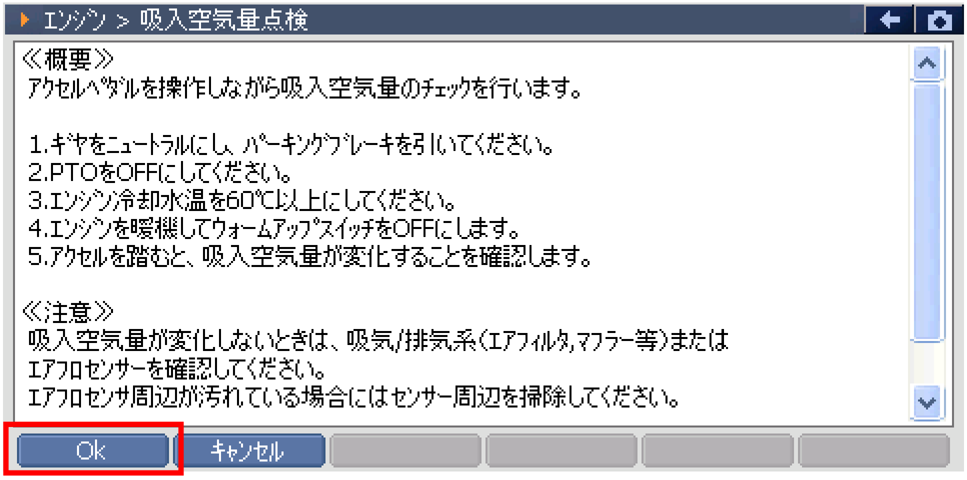
≪作業サポート｢吸入空気量点検｣≫

1) 作業サポート項目選択画面から『吸入空気量点検』を選択して ENTER ボタンを押してください。



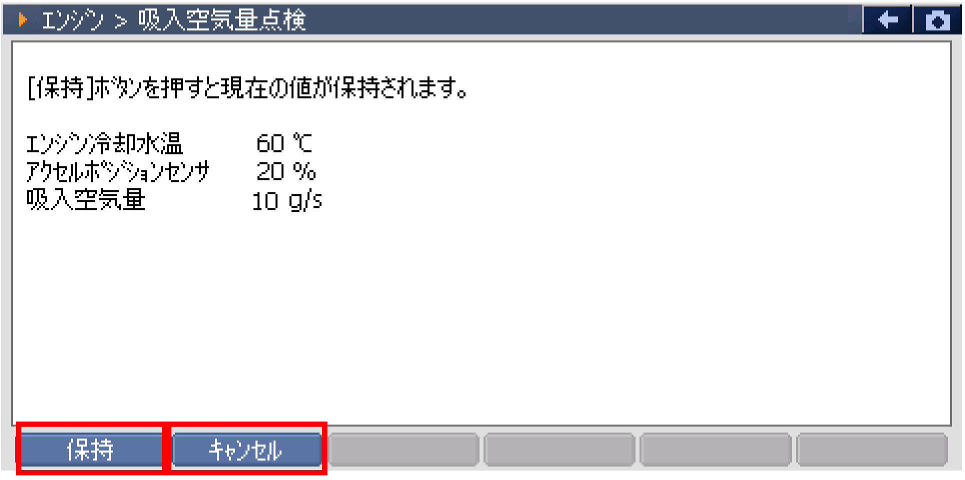
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2) 『吸入空気量点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



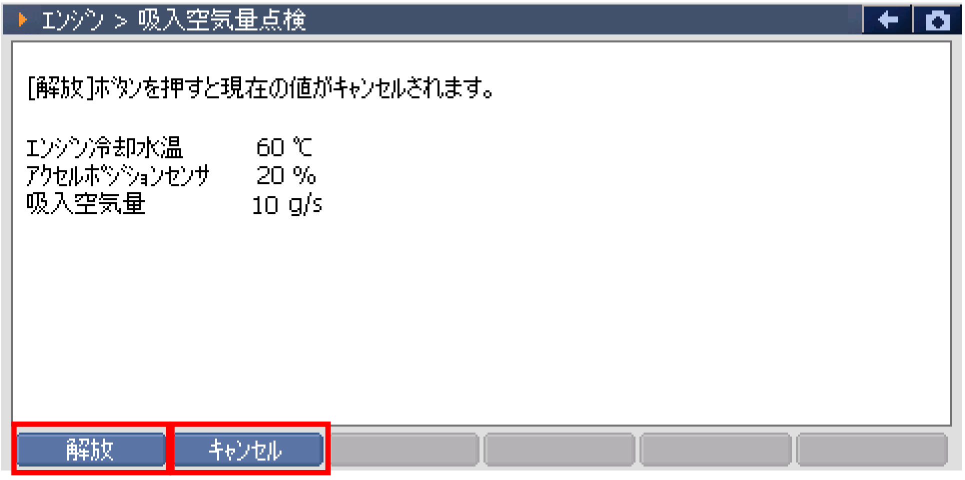
〈図：確認メッセージ画面　吸入空気量点検〉

3）アクセルを踏み込むことによって吸入空気量が変化します。現在の値を保持する場合には保持ボタンを押してください。ﾊﾞﾙﾌﾞ1初期化ボタンを押すとEGR全閉バルブ1の初期化を実施します。



〈図：モニター画面　吸入空気量点検〉

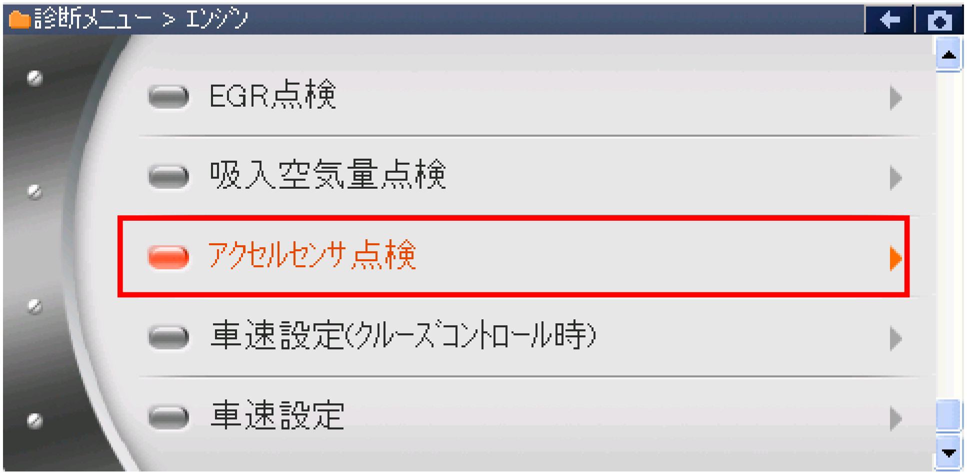
4）保持ボタンを押したときの値が表示されます。解放ボタンを押すと再度モニター画面移行します。点検を終了する場合にはｷｬﾝｾﾙボタンを押してください。



〈図：データ保持画面　吸入空気量点検〉

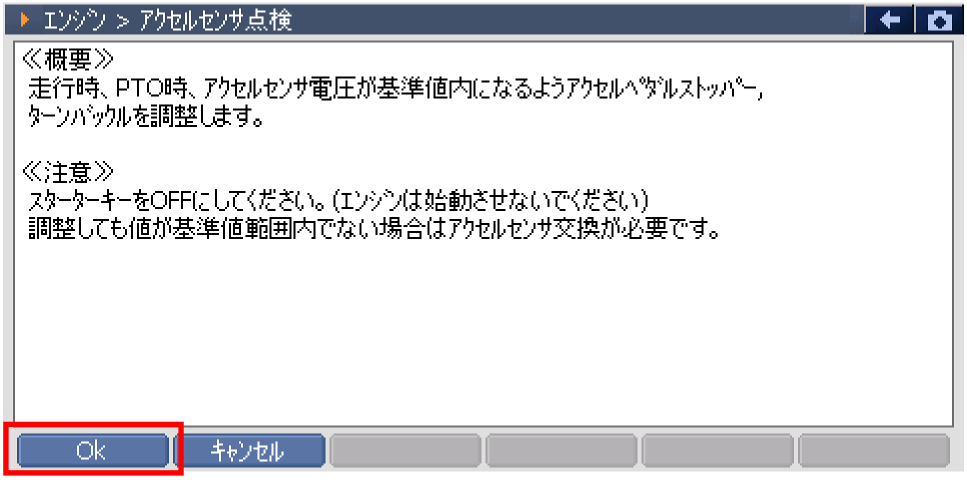
≪作業サポート「アクセルセンサ点検」≫

1) 作業サポート項目選択画面から『アクセルセンサ点検』を選択して ENTER ボタンを押してください。



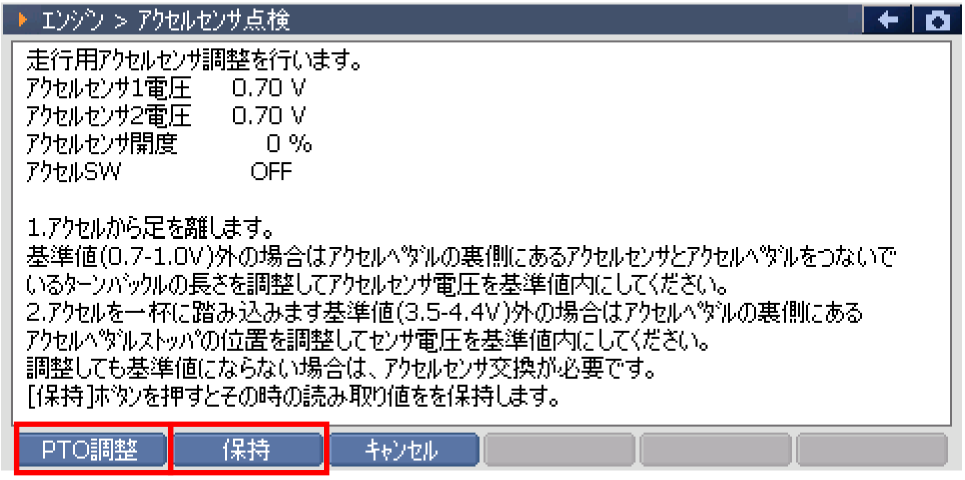
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2) 『アクセルセンサ点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



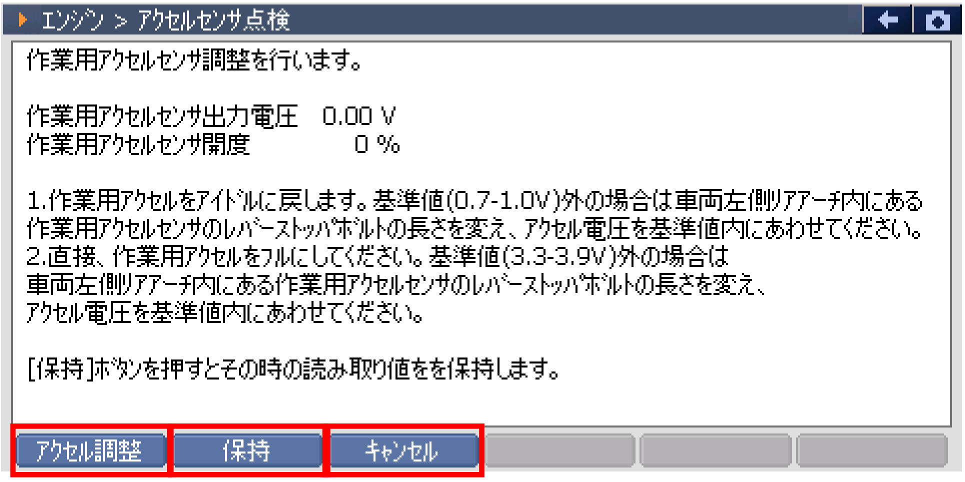
〈図：確認メッセージ画面　アクセルセンサ点検〉

3）走行時のアクセルセンサに関係するデータが変化します。現在の値を保持する場合には 保持 ボタンを押してください。PTO調整 ボタンを押すとPTO時のアクセルセンサの点検を行えます。



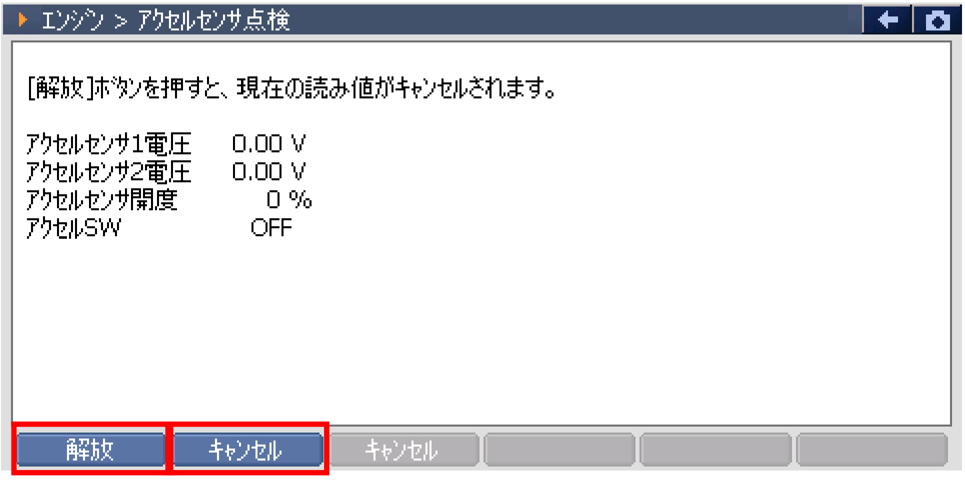
〈図：モニター画面　アクセルセンサ点検〉

4）走行時のアクセルセンサに関係するデータが変化します。現在の値を保持する場合には 保持 ボタンを押してください。点検を終了する場合には キャンセル ボタンを押してください。アクセル調整 ボタンを押すと走行時のアクセルセンサ点検に戻ります。

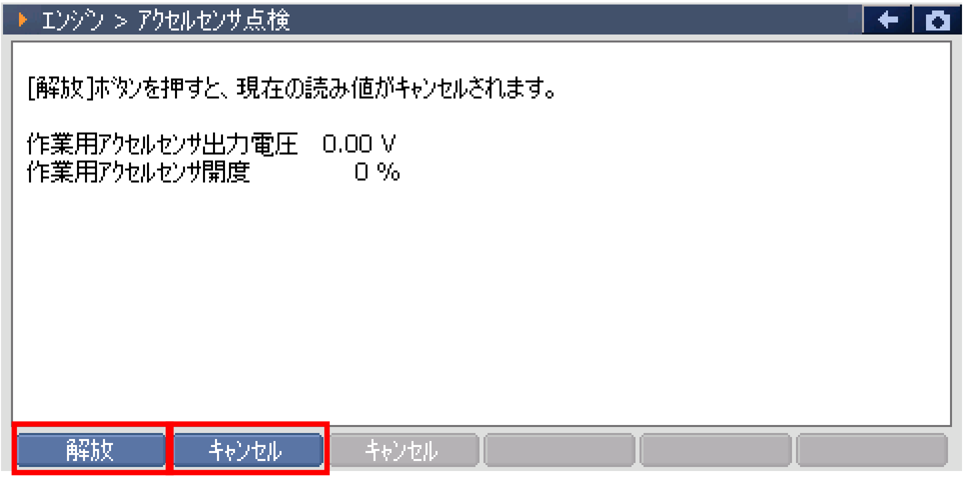


〈図：データ保持画面　吸入空気量点検〉

5）[保持]ボタンを押すと、ボタンを押したときの値が表示されます。[解放]ボタンを押すと再度モニター画面移行します。点検を終了する場合には[キャンセル]ボタンを押してください。



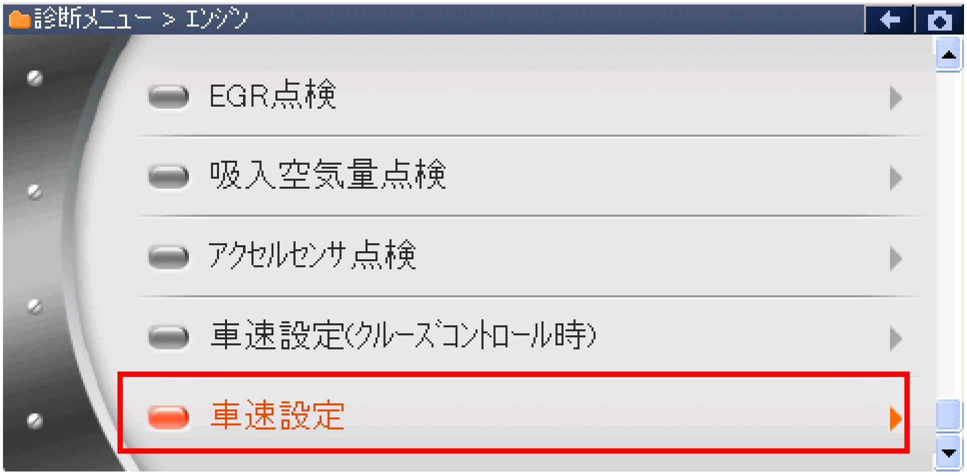
〈図：走行時データ保持画面　アクセルセンサ点検〉



〈図：PTO時データ保持画面　アクセルセンサ点検〉

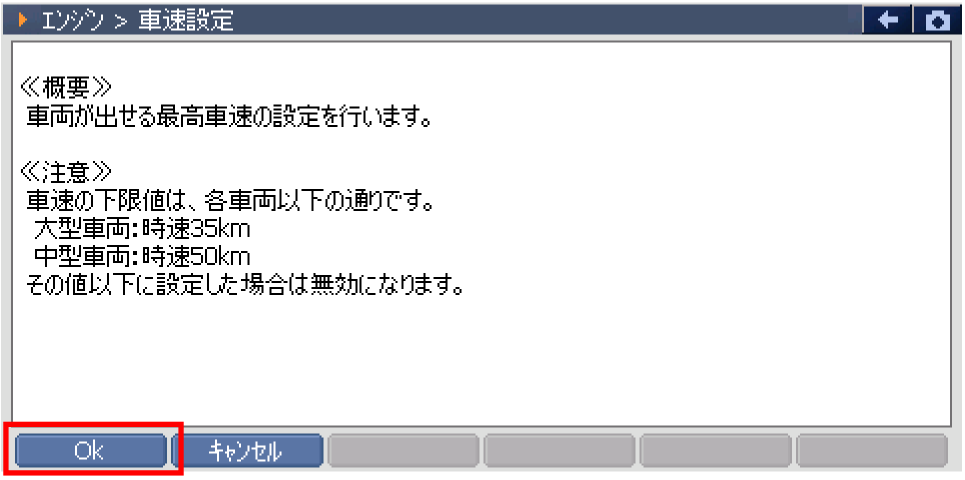
≪作業サポート「車速設定」≫

1）作業サポート項目選択画面から『車速設定』を選択して ENTER ボタンを押してください。



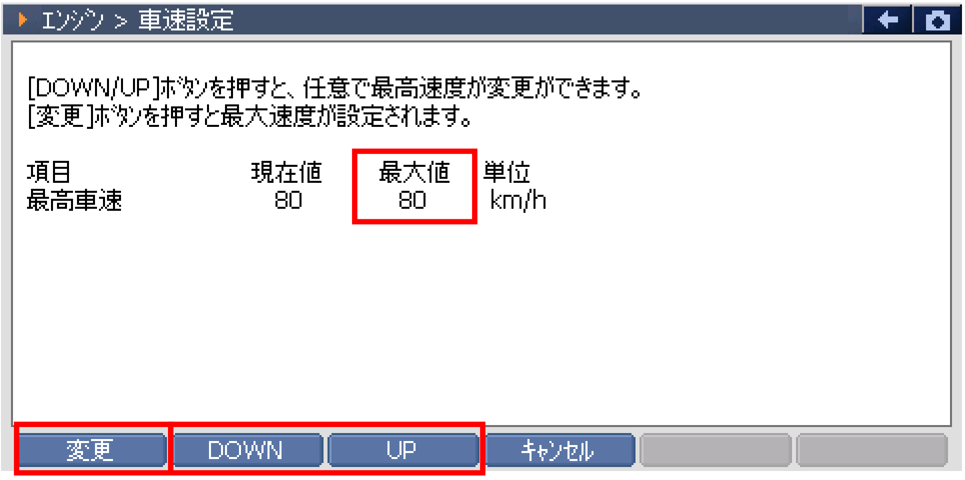
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『車速設定』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



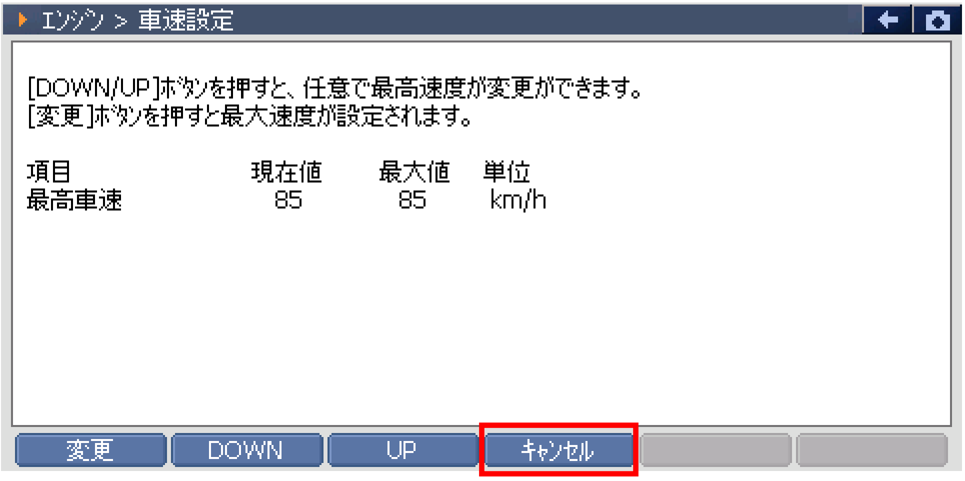
〈図：確認メッセージ画面　車速設定〉

3) DOWN UP ボタンで車速値を変更することができます。変更ボタンを押すと最大値に表示されている値を設定します。



〈図：モニター画面　車速設定〉

4) 車速設定を終了する場合はｷｬﾝｾﾙボタンを押してください。



〈図：モニター画面　車速設定〉

≪作業サポート「車速設定(クルーズコントロール時」≫

※注意と補足※

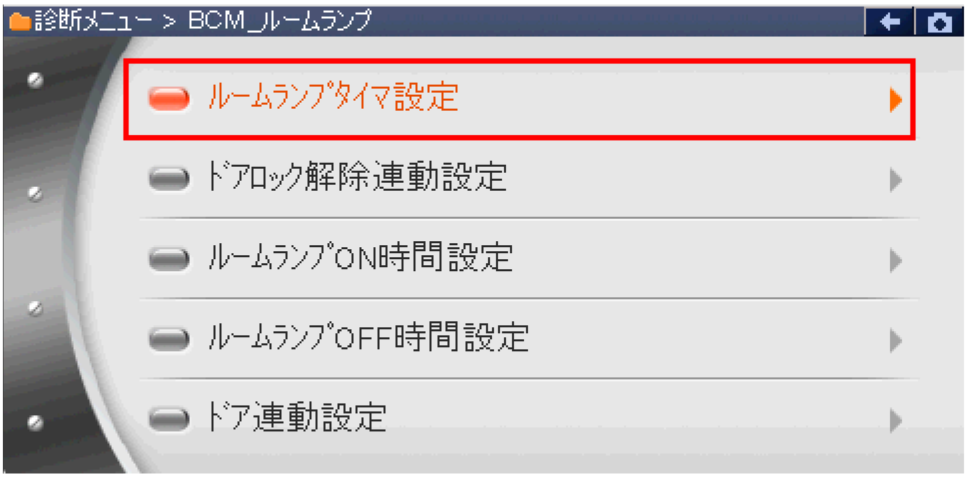
・ 基本的な作業の流れは「車速設定」と同様となります。

BCMの作業サポートについて

≪ BCM_ルームランプシステム作業サポート「ルームランプタイマ設定」≫

1）作業サポート項目選択画面から『ルームランプタイマ設定』を選択して

ボタンを押してください。

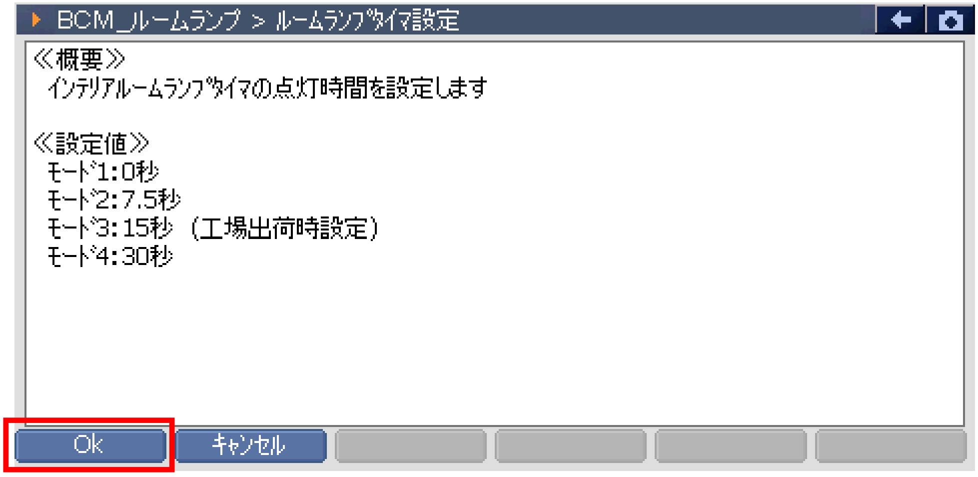


〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『ルームランプタイマ設定』の確認メッセージ画面に移ります。

確認メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

ボタンを押して、作業サポートを実行してください。



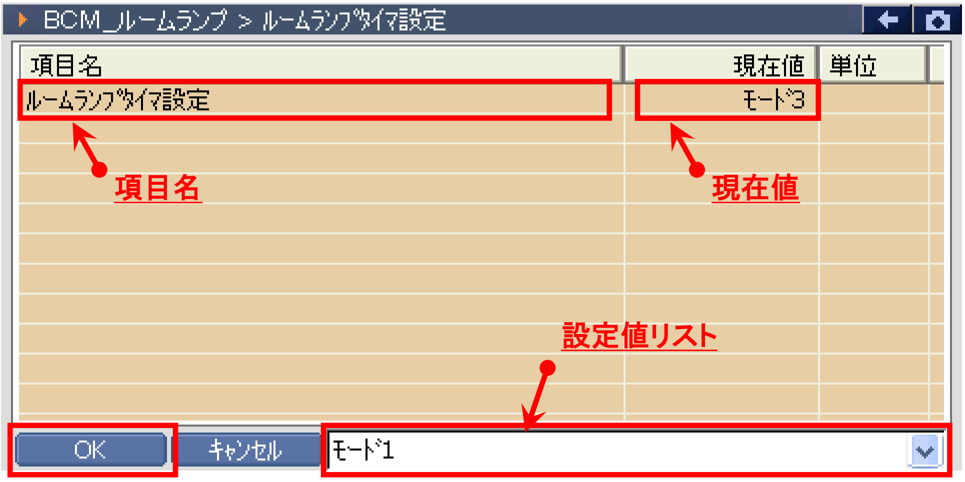
〈図：確認メッセージ画面　ルームランプタイマ設定〉

3)『ルームランプタイマ設定』の設定値変更画面に移ります。

設定値リストをタッチすると、選択可能な設定値のリストが表示されますので、

設定値リストから変更したい設定値を選択して Ok ボタンを押してください。

現在値が選択した値に変更されます。



〈図:設定値変更画面　ルームランプタイマ設定〉

※注意と補足※

- 他のBCMについても上記作業の流れに従って設定を変更することが出来ます。BCMの種類によっては作業サポートに対応していないものがあります。
- 作業サポートを終了する場合は、必ず キャンセル ボタンから終了してください。

Inter Support Co.,Ltd.

株式会社 インターサポート

〒310-0836

茨城県水戸市元吉田町329-5

Tel 029-248-0616　Fax 029-248-1609

http://www.inter-support.co.jp

製品保守センター

（修理のお問合せはこちら）

Tel 029-304-0185

サポートセンター

（製品のご相談・ご質問はこちら）

Tel 0570-064-737 （ナビダイヤル※）

Fax 029-304-0167

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2014年2月発行　第12版

本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。

本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。　G1PZFDN001-18-12